

平成 28 年度

鎌倉市民意識調査報告書

平成 29 年 6 月

鎌倉市

目 次

第1章 調査の概要.....1

1 調査の枠組みについて	1
2 調査票回収状況と回収率について	1
3 標本誤差について	2
4 回答者の基本属性	3
5 集計と分析について	6
6 各質問の回答結果が示す市民意識	7
7 調査結果概要	9

第2章 調査結果.....42

1 各施策の結果一覧.....	42
2 自由記述一覧	96
3 集計データ.....	121

参考資料.....

- ・平成28年度鎌倉市民意識調査アンケート用紙

第1章 調査の概要

1 調査の枠組みについて

(1) 調査目的

社会情勢の変化を把握するとともに、行政評価の参考資料とするため、第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画（以下、「基本計画」）の51の「施策の方針」及び4つの「計画の推進に向けた考え方」のうち3つ（以下「54の施策」という。）について、市の取組に対する「認知度」、鎌倉市民が感じている費用対効果の「妥当性」、市民ニーズ、重要度の主に4点及びその他、鎌倉市で取り組む施策のうち、特に伺いたい点について調査しました。

(2) 対象

平成29年1月1日現在、鎌倉市在住の18歳以上の市民のうち、2,000人を単純無作為で抽出し、対象としました。

(3) 調査の構成

調査の構成は、以下のとおりです。

○ 基本属性	8問
○ 第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画の「施策の方針」ごとに「仕事の効果」、「お金の使い方」及び「今後の進め方」に関する設問	54問
○ 「施策の方針」間の重要度指標としての設問	1問
○ 雇用環境に関する質問	1問
○ 仕事と生活のバランスに関する質問	1問
○ 子育ての情報に関する質問	1問
○ 観光に関する質問	2問
○ 鎌倉市の「まちのイメージ」に関する質問	1問
○ 鎌倉に住み続けることへの意識	1問
○ 自由記入欄	1問

(4) 調査の実施方法

平成29年2月16日（木）から3月9日（木）までを調査期間とし、郵送配付、郵送回収により実施しました。

2 調査票回収状況と回収率について

調査票の回収状況と回収率は、以下のとおりです。

【表1】 調査票回収状況及び回収率

配布数	回答数	有効回答数	有効回答回収率
2,000通	563件	563件	28.3%

3 標本誤差について

今回の鎌倉市民意識調査は、平成 29 年 1 月 1 日時点で 18 歳以上の鎌倉市民という母集団から 2,000 名を標本として抜き出し、それについて調査し、数学的(確率論的)に母集団の性質を推測しています。そのため一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。誤差については下記の式で示されます。

$$\text{標本誤差(\%)} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

N=母集団体（平成 29 年 1 月 1 日現在の鎌倉市の 18 歳以上人口：150,834 人）

n=比率算出の基数（抽出サンプル数：2,000 名 有効回答者数：563 人）

p=回答の比率（%）

k※=1.96

※ 信頼度は、統計的な慣習として 95%とすることが多く、信頼度 95%ならば k は 1.96 となる。

【表 2 今回の調査における標本誤差】

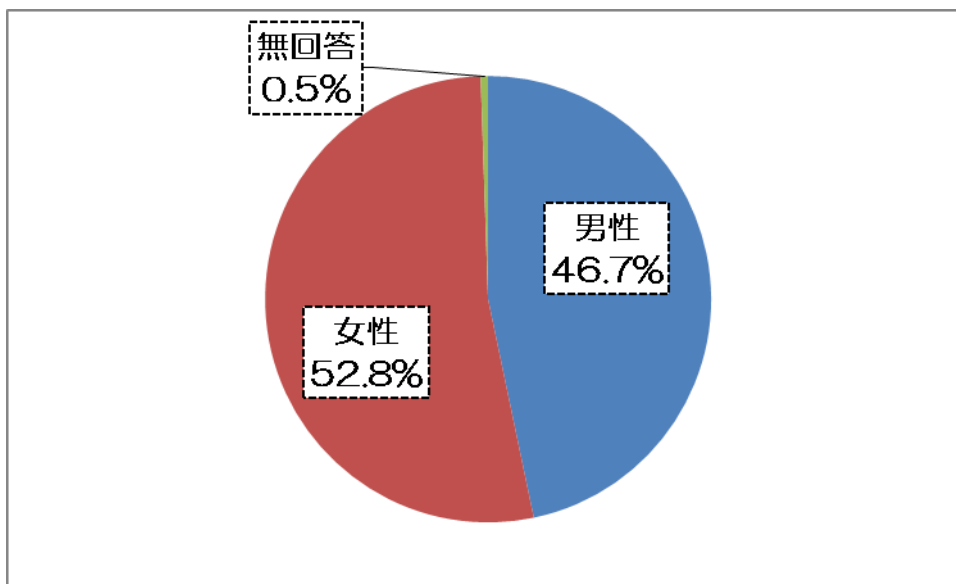
n \ p	10%	20%	30%	40%	50%
	または 90%	または 80%	または 70%	または 60%	
563 (実際の有効回答数)	2.5%	3.3%	3.8%	4.0%	4.1%
1,000 (回答率 50%の場合)	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
1,600 (回答率 80%の場合)	1.5%	1.9%	2.2%	2.4%	2.4%

今回の実際の質問にあてはめると、例えば、今回の調査の質問に答えた人（有効回答者数）は 563 人（=回答数（n））であり、そのうち、80.0%（=回答の比率（p））の人が「効果がちょうどよい」と答えた場合、今回の調査対象となった 18 歳以上の鎌倉市民の人口は 150,834 人（=N, 平成 29 年 1 月 1 日現在, 住民基本台帳より）であるため、それぞれの数値を上記公式に代入すると、±3.3%が誤差の範囲となります。つまり、回答の割合が 80%であった場合には、真の「効果がちょうどよい」の割合は、80.0%±3.3% = 76.7%～83.3%の間と考えられます。

4 回答者の基本属性（問1～問8）

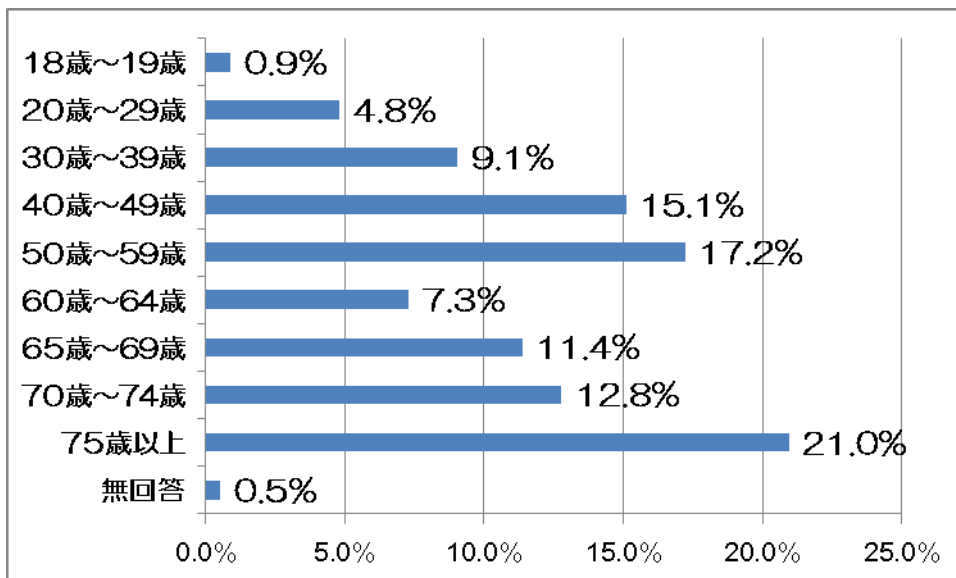
回答者の性別、年齢分布等の基本的な属性については、次のとおりです。

(1) 性別（n=563）



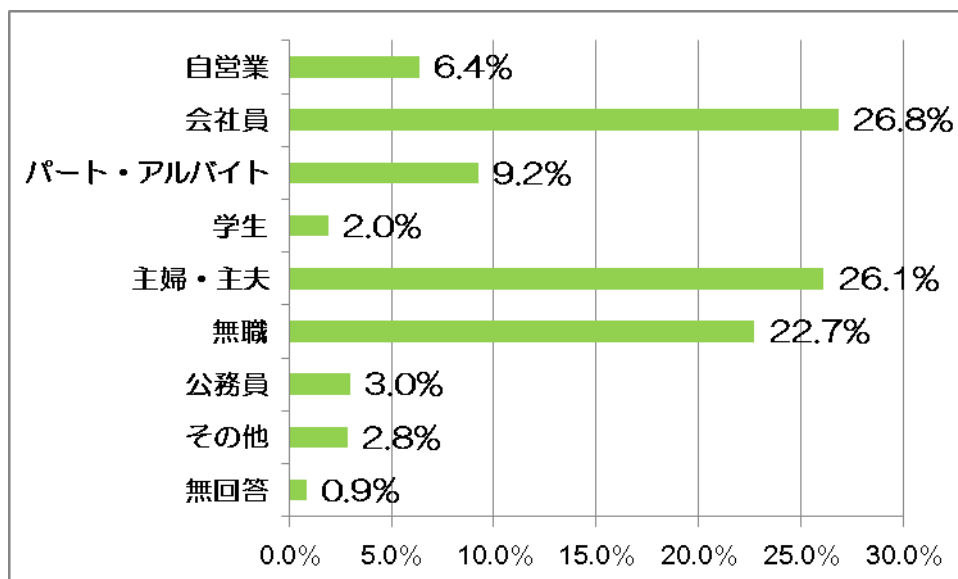
【図 1-1】 男女比率

(2) 年齢分布（n=563）



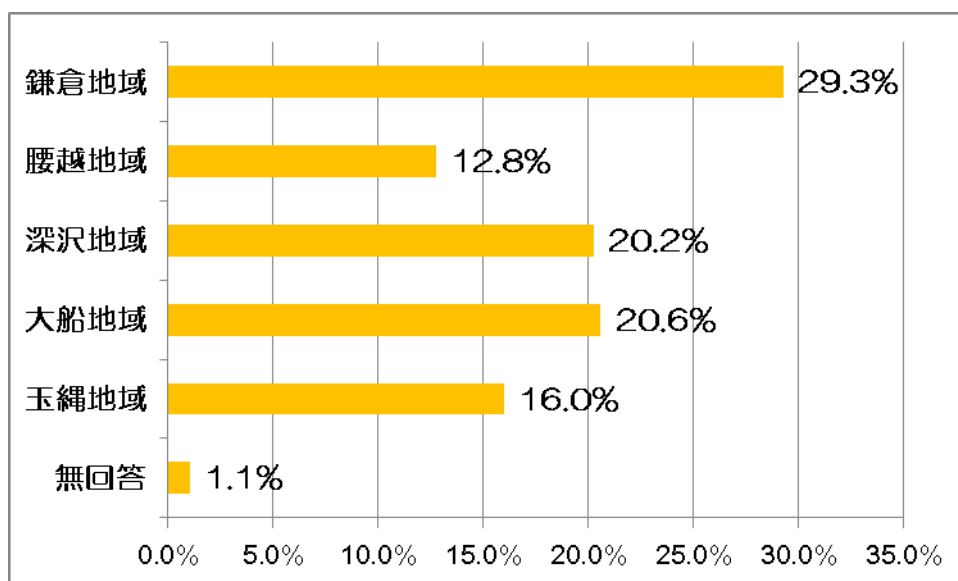
【図 1-2】 年齢構成比率

(3) 職業 (n=563)



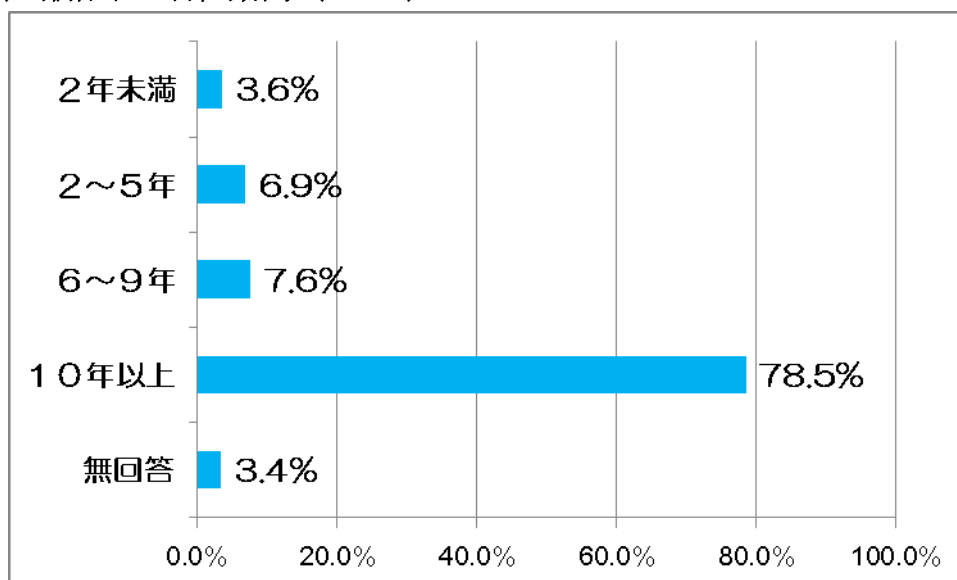
【図 1-3】 職業比率

(4) 住まい (n=563)



【図 1-4】 居住地域比率

(5) 鎌倉市の居住期間 (n=563)



【図 1-5】 回答者の居住期間比率

(6) 家族構成 (n=572)

【表 3-1】 家族構成

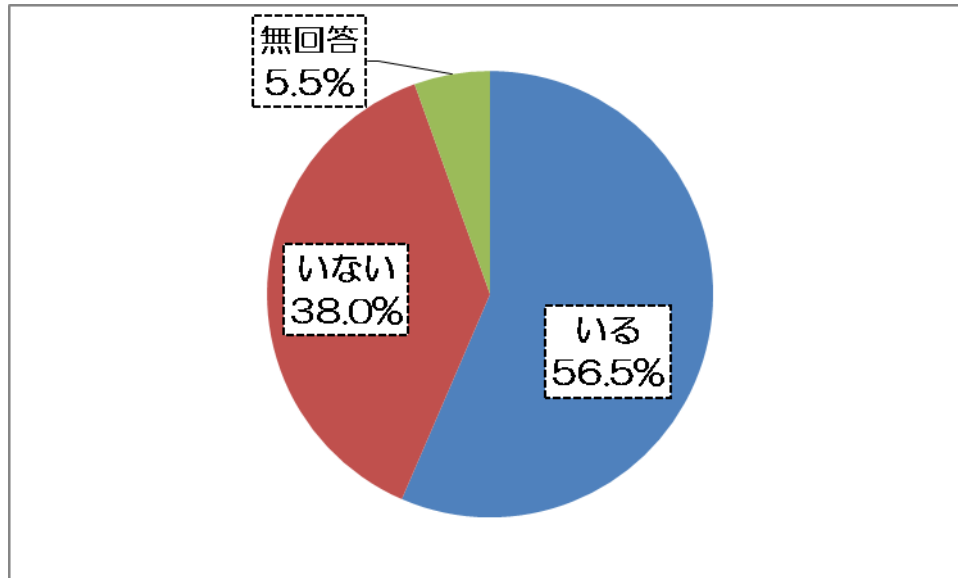
ひとり暮らし	67
夫婦のみ (あなたと配偶者のみ)	186
親と子の世帯 (5歳以下のこどもがいる)	41
親と子の世帯 (6歳以上18歳以下のこどもがいる)	64
親と子の世帯 (18歳以下のこどもがいない)	129
三世帯世帯 (親と子と同居、子と孫と同居など)	44
その他	41
回答総数	572

(7) 家族構成員 (n=210)

【表 3-2】 家族構成員数

保育所・認定こども園・幼稚園に通園している方	40
小学校に通学されている方	46
中学校に通学されている方	29
0～5歳の方で障害のある方	0
6～17歳の方で障害のある方	1
18～64歳の方で障害のある方	26
65歳以上の方で障害のある方	14
65歳以上の方で介護保険の要支援及び認定を受けている方	54
回答総数	210

(8) 身近に頼れる方が住んでいる (n=563)



【図 1-6】回答者の身近に頼れる人が住んでいる比率

5 集計と分析について

(1) アンケート票 (問 9)

基本計画の「54 の施策の方針」について、それぞれ「平成 28 年度の主な事業」及び「この施策にかかる経費」を示し、この情報と日頃の印象をもとに、次の選択肢から回答をいただきました。

【表 4-1】 アンケート「仕事の効果」の回答選択肢及びその説明

仕事の効果	番号	回答	説明
	1	必要以上の効果	効果があったことは良いが、必要以上の効果を出しているのでやりすぎていると思う。
	2	ちょうどよい	市民にとって、ちょうどよい効果が得られていると思う。
	3	効果不十分	効果が得られていないので、もっと力を入れて取り組むべき。
	4	取組を知らない・分からない	そもそも、取組自体について知らない、よく分からない。

【表 4-2】 アンケート「お金の使い方」の回答選択肢及びその説明

お金の使い方	番号	回答	説明
	1	使いすぎ	この施策にお金(税金)をかけ過ぎだと思う。
	2	ちょうどよい	この施策にかけるお金(税金)としては、ちょうど良いと思う。
	3	足りない	この施策にはもっとお金(税金)をかける必要があると思う。

【表 4-3】 アンケート「今後の進め方」の回答選択肢及びその説明

今後の進め方	番号	回答	説明
	1	もっと力を入れるべき	この施策にこれからもっと力を入れて取り組んでいけばいいと思う。
	2	現状のままでよい	この施策はこれまでどおり、取り組んでいけばよいと思う。
	3	力をいれなくてよい	この施策には今後、あまり力を入れて取り組む必要はない。

(2) アンケート票 (問 10)

問 10 については、基本計画の 51 の「施策の方針」のうち、「重要なもの」、「重要でないもの」を 5 つずつ挙げていただきました。

(3) アンケート票 (問 11)

問 11 については、現在、鎌倉市内もしくは市外という視点で、希望する職場で就労できているか、また今後の意向について 5 つの選択肢のいずれかから回答していただきました。

(4) アンケート票 (問 12)

問 12 については、現在、仕事と生活のバランスが取れているかを 3 つの選択肢からお選びいただき、取れていないとお答えの方からはその理由もお聞きしました。

(5) アンケート票 (問 13)

問 13 については、子育てに関する情報入手の容易さに関する質問を 3 つの選択肢から回答いただき、情報を得やすいと回答いただいた方には、その情報源についても回答していただきました。

(6) アンケート票 (問 14、15)

問 14、15 については、鎌倉市の観光に関連する満足度、観光の振興の理解に関して回答いただきました。

(7) アンケート票 (問 16)

問 16 については、まちのイメージについて、文化、自然等の視点からその印象について回答いただきました。

(8) アンケート票 (問 17)

問 17 については、今後も「鎌倉に住み続けたいかどうか」を「1 住み続けたいと思う」もしくは「2 住み続けたいと思わない」のいずれかで回答いただきました。

(9) アンケート票 (自由記述欄)

調査票の最後に自由記述欄を設けて鎌倉市民の皆様の意見をお聞きしました。

6 各質問の回答結果が示す市民意識

問 9 から問 17 及び自由記入欄の回答結果により、市の取組に対する市民意識を示しています。

(1) 施策に対する認知度

問 9 のうち「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・分からない」の回答率により施策に対する認知度を示しています。

(2) 鎌倉市民が感じている費用対効果の「妥当性」

問 9 のうち「仕事の効果」と「お金の使い方」の回答の組合せから、それぞれの施策についての費用対効果に対する「妥当性」を示しています。

(3) 施策の重要度

問 9 「今後の進め方」については、その施策について「もっと力をいれるべき」、「現状のままで満足」、「力を入れなくてよい」の回答率により、鎌倉市民の皆様が考えるその施策に対する今後の優先性・重要性を示しています。

(4) 施策間の重要度

問 10 の基本計画の 51 の「施策の方針」のうち、「重要なもの」、「重要でないもの」のそれぞれの回答数により、51 の施策の中で鎌倉市民の皆様がもつ施策間の重要度を示しています。

(5) 鎌倉市内での就労の意向

問 11 「現在、希望する職場で就労できていますか」の回答から、鎌倉市内で就労したい、もしくは市内で希望する職場があれば就労したい等の回答数から鎌倉市民の皆様がもつ鎌倉市内での就労意向の意識を示しています。

(6) 職場におけるワークバランスの現状

問 12 「現在、仕事と生活のバランスが取れていると感じますか」の回答から職場でのワークライフバランスの現状を示しています。

(7) 子育てに関する情報発信について

問 13 「鎌倉市は子育てに関する情報を得やすいまちだと感じていますか」の回答から、子育てに関する情報の入手しやすさを示しています。

(8) 観光に関する鎌倉市民としての意識について

問 14 にて観光に対する満足度、問 15 にて観光振興の推進に関する理解度の 2 点について鎌倉市民としての意識を示しています。

(9) 鎌倉市のまちなイメージについて

問 16 にて、文化、自然環境、生活のしやすさ、歩行道路整備、地域活動に関する等の鎌倉市民としての意識を示しています。

(10) 鎌倉に住み続けたいかどうか

問 17 については、今後も「鎌倉に住み続けたいかどうか」の回答率により、鎌倉市民の皆様がもつ鎌倉市への愛着度を示しています。

(11) 自由記述欄

今回の調査票以外で日ごろ思われていること、希望などをお聞きすることで、主に鎌倉市民の皆様の潜在的ニーズを示しています。

7 調査結果概要

問9から自由記述の質問に対する調査結果概要は次のとおりです。

(1) 認知度

「問9」の「仕事の効果」において、「取組を知らない・分からない」の回答率から、施策の認知度を測りました。

平成28年度の回答では、認知度が低い（「取組を知らない・分からない」の回答率が高い）施策は、「1 平和推進事業の充実」（回答率48.7%）、「2 人権施策の充実」（回答率43.7%）、「3 多文化共生社会の推進」（回答率42.5%）が挙げられます。

一方で「取組を知らない・分からない」の回答率が低い（認知度が高い）施策は「11 3Rの推進・ごみの適性処理」（回答率8.3%）、「13 まちの美化」（回答率10.1%）、「18 市民の健康と安心づくり推進」（回答率10.3%）、となっています。

昨年度と比較し、認知度が最も下がっている施策は、「25 多様な学習機会の提供と学習成果の活用」（9.4ポイント増）、認知度が最も上がっている施策は、「0-1 市民自治」（6.3ポイント減）となっています。

【表5】 認知度「取組を知らない・わからない」回答率

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	昨年比(p.ポイント)
1 平和推進事業の充実	47.2%	46.2%	48.7%	2.5p 増
2 人権施策の充実	41.2%	42.9%	43.7%	0.8p 増
3 多文化共生社会の推進	41.9%	40.6%	42.5%	1.8p 増
4 歴史的風土の保存	19.0%	18.0%	17.8%	0.3p 減
5 史跡の指定、保存・管理、設備及び活用	17.1%	16.3%	16.3%	変化なし
6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実	21.8%	18.6%	18.8%	0.2p 増
7 文化活動の支援・推進	20.4%	18.9%	18.3%	0.6p 減
8 緑の保全等	17.8%	17.7%	15.6%	2.1p 減
9 都市公園等の整備・管理	17.3%	16.9%	14.7%	2.1p 減
10 良好な都市景観形成事業の推進	27.3%	21.0%	23.4%	2.4p 増
11 3Rの推進・ごみの適性処理	10.4%	9.3%	8.3%	1.0p 減
12 環境汚染の防止	21.8%	18.7%	17.4%	1.3p 減
13 まちの美化	13.3%	10.6%	10.1%	0.5p 減
14 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進	30.3%	33.6%	29.1%	4.5p 減
15 野生鳥獣等への対応	18.7%	17.7%	14.7%	3.0p 減
16 海浜の環境保全	19.6%	17.6%	17.6%	変化なし
17 地域生活の支援サービス	18.2%	17.6%	15.5%	2.1p 減
18 市民の健康と安心づくりの推進	12.3%	11.3%	10.3%	1.0p 減
19 すべての子育て家庭への支援	22.0%	20.5%	21.1%	0.7p 増
20 子育て支援施設の整備	22.8%	24.9%	23.4%	1.4p 減

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	昨年比(p.ポイント)
21 安全・安心で開かれた学校づくり	21.5%	24.6%	21.0%	3.6p 減
22 教育内容・教育環境の充実	21.6%	23.7%	23.4%	0.3p 減
23 学校施設の整備	22.1%	25.3%	21.3%	4.0p 減
24 青少年の育成・支援	27.0%	28.6%	24.2%	4.5p 減
25 多様な学習機会の提供と学習成果の活用	35.1%	24.9%	34.3%	9.4p 増
26 学習環境の整備・充実	16.8%	17.5%	14.6%	2.9p 減
27 市民スポーツ・レクリエーションの推進	22.8%	21.5%	20.1%	1.4p 減
28 スポーツ施設の整備	30.1%	25.3%	21.8%	3.5p 減
29 地震対策・風水害対策の充実	15.2%	13.3%	12.4%	0.9p 減
30 危機管理対策	24.6%	21.5%	22.7%	1.3p 増
31 消防機能の整備・充実	17.1%	16.7%	14.7%	2.0p 減
32 防犯活動の充実・強化	15.1%	12.0%	13.0%	0.9p 増
33 市街地整備の推進	20.8%	22.5%	19.4%	3.1p 減
34 道路・交通体系の検討	20.2%	19.0%	19.2%	0.2p 増
35 交通安全意識の高揚	18.0%	17.6%	16.2%	1.4p 減
36 駐輪対策の推進	15.1%	13.7%	13.1%	0.6p 減
37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進	22.7%	21.9%	17.8%	4.1p 減
38 道路・橋りょうの整備・維持管理	17.8%	19.5%	20.6%	1.1p 増
39 鎌倉らしい住まいづくり	26.1%	27.6%	27.0%	0.6p 減
40 下水道の整備・管理	18.5%	19.2%	16.7%	2.5p 減
41 水辺環境の整備・創出・管理	25.3%	27.8%	23.6%	4.1p 減
42 下水道資源の有効利用	29.4%	33.6%	30.0%	3.6p 減
43 農業・漁業の振興	23.2%	23.9%	22.7%	1.2p 減
44 商工業振興の充実	25.1%	29.3%	27.0%	2.3p 減
45 観光都市としての質の向上	15.4%	14.7%	14.4%	0.3p 減
46 安全で快適な観光空間の整備	16.6%	11.4%	11.7%	0.3p 増
47 地域が一体となった観光振興の推進	17.1%	14.7%	15.5%	0.7p 増
48 雇用支援の充実	33.9%	34.2%	35.0%	0.8p 増
49 働く環境の充実	37.4%	39.9%	42.3%	2.4p 増
50 技能振興の充実	28.5%	32.0%	32.7%	0.6p 増
51 消費者施策の推進	28.4%	27.6%	26.8%	0.8p 減
0-1 市民自治	29.4%	27.8%	21.5%	6.3p 減
0-2 行財政運営	22.7%	25.6%	21.3%	4.3p 減
0-3 歴史的遺産と共生するまちづくり	22.0%	21.2%	21.1%	0.1p 減

(2) 妥当性

これまで行ってきたアンケートに引き続き、今年度のアンケートでも、問 9 において調査票に記載の情報や日頃の生活での印象からそれぞれの施策の「仕事の効果」と「お金の使い方」を選択していただきました。この「仕事の効果」と「お金の使い方」の回答の組合せにより、それぞれの施策についての費用対効果に対する「妥当性」と定義し、費用対効果の鎌倉市民の皆様の意識の傾向を【表 5-1】のとおり 9 つに分類しました。

【表 6-1】「仕事の効果」×「お金の使い方」分類表

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	①	②	③
	ちょうどよい	④	⑤	⑥
	効果不十分	⑦	⑧	⑨

【表 6-2】 【表 6-1】 の分類から推定される市民意識の傾向

調査結果から得られる情報			
分類	仕事の効果	お金の使い方	推定される鎌倉市民の意識の傾向
①	必要以上	使いすぎ	効果が必要以上に対して税金の投入は多すぎる
②	必要以上	ちょうどよい	必要以上の効果に対して税金の投入は十分
③	必要以上	足りない	効果を適正にし、より税金投入を抑えたほうがよい
			必要以上の効果だが、税金の投入がもっとあってもよい
④	ちょうどよい	使いすぎ	効果が十分に対し、税金投入が多すぎる
⑤	ちょうどよい	ちょうどよい	効果、投入されている税金共に適正である
⑥	ちょうどよい	足りない	効果が十分に対し、税金投入が低く抑えられている
			効果が十分であるが、さらに効果をあげるため、もっと税金を投入してもいい
⑦	効果不十分	使いすぎ	効果が不十分な上、税金投入し過ぎ
⑧	効果不十分	ちょうどよい	効果が不十分であるが、税金投入は妥当であるため、効果を高める努力が必要
⑨	効果不十分	足りない	効果が不十分であり、税金投入も不足している

上記の9つのそれぞれの分類の回答率の平均値は以下のとおりです。

**【表7】「仕事の効果」×「お金の使い方」の分類ごとの回答率の平均及び標準偏差
(上段：平均値 下段：標準偏差)**

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	① 2.1%	② 1.8%	③ 0.3%
		1.42	1.08	0.26
	ちょうどよい	④ 3.4%	⑤ 43.6%	⑥ 1.2%
		2.72	8.01	0.74
	効果不十分	⑦ 4.1%	⑧ 4.0%	⑨ 12.9%
		3.25	1.66	6.44

※ 標準偏差とは、施策ごとの集計のばらつき具合、標準の振れ幅を示しています。標準偏差が小さければ小さいほど、どの施策でも平均値に近い回答になっていると言えます。また標準偏差が大きければ大きいほど、施策ごとにばらつきがあることとなります。

市の取組に対する意識の傾向については以下のとおりに読み取れます。

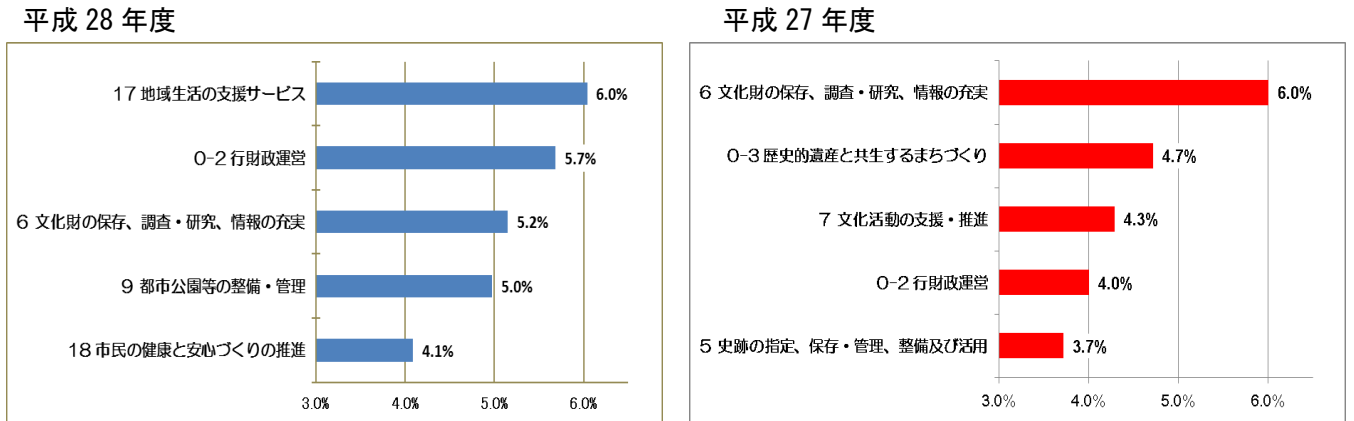
- (1) 回答者のうち、約43.6%が【表7】の分類のうち、⑤の「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」を選択しています。
- (2) 回答者のうち、約12.9%が【表7】の分類のうち、⑨の「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「足りない」を選択しています。
- (3) 上記の【表7】の分類のうち①、②、③、④、⑥、⑦、⑧についてはそれぞれ、約0.3～5.0%前後となっており、②、③、⑥はほとんど選択されていません。
- (4) 回答者のうち、約12.9%が「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「足りない」と共に低いと評価している(⑨)ことをはじめ、約29.8%の回答者が「仕事の効果」、「お金の使い方」のいずれか、もしくは両方に納得していない(⑤以外)という選択をしています。

市の取組に対する意識の傾向を以下のとおり9つに分類した結果については次のとおりです。

なお、今回の調査は鎌倉市民の皆様の意識の大きな傾向をみることから、【表5-1】の分類のうち、②「仕事の効果」が「必要以上」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」、③「仕事の効果」が「必要以上」、かつ「お金の使い方」が「足りない」、⑥「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「足りない」の3つの分類については、どの施策でも大きな違いはないこと(どの施策も標準偏差が極めて小さい)、またそれぞれ平均値が1.8%、0.3%、1.2%と低いことから、今回の分析より除外します。

<分類① 「仕事の効果」が「必要以上」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>

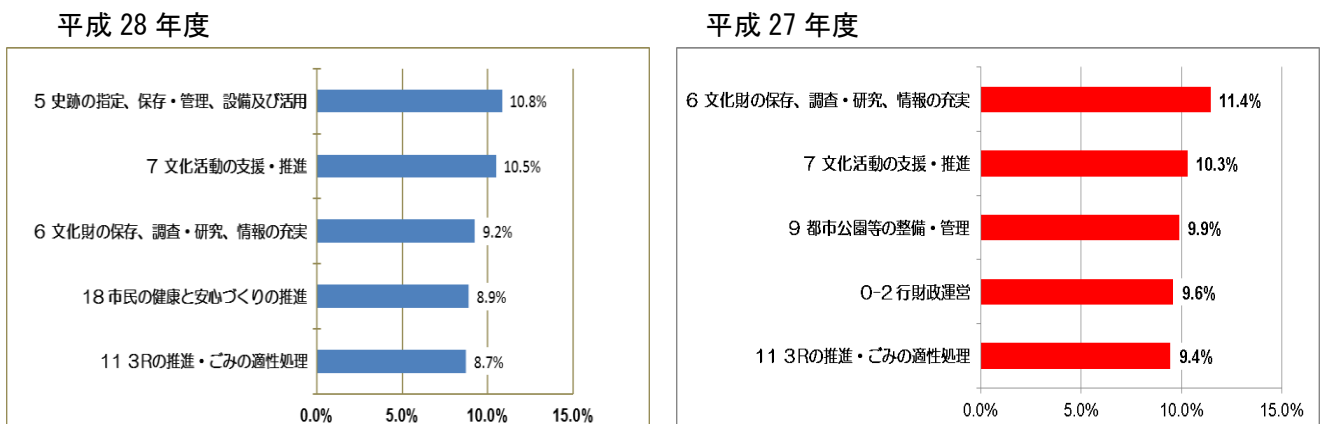
平成 28 年度の調査で「効果が必要以上に対して税金の投入は多すぎる」と考えられている高い傾向の施策は「17 地域生活の支援サービス」(回答率 6.0%)、「0-2 行財政運営」(回答率 5.7%)、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」(回答率 5.2%)、「9 都市公園等の整備・管理」(回答率 5.0%)、「18 市民の健康と安心づくり推進」(回答率 4.1%) となっています。



【図 2】「仕事の効果」が「必要以上」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い 5 つの施策(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

<分類④ 「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>

平成 28 年度の調査で「効果が十分に対し、税金投入が多すぎる」と考えられている傾向の高い施策は、「5 史跡の指定、保存・管理、設備及び活用」(回答率 10.8%)、「7 文化活動の支援・推進」(回答率 10.5%)、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」(回答率 9.2%)、「18 市民の健康と安心づくりの推進」(回答率 8.9%)、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」(回答率 8.7%) となっています。

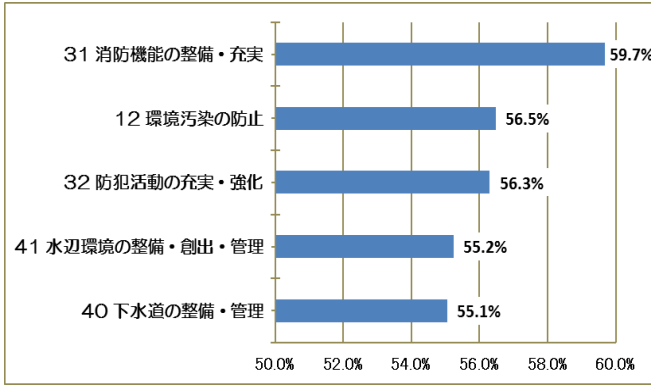


【図 3】「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い 5 つの施策(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

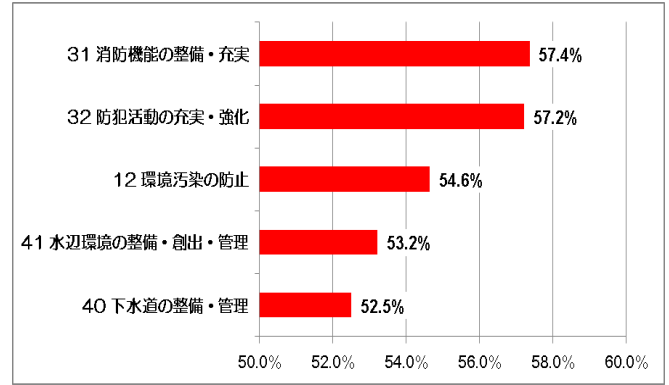
<分類⑤「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」>

平成 28 年度の調査で「仕事の効果」、「お金の使い方」共に適正であり、もっともバランスがとれていると考えられている傾向の高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」（回答率 59.7%）、「12 環境汚染の防止」（回答率 56.5%）、「32 防犯活動の充実・強化」（回答率 56.3%）、「41 水辺環境の整備・創出・管理」（回答率 55.2%）、「40 下水道の整備・管理」（回答率 55.1%）となっています。

平成 28 年度



平成 27 年度

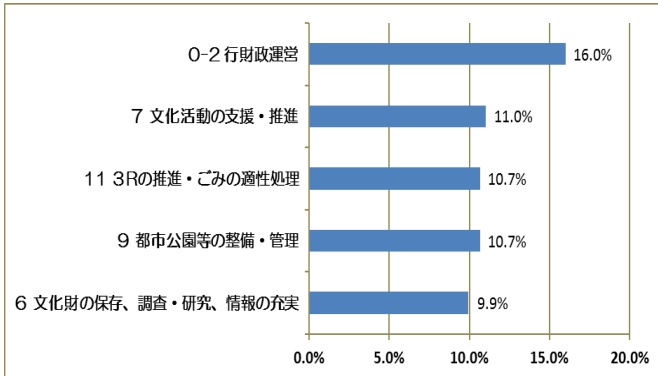


【図 4】「仕事の効果」が「ちょうどよい」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」の回答率が高い 5 つの施策(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

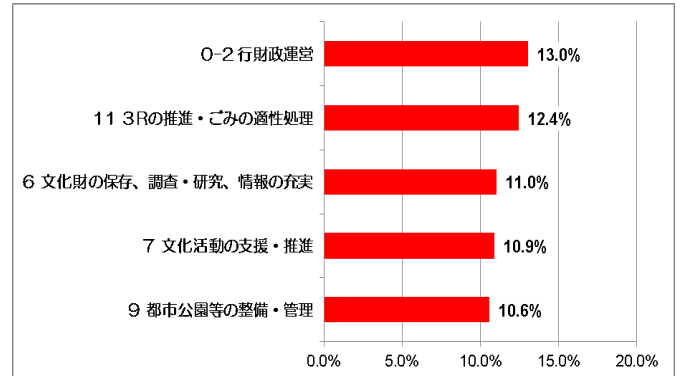
<分類⑦「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「使いすぎ」>

平成 27 年度の調査で効果が不十分な上、税金投入し過ぎと考えられている傾向の高い施策は、「0-2 行政運営」（回答率 16.0%）、「7 文化活動の支援・推進」（回答率 11.0%）、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」（回答率 10.7%）、「9 都市公園等の整備・管理」（回答率 10.7%）、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」（回答率 9.9%）となっています。

平成 28 年度



平成 27 年度

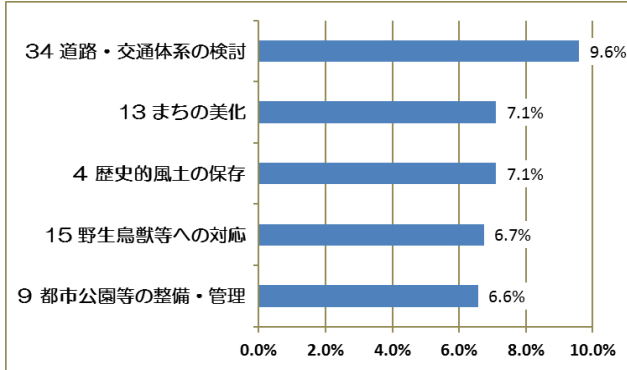


【図 5】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答率が高い 5 つの施策(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

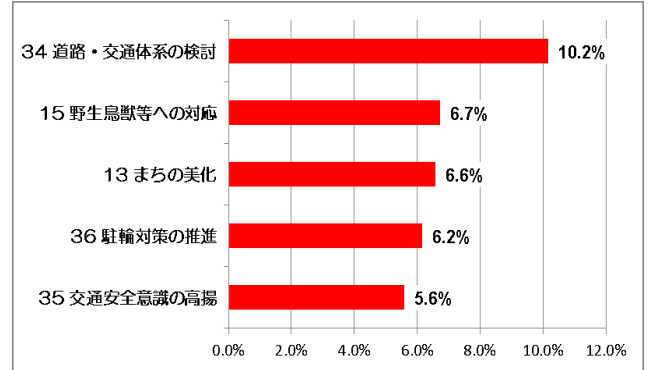
<分類⑧ 「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」>

平成 28 年度の調査で効果が不十分であるが、税金投入は妥当であるため、効果を高める努力が必要と考えられている傾向の高い施策は「34 道路・交通体系の検討」（回答率 9.6%）、「13 まちの美化」（回答率 7.1%）、「4 歴史的風土の保存」（回答率 7.1%）、「15 野生鳥獣等への対応」（回答率 6.7%）、「9 都市公園等の整備・管理」（回答率 6.6%）となっています。

平成 28 年度



平成 27 年度

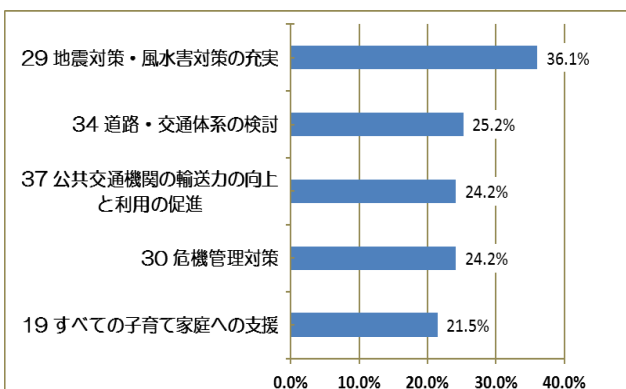


【図 6】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「ちょうどよい」の回答率が高い 5 つの施策 (左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

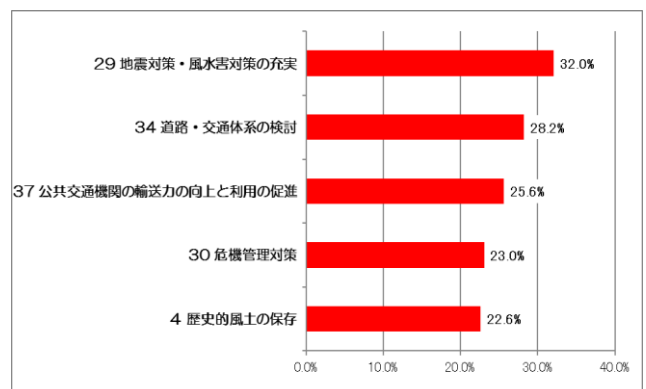
<分類⑨ 「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」>

効果が不十分であり、税金投入も不足していると考えられている高い傾向の施策は「29 地震対策・風水害対策の充実」（回答率 36.1%）、「34 道路・交通体系の検討」（回答率 25.2%）、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」（回答率 24.2%）、「30 危機管理対策」（回答率 24.2%）、「19 すべての子育て家庭への支援」（回答率 21.5%）となっています。

平成 28 年度



平成 27 年度



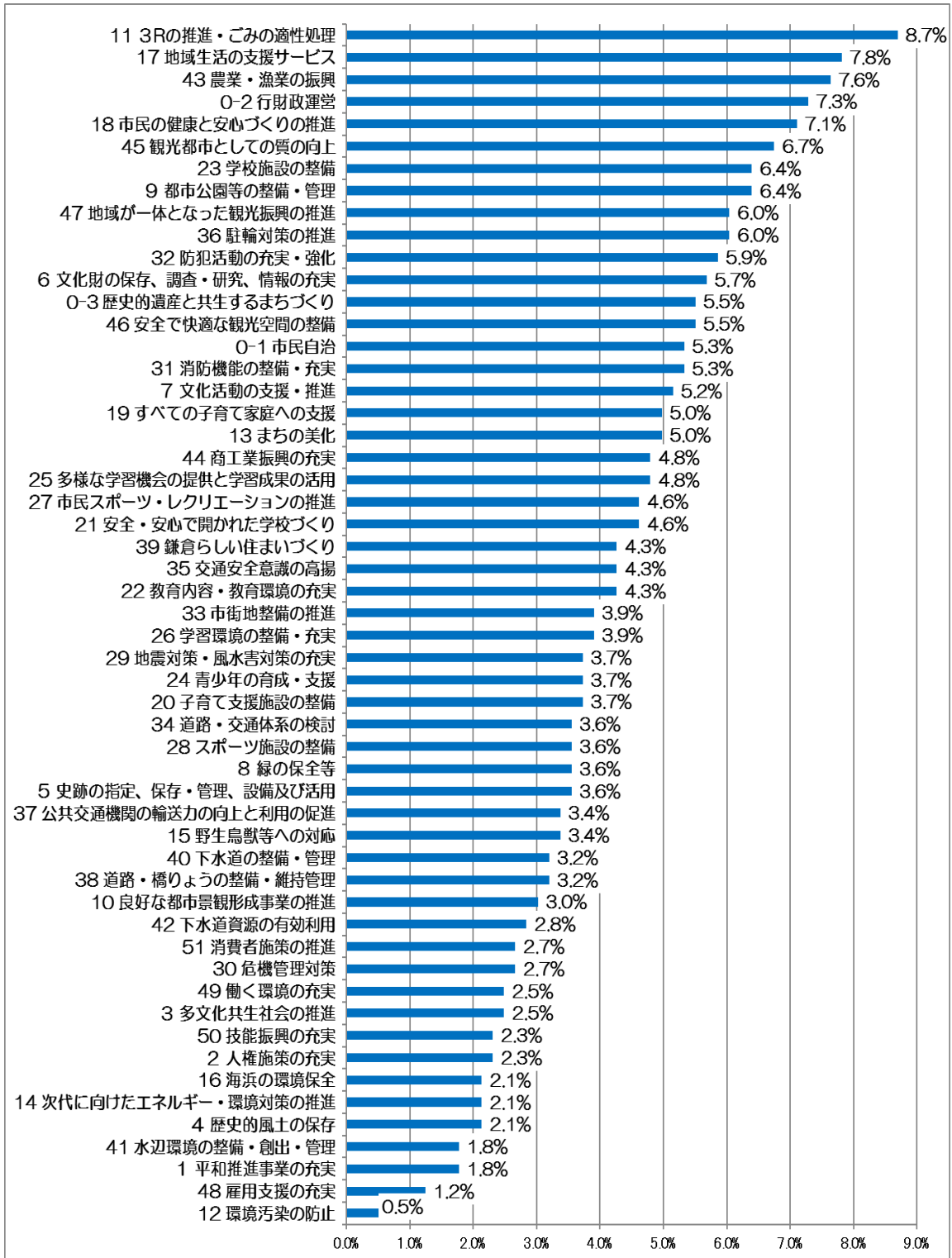
【図 7】「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の回答率が高い 5 つの施策 (左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

(参考)

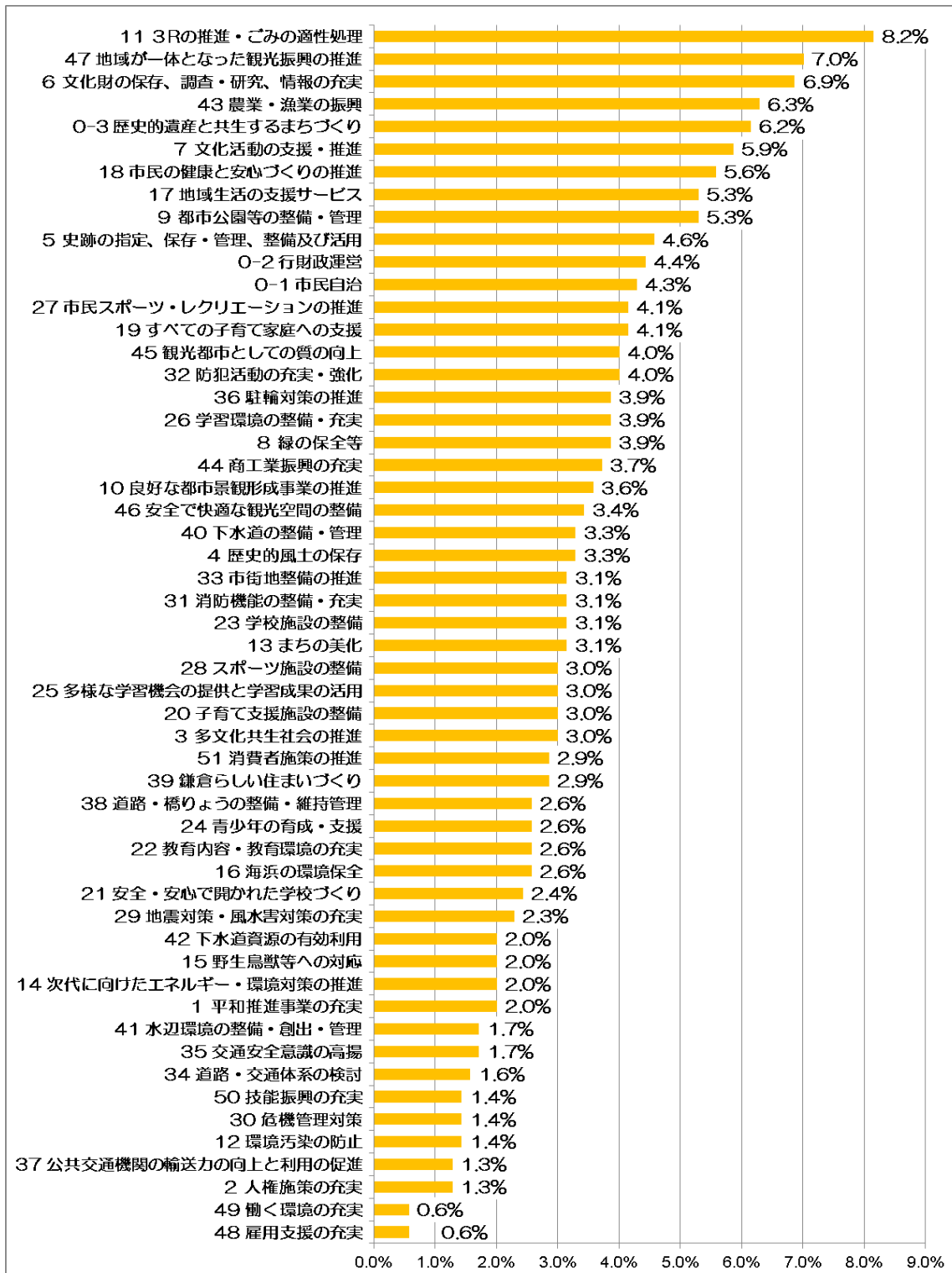
①「仕事の効果」について

問9における「仕事の効果」のみの回答率については以下のとおりです。

回答のうち、「必要以上に効果」の回答率が高い施策は、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」(回答率 8.7%)、「17 地域生活の支援サービス」(回答率 7.8%)、「43 農業・漁業の振興」(回答率 7.6%)、「0-2 行財政運営」(回答率 7.3%)、「18 市民の健康と安心づくりの推進」(7.1%) となっています。

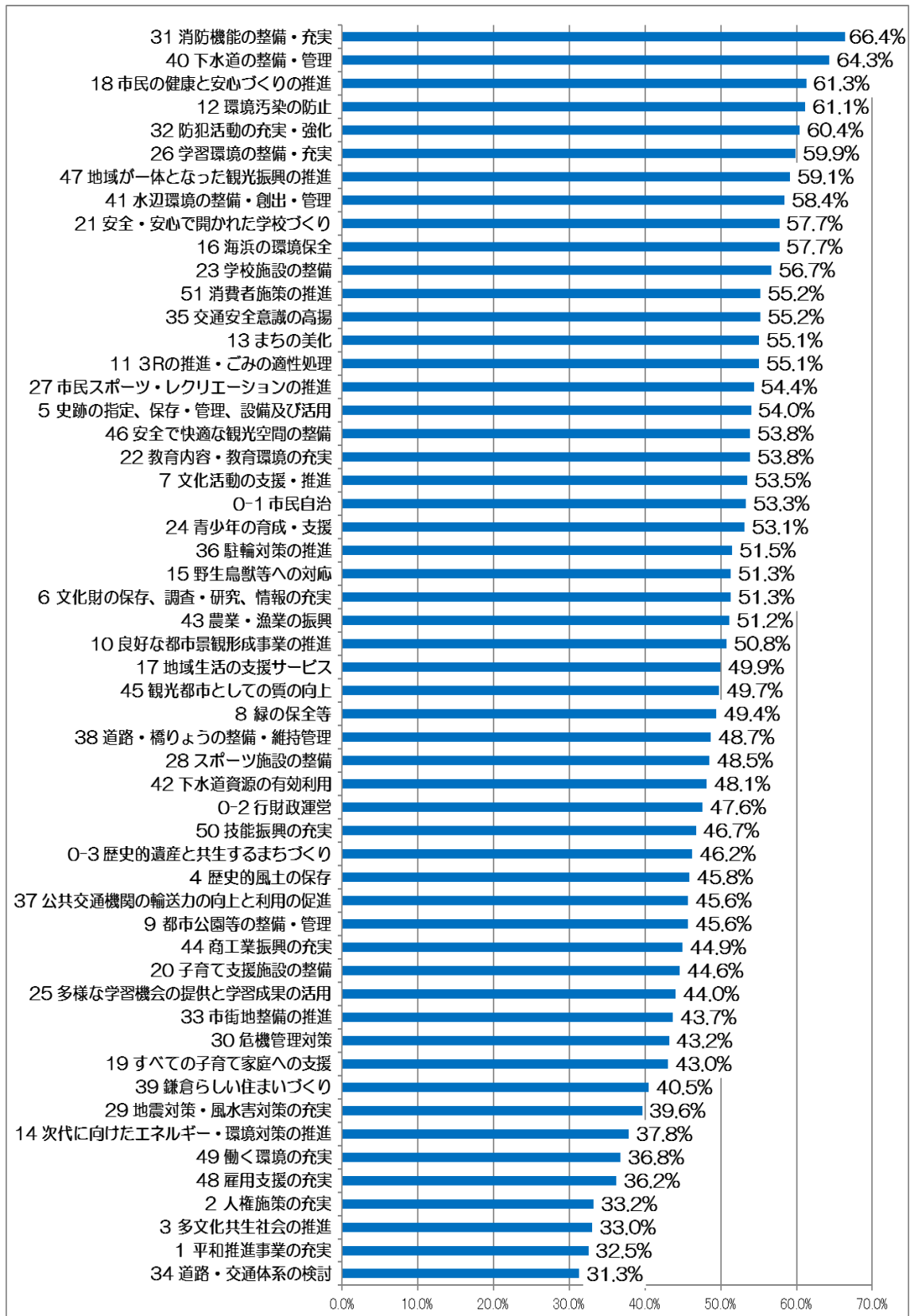


【図8-1】平成28年度「仕事の効果」のうち「必要以上の効果」の回答率

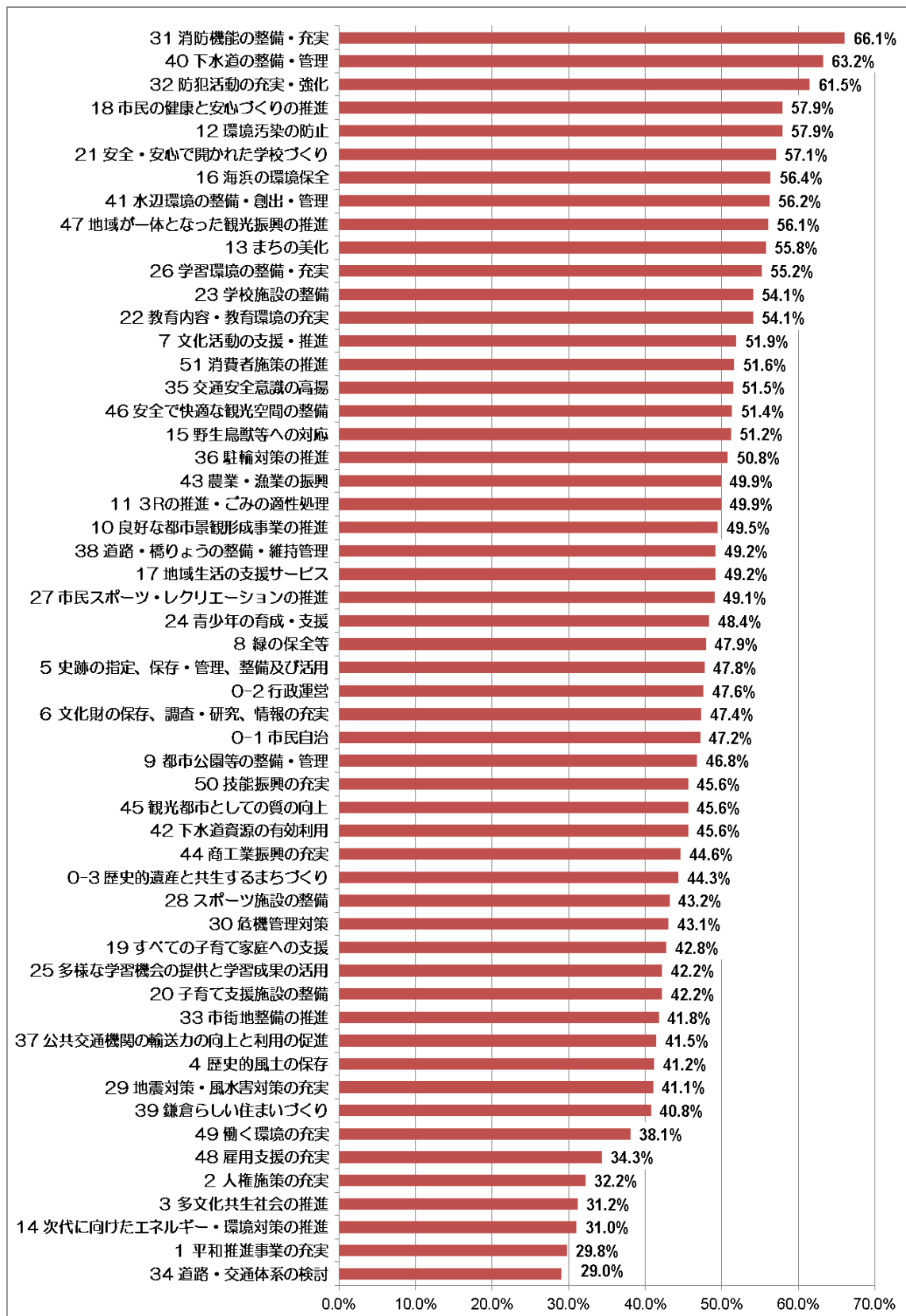


【図 8-2】（参考） 平成 27 年度「仕事の効果」のうち「必要以上の効果」の回答率

回答のうち「ちょうどよい」の回答率が高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」（回答率 66.4%）、「40 下水道の整備・管理」（回答率 64.3%）、「18 市民の健康と安心づくりの推進」（回答率 61.3%）、「12 環境汚染の防止」（回答率 61.1%）、「32 防犯活動の充実・強化」（回答率 60.4%）となっています。

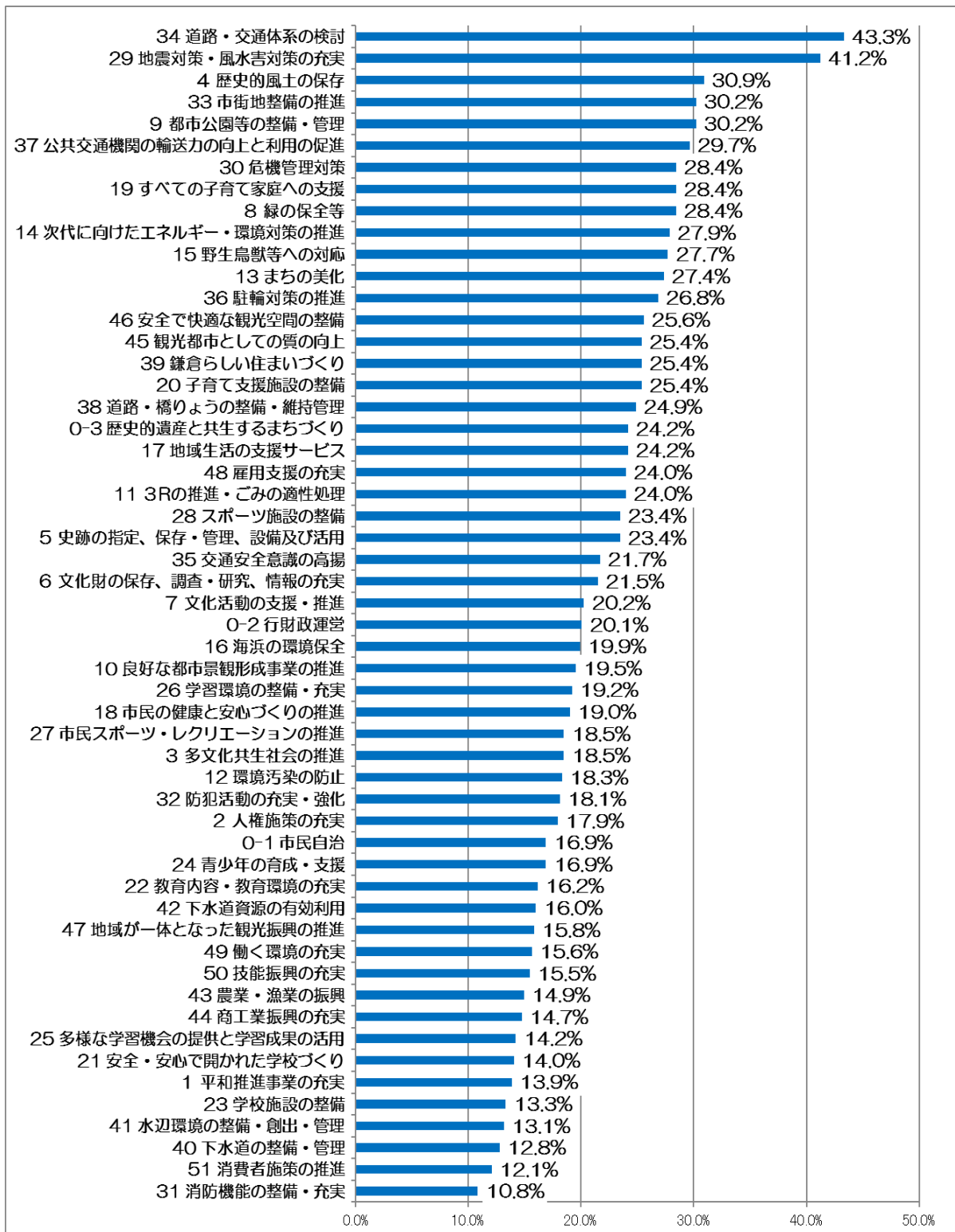


【図 9-1】平成 28 年度「仕事の効果」のうち「ちょうどよい」の回答率

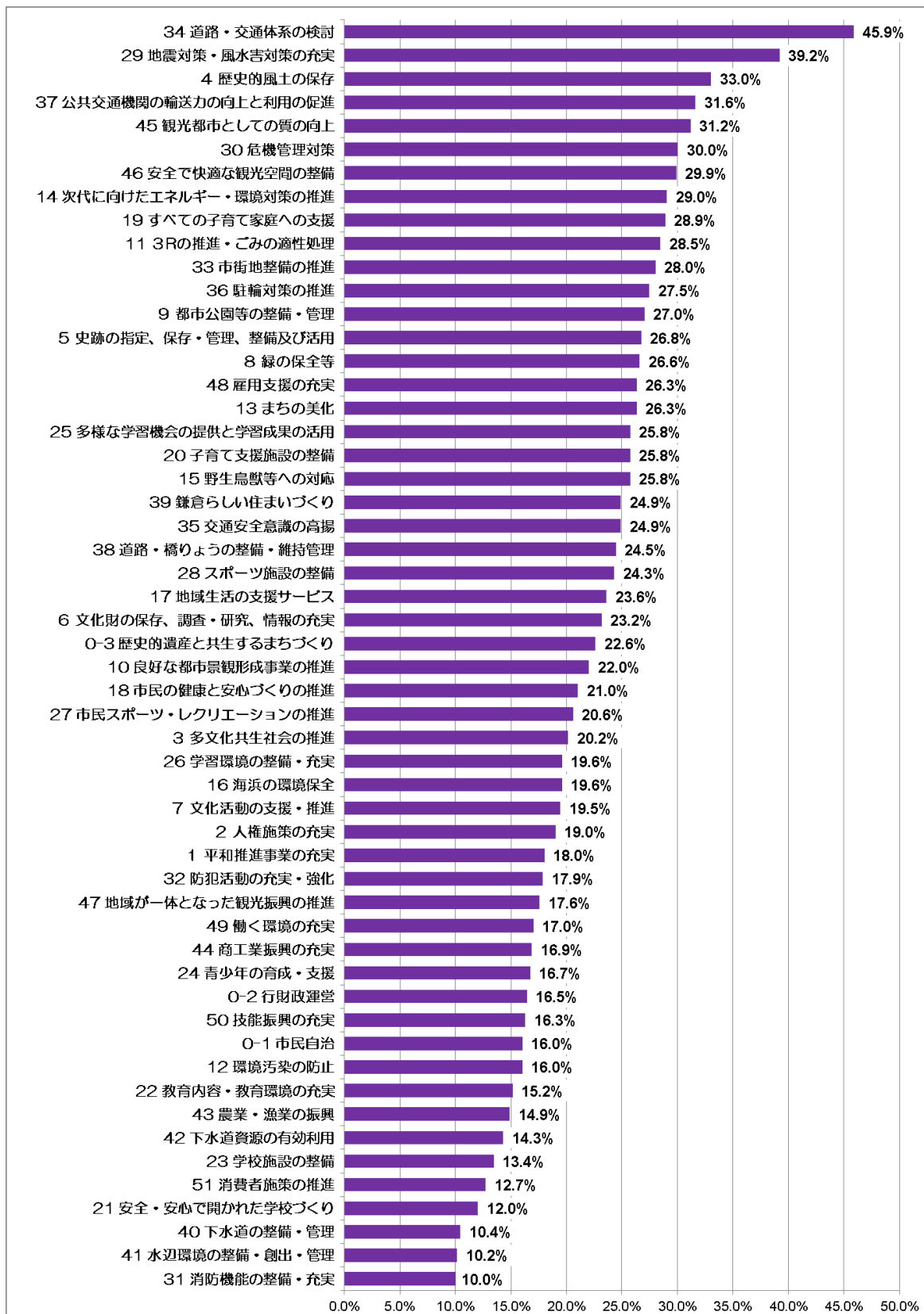


【図9-2】（参考）平成27年度「仕事の効果」のうち「ちょうどよい」の回答率

回答のうち、「効果不十分」の回答率が高い施策は、「34 道路・交通体系の検討」（回答率 43.3%）、「29 地震対策・風水害対策の充実」（回答率 41.2%）、「4 歴史的風土の保存」（回答率 30.9%）、「33 市街地整備の推進」及び「9 都市公園等の整備・管理」（回答率 30.2%）となっています。



【図 10-1】平成 28 年度「仕事の効果」のうち「効果不十分」の回答率

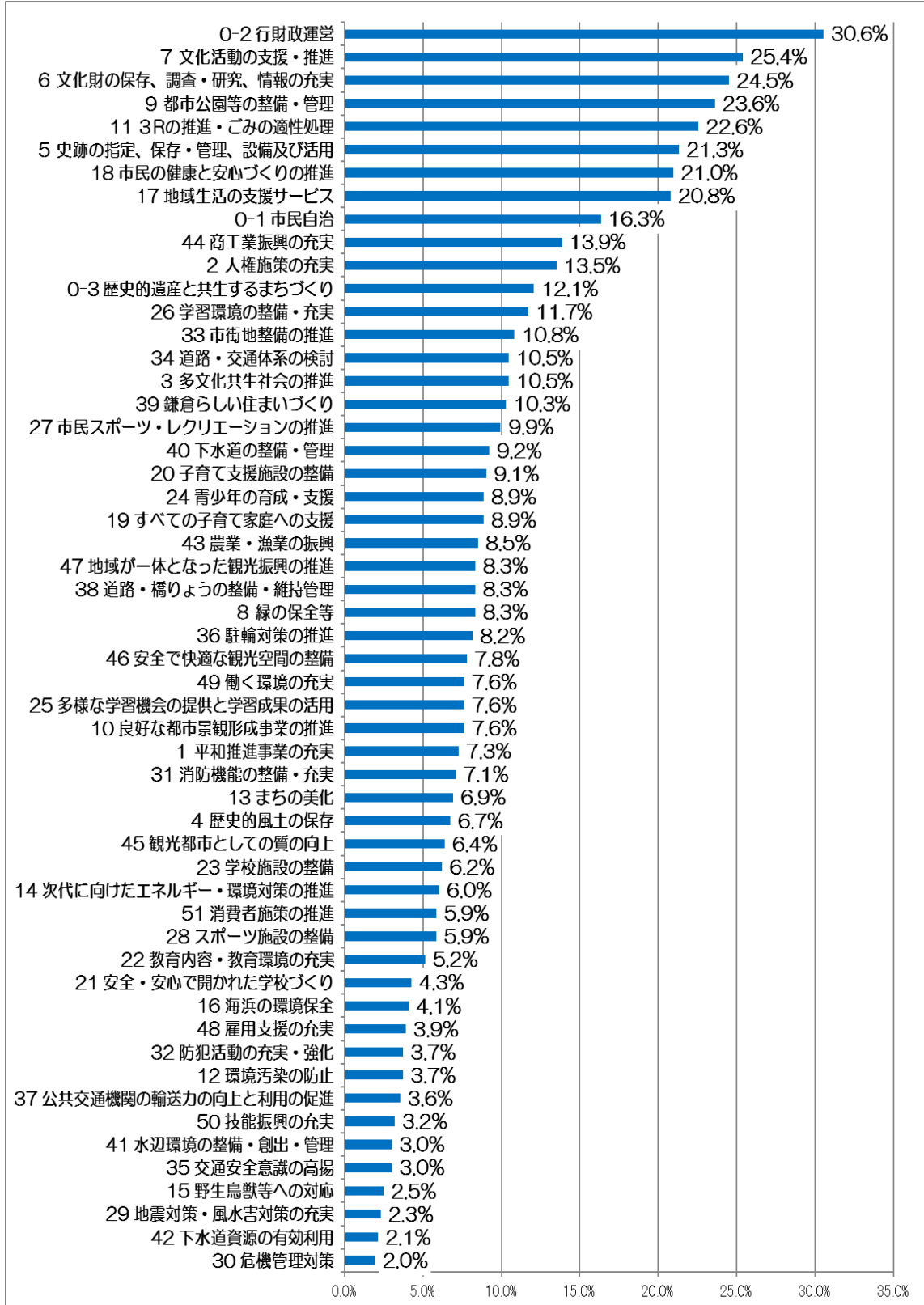


【図 10-2】(参考)平成 27 年度「仕事の効果」のうち「効果不十分」の回答率

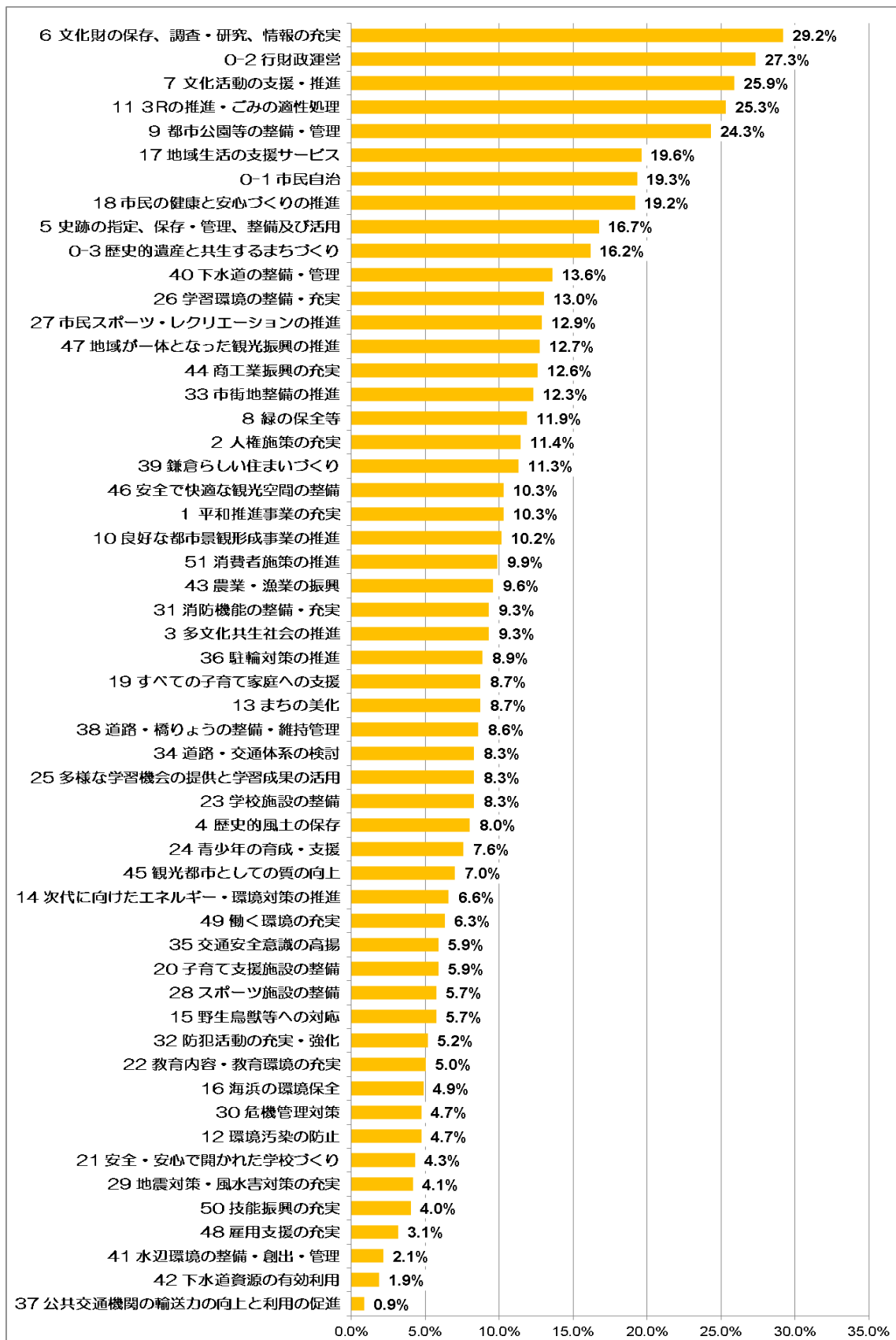
② お金の使い方

問9における「お金の使い方」のみの回答率については以下のとおりです。

回答のうち、「使いすぎ」の回答率が高い施策は、「0-2 行財政運営」（回答率 30.6%）、「7 文化活動の支援・推進」（回答 25.4%）、「6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実」（回答率 24.5%）、「9 都市公園等の整備・管理」（回答率 23.6%）、「11 3Rの推進・ごみの適正処理」（回答率 22.6%）となっています。

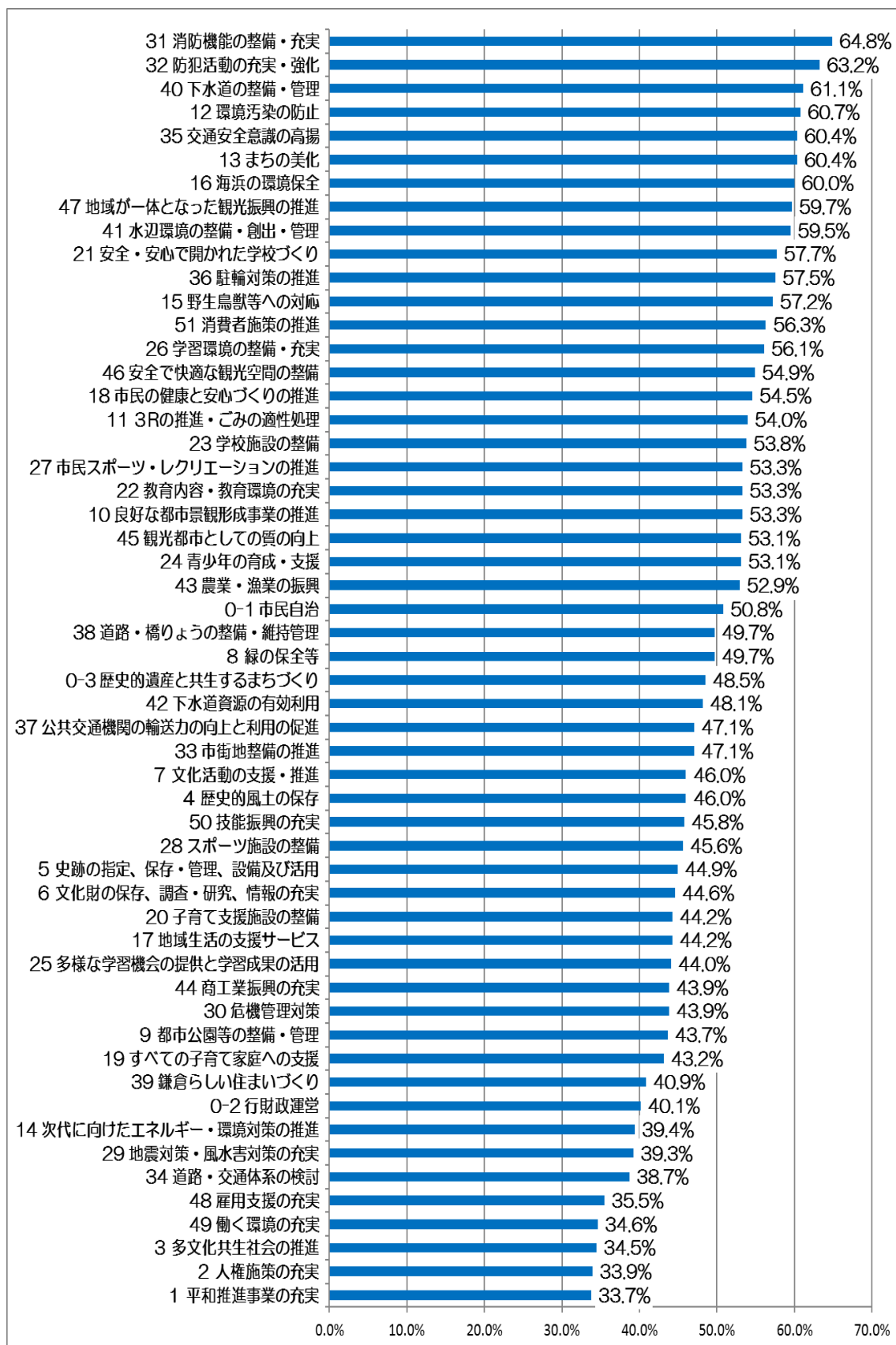


【図 11-1】平成 28 年度「お金の使い方」のうち「使いすぎ」の回答率

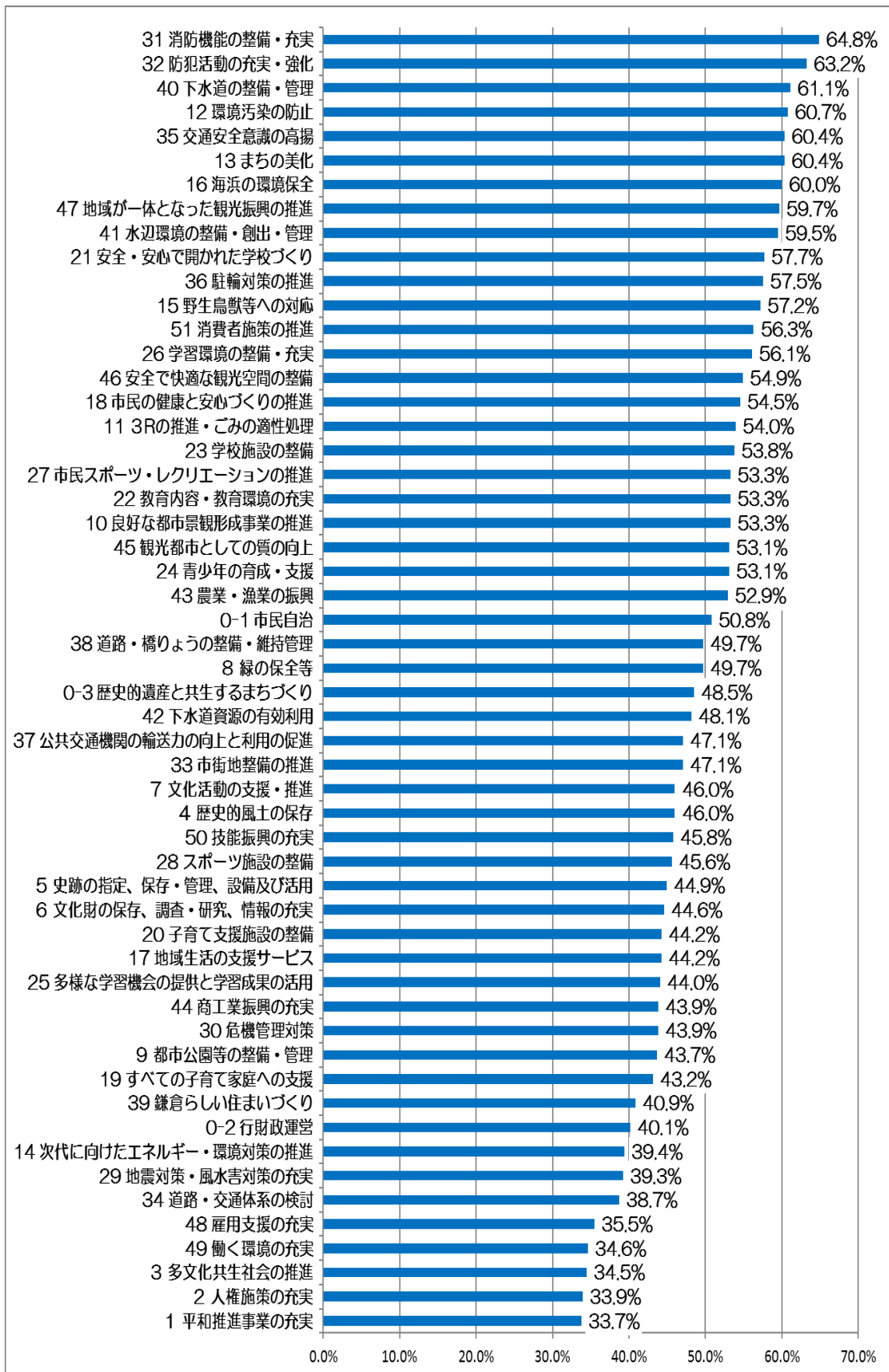


【図 11-2】（参考）平成 27 年度「お金の使い方」のうち「使いすぎ」の回答率

回答のうち「ちょうどよい」の回答率が高い施策は、「31 消防機能の整備・充実」（回答率 64.8%）、「32 防犯活動の充実・強化」（回答率 63.2%）、「40 下水道の整備・管理」（回答率 61.1%）、「12 環境汚染の防止」（回答率 60.7%）、「35 交通安全意識の高揚」（回答率 60.4%）となっています。

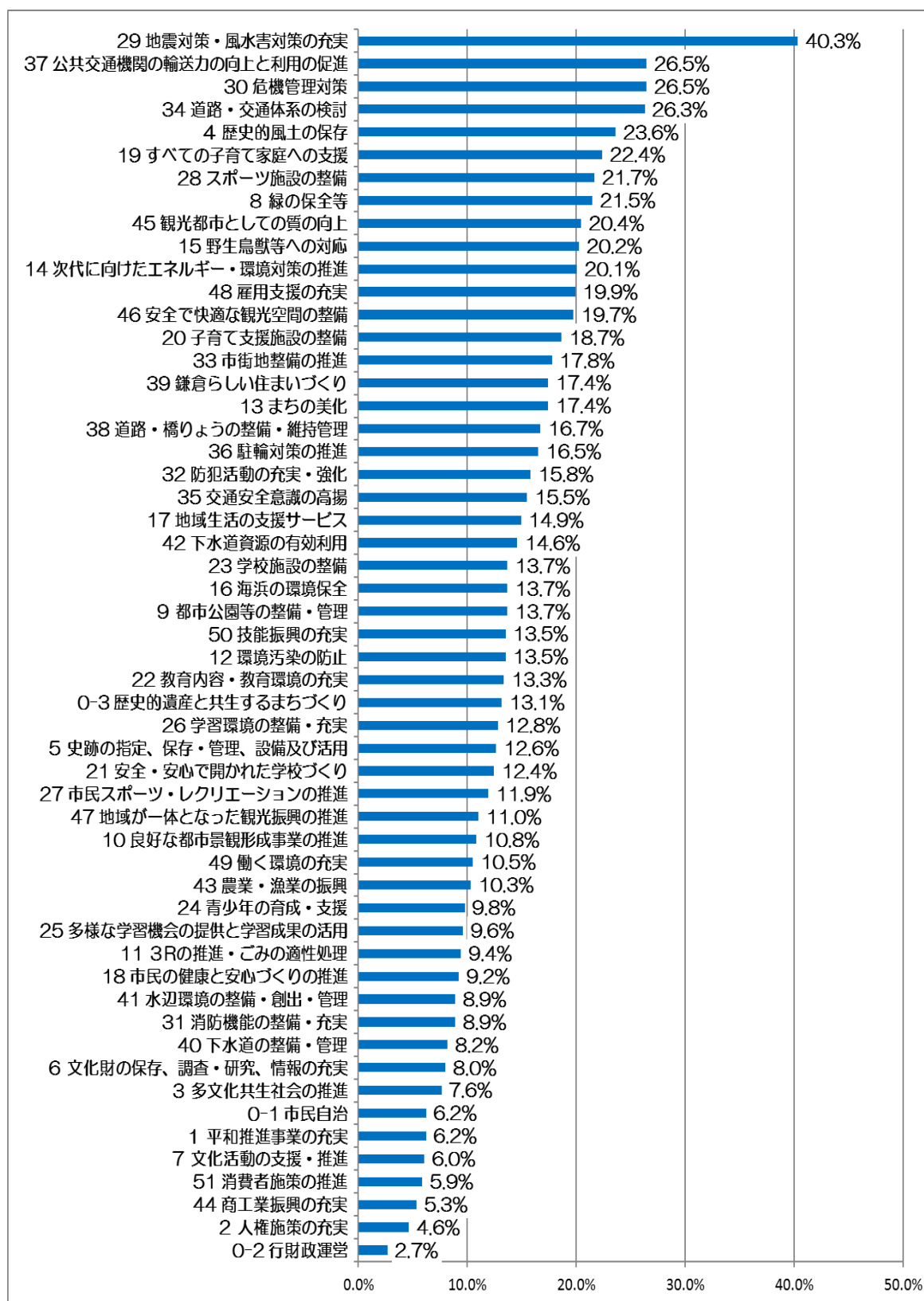


【図 12-1】平成 28 年度「お金の使い方」のうち「ちょうどよい」の回答率

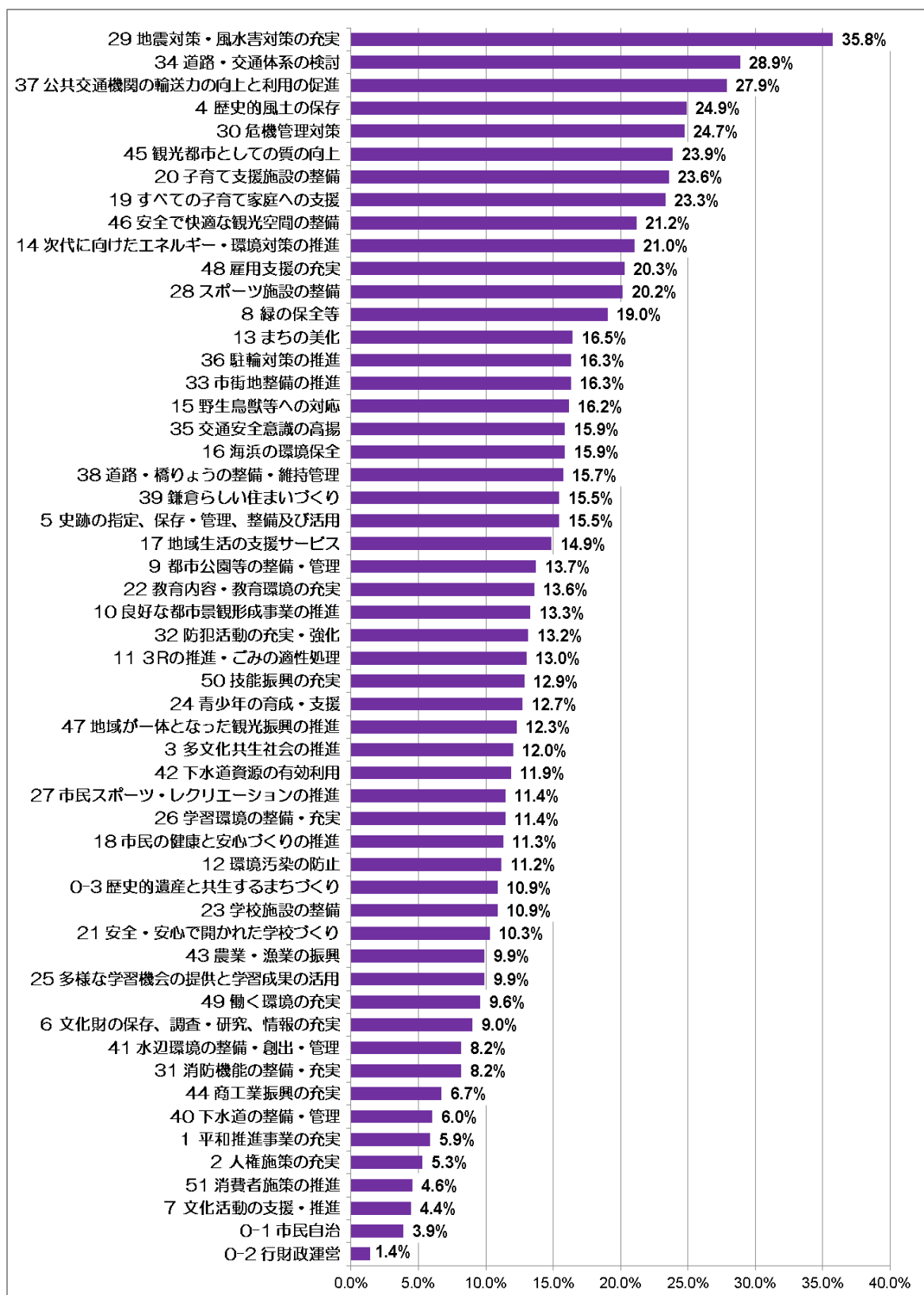


【図 12-2】（参考）平成 27 年度「お金の使い方」のうち「ちょうどよい」の回答率

回答のうち「足りない」の回答率が高い施策は、「29 地震対策・風水害対策の充実」（回答率 40.3%）、「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」及び「30 危機管理対策」（回答率 26.5%）、「34 道路・交通体系の検討」（回答率 26.3%）、「4 歴史的風土の保存」（23.6%）となっています。



【図 13-1】平成 28 年度「お金の使い方」のうち「足りない」の回答率



【図 13-2】（参考）平成 27 年度「お金の使い方」のうち「足りない」の回答率

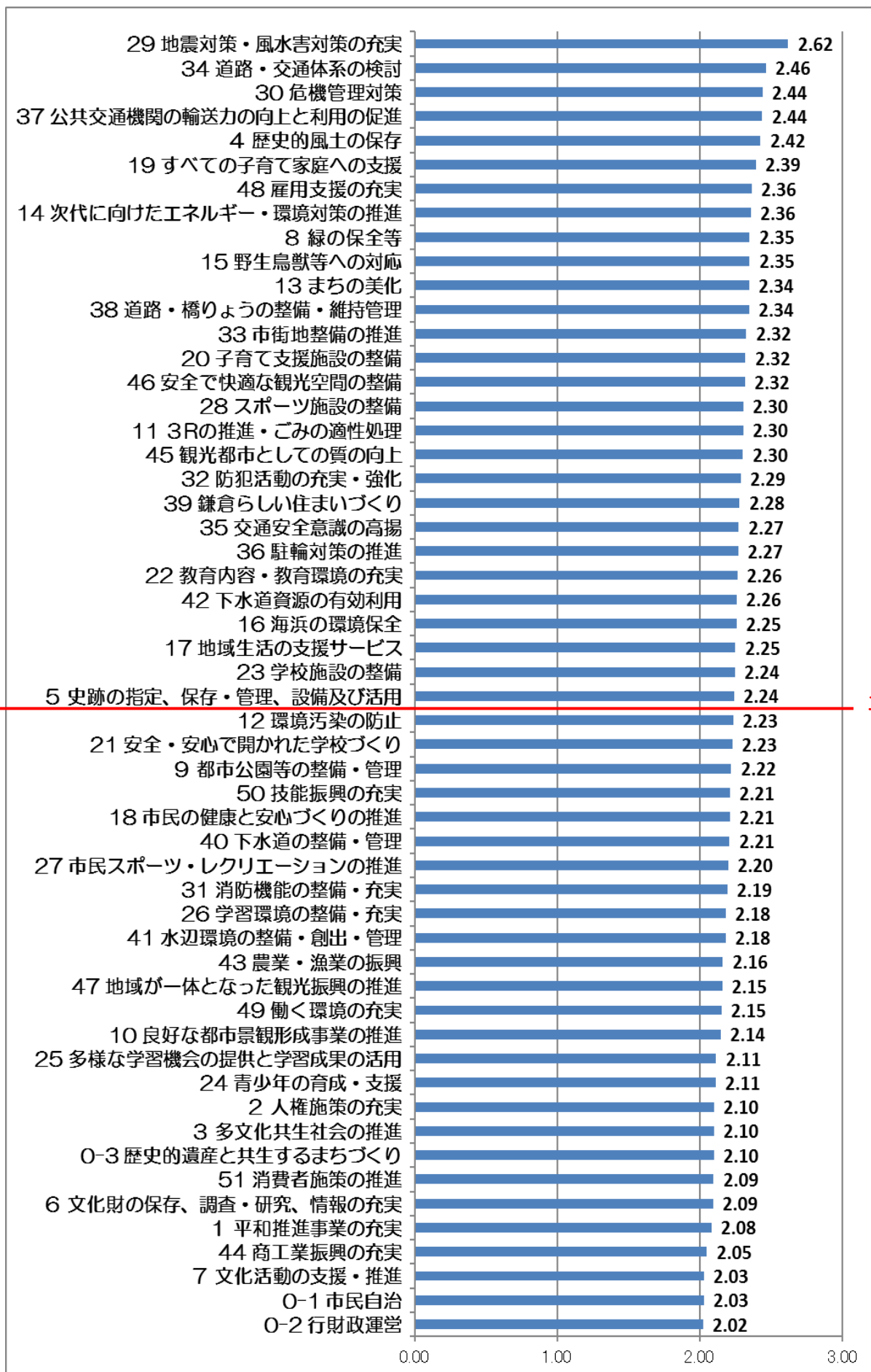
(3) 施策の重要度（今後の進め方）

施策の重要度を測る問9「今後の進め方」の回答については、以下の3段階の評価点を与えてスコア※を算出しています。

※ スコア化は、各項目の4段階評価の回答が「もっと力をいれてほしい」の場合、3点、「このままでよい」2点、「力を入れなくてよい」1点で、その平均値を算出しました。スコアは1点から3点の範囲で、数値が算出されます。

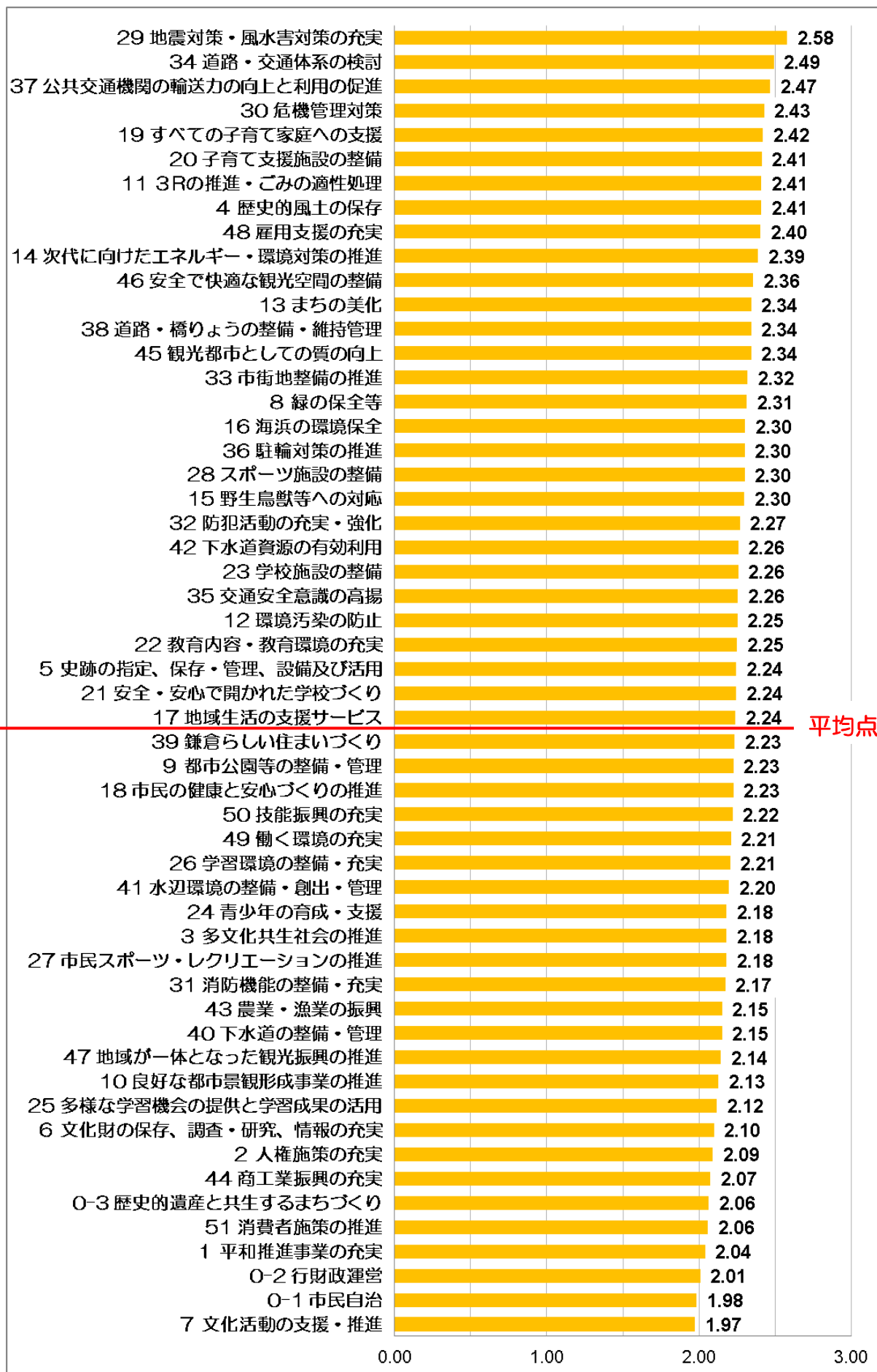
「今後の進め方」の回答について、上記のとおり評価点を与えて、54の施策の全体平均点は2.24となり、54の施策のうち、平均点を上回るのは28の施策、反対に平均を下回るのは26の施策でした。一番得点の高かったものは「29 地震対策・風水害対策の充実」が2.62、「34 道路・交通体系の検討」が2.46、「30 危機管理対策」及び「37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進」が2.44、「4 歴史的風土の保存」が2.42でした。

反対に、得点の低いのは、「0-2 行財政運営」が2.02、次いで「0-1 市民自治」及び「7 文化活動の支援・推進」が2.03、「44 商工業振興の充実」が2.05、「1 平和推進事業の充実」が2.08となっています。



平均点 2.24

【図 14-1】平成 28 年度 各施策ごとの重要度 平均点スコア一覧



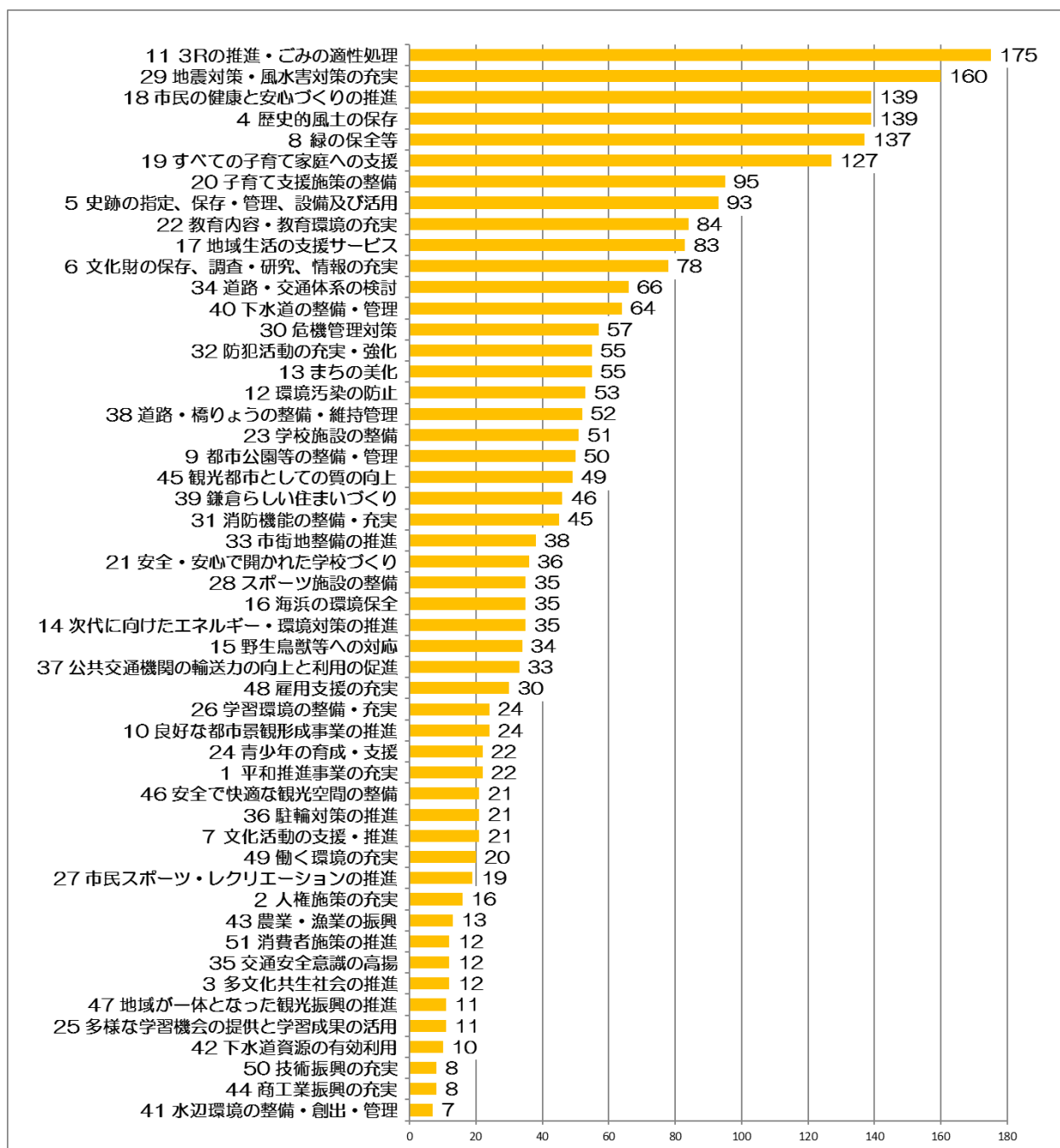
平均点 2.24

【図 14-2】(参考)平成 27 年度 各施策ごとの重要度 平均点スコア一覧

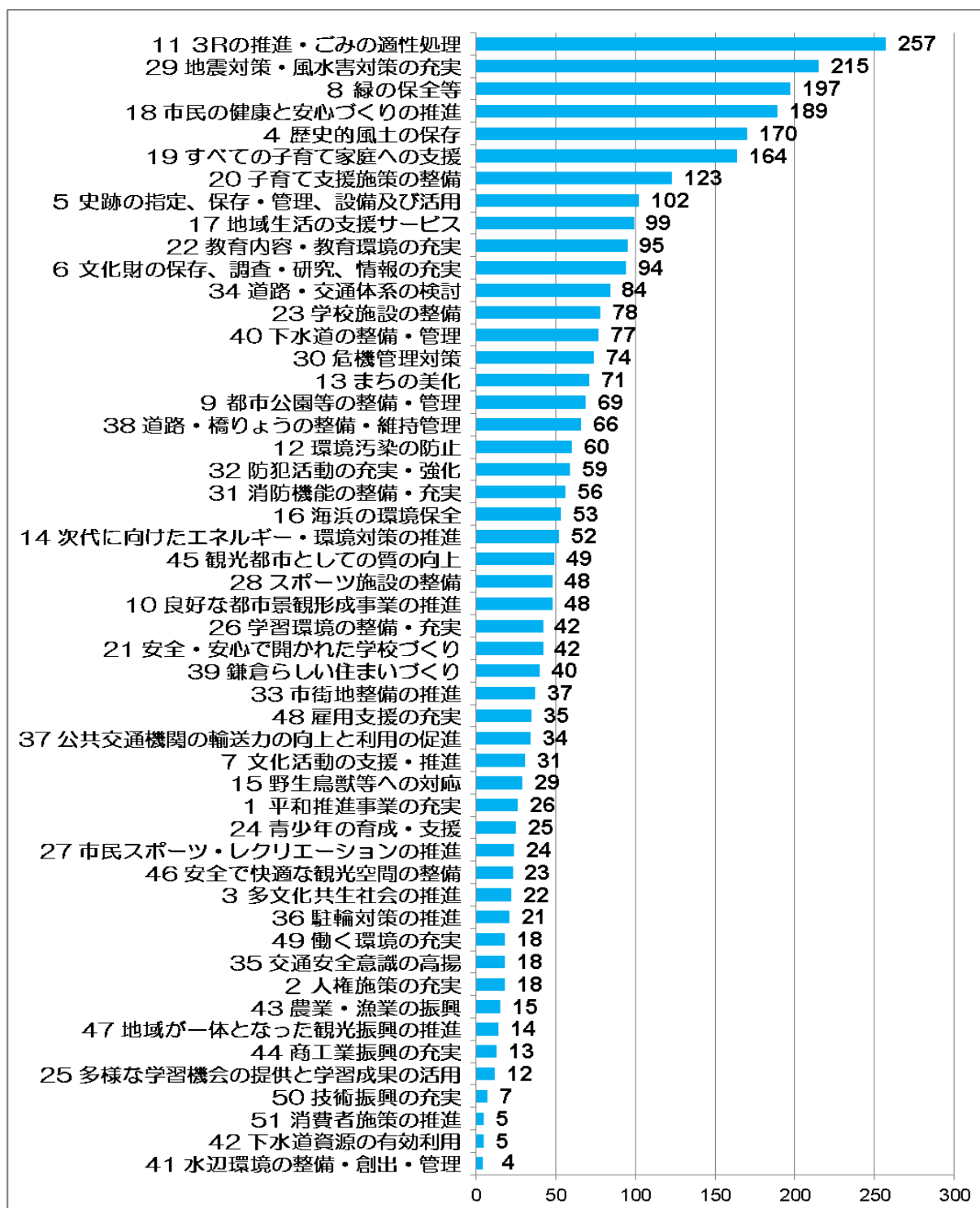
(4) 施策間の重要度

施策間の重要度については、問 10 51 の施策について、「重要である」と思うもの、「重要でない」と思うものをそれぞれ 5 つずつ挙げていただき、その数により、鎌倉市民の皆様の施策間の重要度の傾向を測りました。

「重要であるもの」として挙げていただいたもののうち、数が多かったものは、「11 3Rの推進・ごみの適性処理」、「29 地震対策・風水害対策の充実」、「18 市民の健康と安心づくりの推進」、「4 歴史的風土の保存」、「8 緑の保全等」が挙げられています。

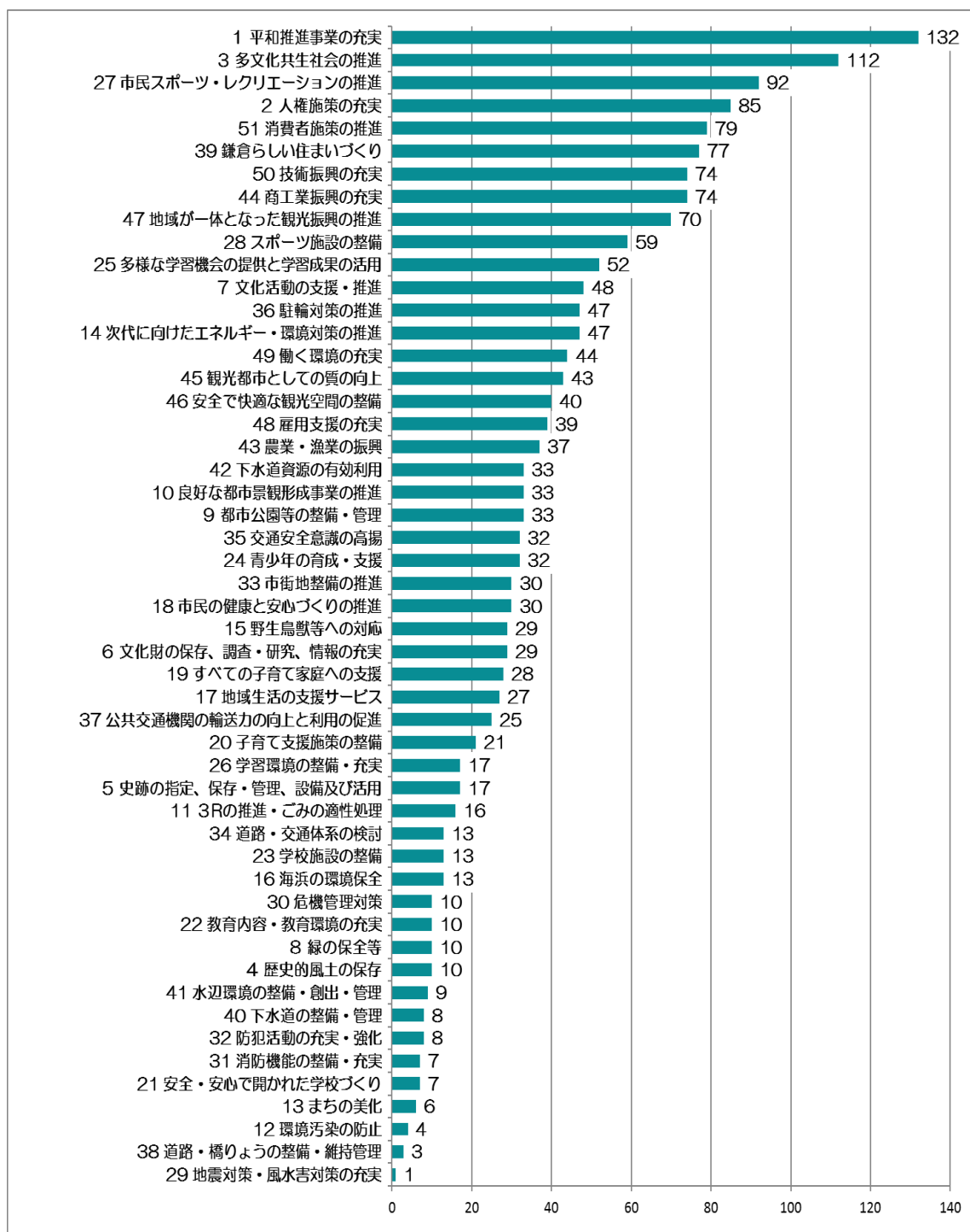


【図 15-1】平成 28 年度「重要であると思うもの」の回答数

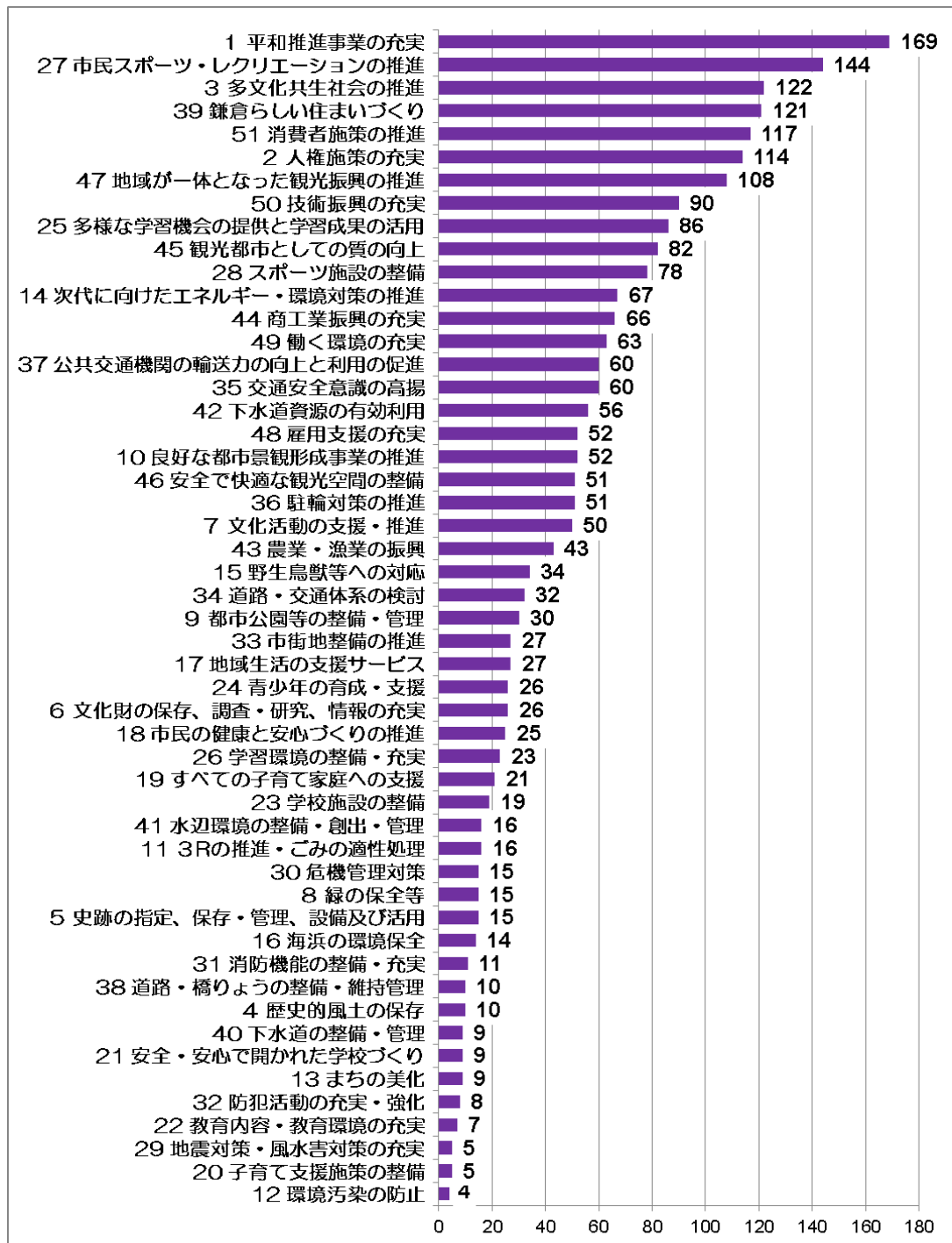


【図 15-2】（参考）平成 27 年度「重要であると思うもの」の回答数

一方で「重要でないもの」として挙げていただいたもののうち、数が多かったものは、「1 平和推進事業の充実」、「3 多文化共生社会の推進」、「27 市民スポーツ・レクリエーションの推進」、「2 人権施策の充実」、「51 消費者施策の推進」が挙げられています。

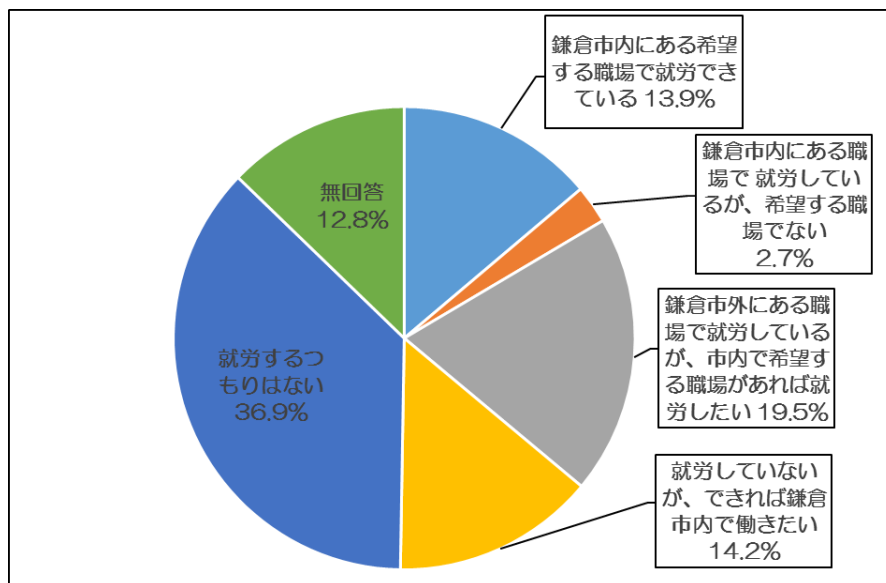


【図 16-1】平成 28 年度「重要でないと思うもの」の回答数



【図 16-2】（参考）平成 27 年度「重要でないと思うもの」の回答数

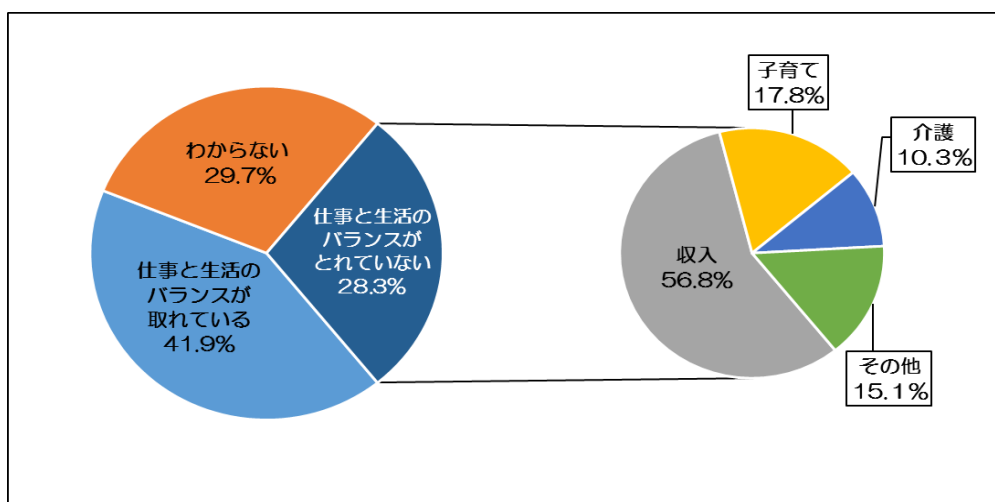
(5) 鎌倉市内での就労の意向 (n=563)



【図 17】「鎌倉市内での就労の意向」の回答率

問 11 で「鎌倉市内にある希望する職場で就労できている」、「鎌倉市内にある職場で就労しているが、希望する職場でない」、「鎌倉市外にある職場で就労しているが、市内で希望する職場があれば就労したい」、「就労するつもりはない」の 5 つから選択していただき、特に、鎌倉市内で働きたいという方の割合（「鎌倉市外にある職場で就労しているが、市内で希望する職場があれば就労したい」、「就労していないができれば鎌倉市内で働きたい」の割合）は合わせて約 34.0% となっています。

(6) 職場におけるワークバランスの現状 (n=563)

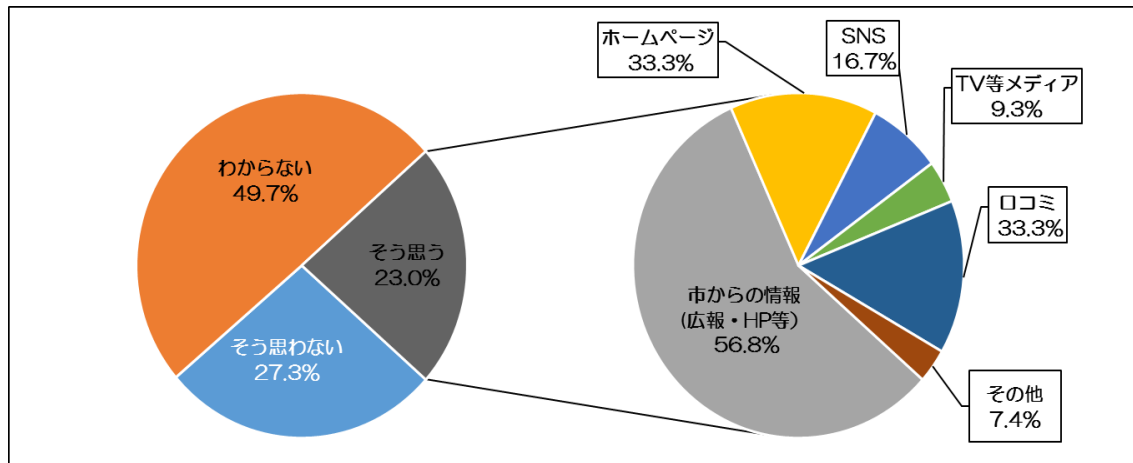


【図 18】「鎌倉市民の職場におけるワークライフバランス」に関する回答率

問 12 で「仕事と生活のバランスがとれている」、「仕事と生活のバランスがとれていない」、「わからない」の 3 つから選択していただき、「仕事と生活のバランスが取れている」は 41.9%、「仕事と生活のバランスがとれていない」は 28.4%、「わからない」は 29.7% となっています。また、「仕事と生活のバランスがとれていない」と答えた方が要因として挙げ

られたのは、「収入」が56.9%、「子育て」が17.8%、「介護」が10.3%、「その他」が15.1%となっています。

(7) 子育てに関する情報発信について

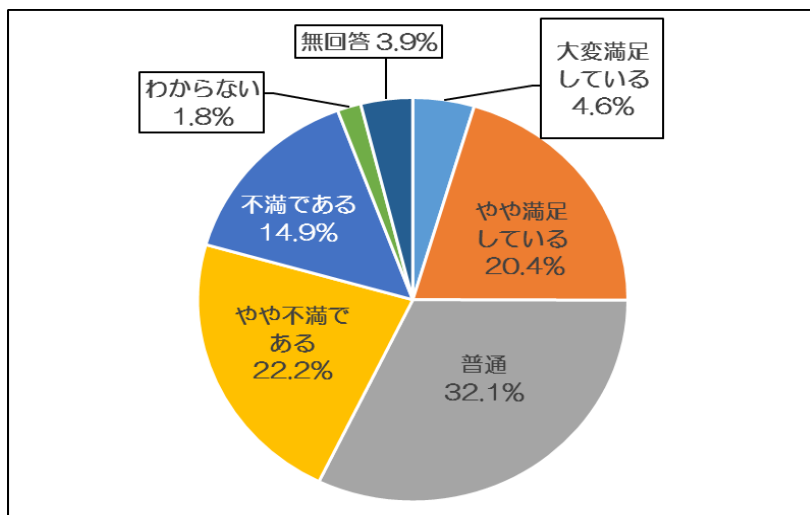


【図 19】「子育てに関する情報発信」に関する回答率

問 13 で子育てに関する情報を得やすいまちかという質問に対して、「そう思う」、「そう思わない」、「わからない」から選択していただき、「そう思う」は23.02%、「そう思わない」は27.3%、「わからない」は49.7%となっています。また、「そう思う」と答えられた方のうち、何から得ているかという質問に対しては、「市からの情報(広報・HP等)」が56.8%、民間からの情報として、「ホームページ」が33.3%、「SNS」が16.7%、「TV等メディア」が9.3%、「口コミ」が33.3%、「その他」が7.4%となっています。

(8) 観光に関する鎌倉市民としての意識について

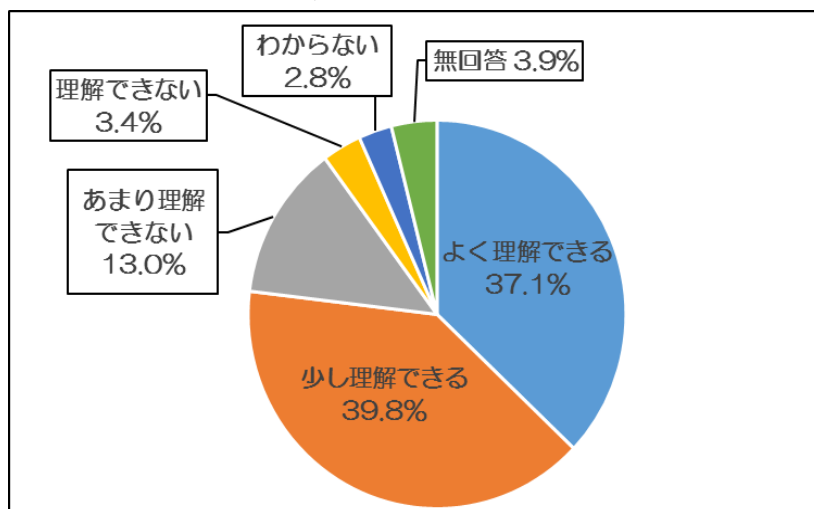
① 鎌倉市民として観光の現状に対する満足度



【図 20】「鎌倉市民としての観光の現状に対する満足度」に関する回答率

問 14 にて鎌倉市民として観光の現状に対する満足度として、「大変満足している」、「やや満足している」、「普通」、「やや不満である」、「不満である」から選択していただき、特に観光の現状に満足している割合（「大変満足している」、「やや満足している」の割合の合計）は約 25.0%となっています。

② 鎌倉市民の観光振興の理解度

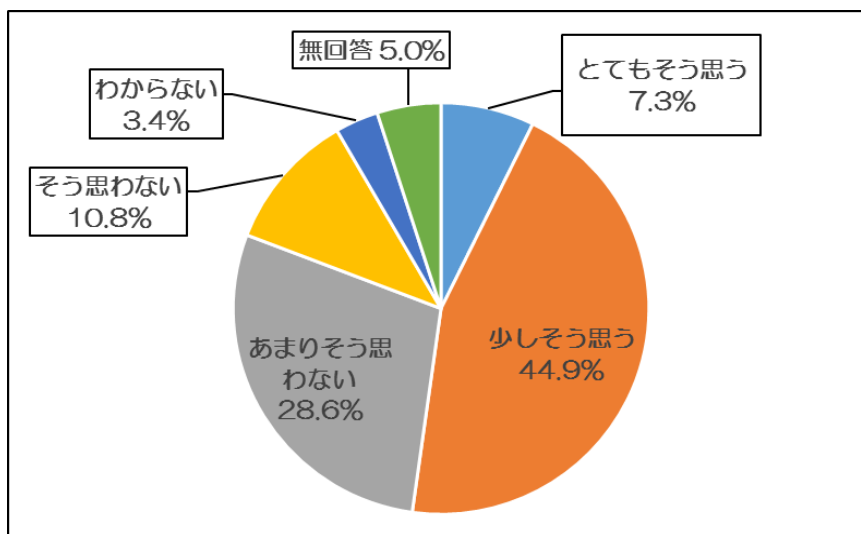


【図 21】「鎌倉市民の観光振興の理解度」に関する回答率

問 15 にて鎌倉市民の観光振興の対する理解度として、「よく理解できる」、「少し理解できる」、「あまり理解できない」、「理解できない」、「わからない」から選択していただき、特に鎌倉市の観光振興について、「理解できる」の割合（「よく理解できる」、「少し理解できる」の割合の合計）は約 77%となっています。

(9) 鎌倉市の「まちのイメージ」について

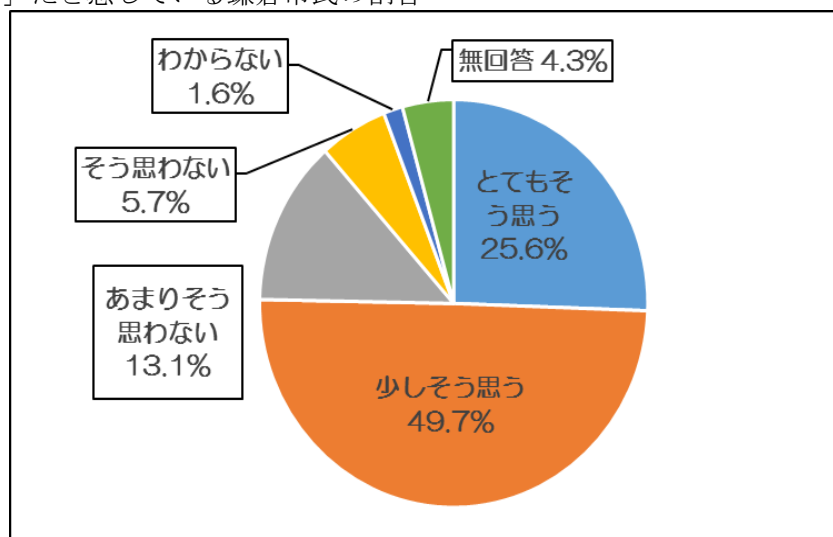
- ① 「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信をおこなっているまち」だと感じている鎌倉市民の割合



【図 22】「文化活動」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信をおこなっているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 52%となっています。

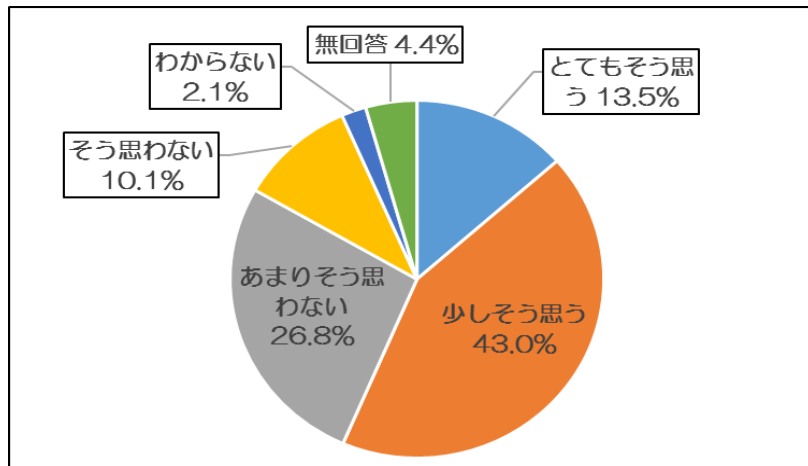
- ② 「豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち」だと感じている鎌倉市民の割合



【図 23】「歴史的遺産の保全」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 75.3%となっています。

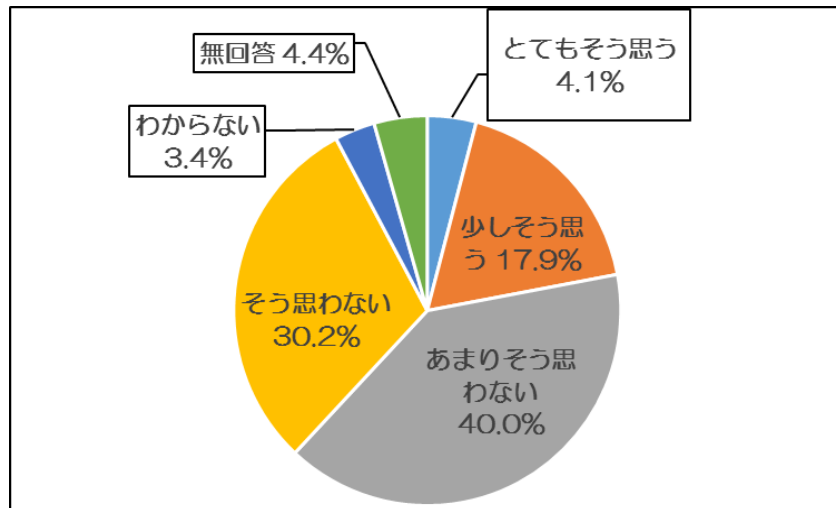
- ③ 「豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、鎌倉市民がみどりとふれあえるまち」だと感じている割合



【図 24】「自然景観の保全」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「豊かな自然や自然的景観を大切に大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるよう、積極的な活用を図っているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 57%となっています。

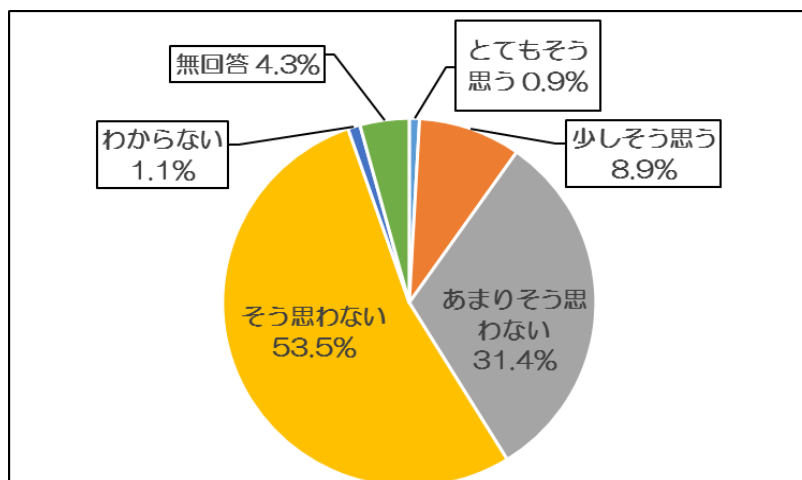
- ④ 「まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち」だと感じている割合



【図 25】「まちづくり」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 22%となっています。

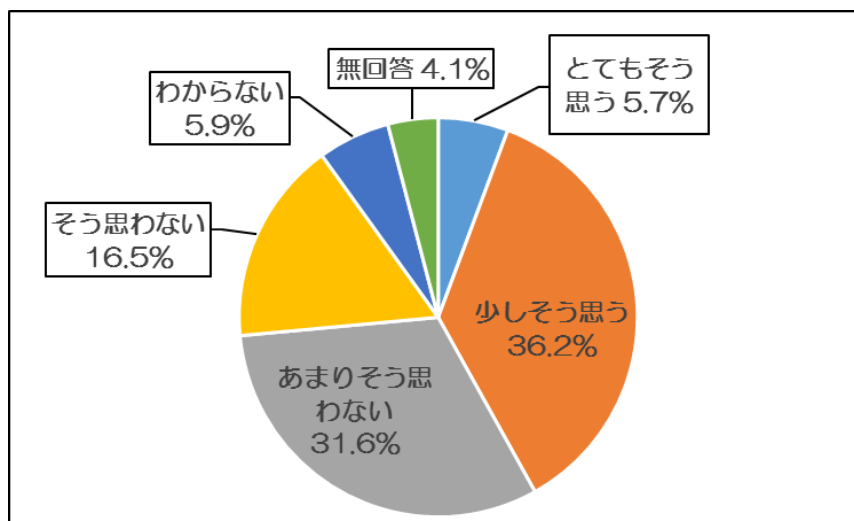
- ⑤ 幹線道路については、スムーズな交通環境が、また、生活道路については安全な歩行空間が確保されているまちだと感じている割合



【図 26】「交通環境」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「幹線道路については、スムーズな交通環境が、また、生活道路については安全な歩行空間が確保されているまちだと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 10%となっています。

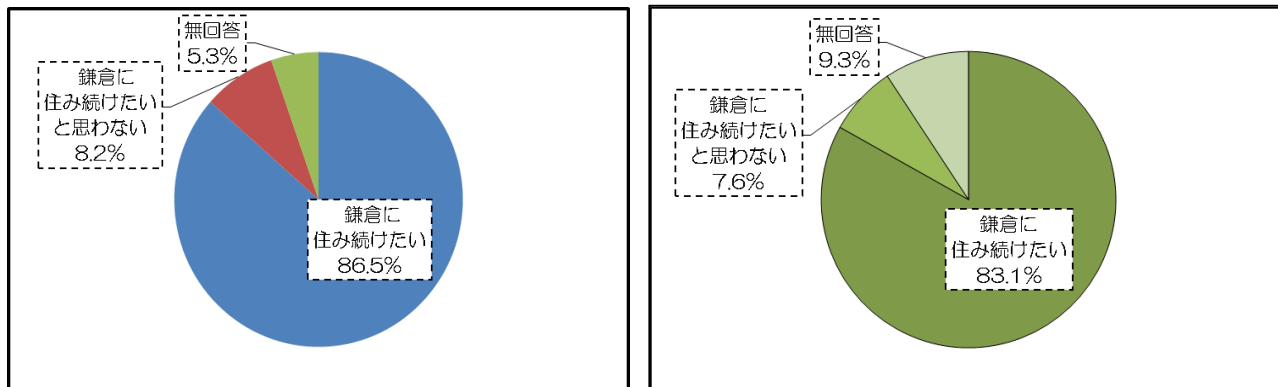
- ⑥ 地域におけるコミュニティー活動（自治会・町内会、NPO活動など）が盛んなまちだと感じている割合



【図 27】「地域におけるコミュニティー活動」に関する回答率

問 16 にて鎌倉市民は「地域におけるコミュニティー活動（自治会・町内会、NPO活動など）が盛んなまちだと感じていますか」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」を選択していただき、特に「そう思う」とした割合（「とてもそう思う」、「少しそう思う」の割合の合計）は約 42%となっています。

(10) これからも鎌倉に住み続けたいか (問 17)

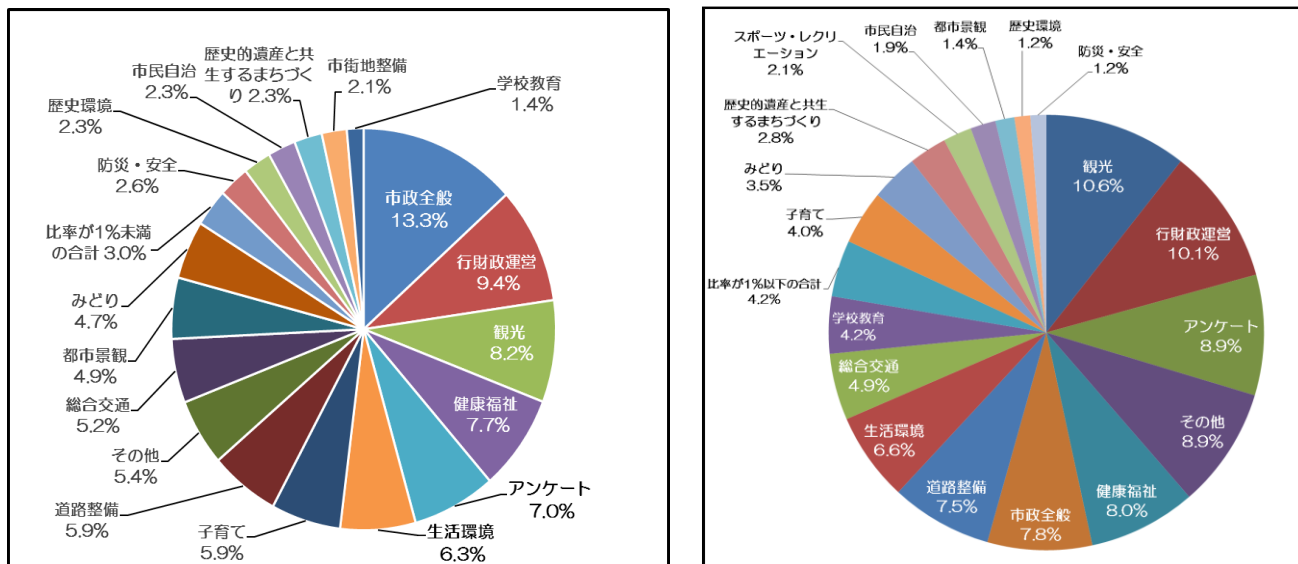


【図 28】 「鎌倉に住み続けたい」の回答率

(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

問 17 で「鎌倉にこれからも住み続けたいか」を「住み続けたいと思う」、もしくは「住み続けたいと思わない」の 2 つから選択していただき、平成 28 年度は 86.5% が「住み続けたいと思う」と答えており、大半の人が今後も鎌倉で生活することを希望していると考えられます。昨年度の平成 27 年度の 83.1% より 3.4% 上がっています。

(11) 自由記述欄



【図 29】 自由記述の分野別比率

(左：平成 28 年度 右：平成 27 年度)

平成 28 年度の調査においては、様々なご意見・感想をいただきました中で比較的多い内容としては、「市政全般」13.3%、「行財政運営」9.4%、「観光」8.2%、「健康福祉」7.7%、「今回のアンケートについて」7.0%が挙げられています。

第2章 調査結果（データ）

質問

1 平和推進事業の充実

…平和を基調にした世界に誇れるまちをめざし、平和都市宣言及び鎌倉市民憲章の精神に基づいて、平和意識の醸成を図るための平和推進事業の実施などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・「鎌倉平和推進実行委員会」(公募市民で構成)との協働による平和推進事業の実施 <92万円>

◎参考

- ・平和推進事業…
憲法記念日のつどい、
平和のつどい、
出前講話、パネル展、
戦争体験証言記録
(映像)の作成など

出前講話”平和”



◆この施策にかかる経費 () は前年度データ

798万円 ※全体予算に占める割合
(852万円) …**0.01%** (0.01%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	46円 (49円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	0.9人 (0.9人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	は
	2	現状のままでよい	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	1.8% (10)	32.5% (183)	13.9% (78)	48.7% (274)	3.2% (18)	100.0% (563)
H27(参考)	2.0% (14)	29.8% (208)	18.0% (126)	46.2% (323)	4.0% (28)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が48.7%と最も多く、54の施策のうち「取組を知らない・わからない」がもっとも高い数値でした。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	7.3% (41)	33.7% (190)	6.2% (35)	52.8% (297)	100.0% (563)
H27(参考)	10.3% (72)	31.3% (219)	5.9% (41)	52.5% (367)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が33.7%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が10.3%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 48.7%			取組を知らない・わからない 46.2%		
		お金の使い方			お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	0.4%	0.0%	1.4%	0.4%	0.0%
	ちょうどよい	1.4%	29.1%	1.1%	1.4%	26.5%	0.4%
	効果不十分	4.3%	3.9%	5.2%	7.3%	4.3%	5.4%

平成28年度

平成27年度

「取組を知らない・わからない」の割合が48.7%となっており、回答のほぼ半数がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	10.8% (61)	28.4% (160)	7.1% (40)	53.6% (302)	100.0% (563)
H27(参考)	11.0% (77)	26.8% (187)	9.3% (65)	52.9% (370)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が28.4%、「もっと力を入れるべき」が10.8%でした。

質問

2 人権施策の充実

…市民一人ひとりの人権が尊重されるまちをめざし、人権意識の醸成、人権関係機関との連携、人権施策の充実、男女共同参画社会の実現に向けた総合的な施策の実施などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・人権啓発のための講座や講演会の実施 <10万円>
- ・「子どもの人権啓発カード」(19,000枚)の製作・配付 <7万円>
- ・女性が抱える悩みに答える電話・面談による相談の実施 <318万円>
- ・市民団体「かまくら男女共同参画市民ネットワーク」「アンサンブル21」との協働による、講演会、情報紙「パスポート」の発行等 <73万円>

◎参考

・情報紙「パスポート」…男女共同参画についての理解促進のために年2回発行している情報紙



情報紙「パスポート」

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

2,347万円 ※全体予算に占める割合
(1,956万円) …**0.02%**(0.02%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	136円 (113円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	130円 (107円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.1人 (1.6人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」の項目は「お金を進め方」にせず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」の項目は「お金を進め方」にせず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金を進め方」にせず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	2.3% (13)	33.2% (187)	17.9% (101)	43.7% (246)	2.8% (16)	100.0% (563)
H27(参考)	1.3% (9)	32.2% (225)	19.0% (133)	42.9% (300)	4.6% (32)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が43.7%と最も多く、54の施策のうち「取組を知らない・わからない」が2番目に高い数値になっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	13.5% (76)	33.9% (191)	4.6% (26)	48.0% (270)	100.0% (563)
H27(参考)	11.4% (80)	33.5% (234)	5.3% (37)	49.8% (348)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が33.9%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が11.4%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない **43.7%**

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.9%	1.4%	0.0%
	ちょうどよい	3.4%	28.4%	0.5%
	効果不十分	8.7%	4.1%	4.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない **42.9%**

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	0.0%	0.0%
	ちょうどよい	2.0%	28.6%	0.0%
	効果不十分	8.0%	4.9%	5.3%

平成27年度

「取組を知らない・わからない」の割合が43.7%となっており、回答の約4割強がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	11.7% (66)	32.3% (182)	6.7% (38)	49.2% (277)	100.0% (563)
H27(参考)	11.7% (82)	31.3% (219)	7.3% (51)	49.6% (347)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が32.3%、「もっと力を入れるべき」が11.7%でした。

質問

3 多文化共生社会の推進

…さまざまな国籍・文化の人々が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、多文化共生社会への理解、外国籍市民が暮らしやすい環境の整備、国際交流・協力活動への支援・促進などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・多文化共生社会への理解を深めるための国際理解講座、国際交流フェスティバルの開催など、国際交流事業の実施 <29万円>
- ・義経・与一・弁慶・静合同サミットの開催 <173万円>
- ・市民団体が実施する姉妹都市等親善訪問事業、国際交流事業を支援するための奨励金の交付 <30万円>

◎参考

・パートナーシティ制度…市民主体の自主的な交流を促進することを目的とした、特定分野に限定した都市提携。

大韓民国安東市 (H25認定)

宮城県七ヶ浜町 (H26認定)

アメリカ合衆国ナッシュビル市 (H26認定)

岩手県大船渡市 (H26認定)

◆この施策にかかる経費 () は前年度データ

1,694万円 ※全体予算に占める割合
(1,288万円) …**0.01%** (0.01%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	98円 (74円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	1.5人 (1.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」項目は「今後の進め方」へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」項目は「今後の進め方」へ
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方」項目は「今後の進め方」へ
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・分からない	無回答	全体
H28	2.5% (14)	33.0% (186)	18.5% (104)	42.5% (239)	3.6% (20)	100.0% (563)
H27(参考)	3.0% (21)	31.2% (218)	20.2% (141)	40.6% (284)	5.0% (35)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・分からない」の回答が42.5%と最も多く、54の施策のうち「取組を知らない・分からない」が3番目に高い数値になっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	10.5% (59)	34.5% (194)	7.6% (43)	47.4% (267)	100.0% (563)
H27(参考)	9.3% (65)	31.8% (222)	12.0% (84)	46.9% (328)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が34.5%と最も多く、ついで「足りない」が7.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 42.5%			取組を知らない・わからない 40.6%		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.0%	0.5%	0.0%	2.0%	0.6%	0.0%
	ちょうどよい	2.5%	28.8%	0.5%	1.6%	27.9%	0.7%
	効果不十分	5.3%	5.2%	6.9%	5.7%	3.0%	11.0%

平成28年度

平成27年度

「取組を知らない・分からない」の割合が42.5%となっており、回答の約4割強がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは市民への周知が必要な施策であると考えられます。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	14.2% (80)	29.8% (168)	9.1% (51)	46.9% (264)	100.0% (563)
H27(参考)	16.9% (118)	28.9% (202)	7.4% (52)	46.8% (327)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が29.8%、「もっと力を入れるべき」が14.2%でした。昨年度と傾向に大きな違いはありません。また「力をいれなくてよい」の割合は、54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。

質問

4 歴史的風土の保存

…歴史的遺産と一体となった自然的環境の保存を推進するため、歴史的風土特別保存地区の指定拡大、歴史的遺産と一体的に構成される山稜部の保存管理などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・古都法施行50周年記念事業の開催 <30万円>
- ・風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務、特別緑地保全地区内行為許可事務等の実施 <130万円>

◎参考

- ・本市の風致地区の面積…約2,194ha



台峯(台)からの眺望

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

4,491万円 ※全体予算に占める割合
(2,830万円) …**0.04%**(0.03%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	260円 (164円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	259円 (164円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	5.5人 (3.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	2.1% (12)	45.8% (258)	30.9% (174)	17.8% (100)	3.4% (19)	100.0% (563)
H27(参考)	3.3% (23)	41.2% (288)	33.0% (231)	18.0% (126)	4.4% (31)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.8%と最も多くなっています。また「効果不十分」の30.9%は、54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	6.7% (38)	46.0% (259)	23.6% (133)	23.6% (133)	100.0% (563)
H27(参考)	8.0% (56)	42.2% (295)	24.9% (174)	24.9% (174)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.0%と最も多く、「足りない」の23.6%は、54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 17.8%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	0.5%	1.4%	0.2%
	効果不十分	3.9%	37.5%	3.0%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 18.0%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.3%	1.1%	0.6%
	効果不十分	1.9%	36.3%	1.6%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせると、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が37.5%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.7%)より低い割合になっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の回答の割合は、54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	33.7% (190)	40.7% (229)	1.6% (9)	24.0% (135)	100.0% (563)
H27(参考)	33.9% (237)	37.6% (263)	3.4% (24)	25.0% (175)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が40.7%、「もっと力を入れるべき」が33.7%でした。また、「力をいれなくてよい」の回答の割合は、54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

質問

5 史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

…鎌倉の貴重な歴史的遺産を守るため、史跡の公有地化、新たな史跡の指定、史跡の管理、整備及び活用などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・史跡永福寺跡(二階堂)の公開に向けた環境整備工事・監理
 ≪1億3,956万円≫
- ・国指定史跡の史跡北条氏常盤亭跡(常盤)の崖地防災工事
 ≪1億344万円≫
- ・貴重な歴史遺産である史跡等の維持管理 ≪1,190万円≫

◎参考

・本市の国指定史跡の数…31カ所

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

4億5,738万円 ※全体予算に占める割合
 (2億1,191万円) …**0.40%**(0.19%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	2,649円 (1,225円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	843円 (577円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	4.5人 (4.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」の項目は「今後の進め方」に回答せず
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」の項目は「お金の使い方」に回答せず
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.6% (20)	54.0% (304)	23.4% (132)	16.3% (92)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	4.6% (32)	47.8% (334)	26.8% (187)	16.3% (114)	4.6% (32)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.0%と最も多く、続いて「効果不十分」が23.4%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	21.3% (120)	44.9% (253)	12.6% (71)	21.1% (19)	100.0% (563)
H27(参考)	16.7% (117)	45.8% (320)	15.5% (108)	22.0% (154)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.9%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が21.3%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 16.3%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.2%	0.0%
	ちょうどよい	10.8%	39.4%	1.8%
	効果不十分	8.2%	4.1%	10.8%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 16.3%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.7%	0.7%	0.1%
	ちょうどよい	5.0%	39.9%	1.7%
	効果不十分	7.2%	4.7%	13.6%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.4%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.7%)より低い割合になっています。また「仕事の効果が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の回答の割合は54の施策のうち、もっとも高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	22.7% (128)	49.7% (280)	4.4% (25)	23.1% (130)	100.0% (563)
H27(参考)	25.8% (180)	43.6% (305)	7.2% (50)	23.5% (164)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が49.7%、「もっと力を入れるべき」が22.7%でした。

質問

6 文化財の保存、調査・研究、情報の充実

…文化財の保護・継承体制の強化、発掘調査体制の強化、文化財に関する情報発信、伝統芸能の保存・継承などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・(仮称)鎌倉歴史文化交流センター(扇ガ谷)の整備 <<1億714万円>>
- ・指定文化財等を保存するために必要な費用に対する補助 <<5,738万円>>
- ・文化財の発掘調査や遺物の整理・管理 <<1億328万円>>
- ・鎌倉国宝館(雪ノ下)の管理運営 <<1億3,851万円>>

◎参考

・本市の国・県指定文化財の数…282件



発掘調査現場

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

5億2,161万円 ※全体予算に占める割合
(8億4,168万円) …**0.46%** (0.76%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,021円 (4,865円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	2,077円 (1,650円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	14.5人 (12.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.7% (32)	51.3% (289)	21.5% (121)	18.8% (106)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	6.9% (48)	47.4% (331)	23.2% (162)	18.6% (130)	4.0% (28)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が51.3%と最も多く、続いて、「効果不十分」が21.5%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	24.5% (138)	44.6% (251)	8.0% (45)	22.9% (129)	100.0% (563)
H27(参考)	29.2% (204)	38.1% (266)	9.0% (63)	23.7% (166)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.6%で最も多く、つづいて「使いすぎ」が29.2%でした。また「使いすぎ」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 18.8%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	5.2%	0.4%	0.2%	18.8%
	ちょうどよい	9.2%	39.6%	1.1%	
	効果不十分	9.9%	4.3%	6.7%	

平成28年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない 18.6%
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	6.0%	0.7%	0.0%	18.6%
	ちょうどよい	11.4%	33.6%	1.0%	
	効果不十分	11.0%	3.7%	8.0%	

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.6%となっており、この組み合わせの平均値(43.7%)より低い数値になっています。また、「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合は5.2%で54の施策のうち3番目、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が9.2%で54の施策のうち3番目、さらに「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合は9.9%で54の施策のうち5番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	16.0% (90)	51.5% (290)	8.9% (50)	23.6% (133)	100.0% (563)
H27(参考)	18.7% (131)	45.1% (315)	11.4% (80)	24.7% (173)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.5%、「もっと力を入れるべき」が16.0%でした。

質問

7 文化活動の支援・推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…伝統、新たな文化の創造発信のため、文化活動の機会や場の提供や情報の充実、文化施設の整備、文化活動の推進などに取り組みます。</p>									
<p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化を支援するための鎌倉市民文化祭の開催(9月～12月) ≪600万円≫ 「鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰」の実施 ≪5万円≫ 各文化施設の管理運営… 鎌倉美術館 ≪3億2,823万円≫、鎌倉文学館 ≪9,271万円≫、 鎌木清方記念美術館 ≪4,799万円≫、川喜多映画記念館 ≪3,770万円≫ 		<p>4を選んだ方</p> <p>「今後の進め方」項目は「お金の使い方」項目は「必要以上の効果」項目は「必要以上の効果」項目は「必要以上の効果」</p>							
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市民文化祭…美術・写真・書道など市展と各種舞台行事(H28で第60回) 鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰…芸術文化活動で優秀な成績を修めた中学生以下を対象(H27は14名及び1団体受賞、H28は7名及び2団体受賞) 		<p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ</p> <p>5億7,091万円 ※全体予算に占める割合 (5億4,530万円) …0.50%(0.49%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>3,307円 (3,152円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>3,269円 (3,122円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>6.9人 (6.9人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,307円 (3,152円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	3,269円 (3,122円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	6.9人 (6.9人)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,307円 (3,152円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	3,269円 (3,122円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	6.9人 (6.9人)								
		<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>						
		<p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>							

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.2% (29)	53.5% (301)	20.2% (114)	18.3% (103)	2.8% (16)	100.0% (563)
H27(参考)	5.9% (41)	51.9% (363)	19.5% (136)	18.9% (132)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「取組を知らない・わからない」の回答が53.5%と最も多く、続いて「効果不十分」が18.3%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	25.4% (143)	46.0% (259)	6.0% (34)	22.6% (127)	100.0% (563)
H27(参考)	25.9% (181)	45.2% (316)	4.4% (31)	24.5% (171)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が46.0%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が25.4%でした。また「使いすぎ」の回答は、54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 18.3%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.6%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	10.5%	41.4%	0.5%
効果不十分	11.0%	3.4%	5.3%

平成28年度

取組を知らない・わからない 18.9%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.3%	1.4%	0.0%
ちょうどよい	10.3%	39.5%	0.7%
効果不十分	10.9%	4.1%	3.7%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせると、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.4%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い割合になっています。また、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」及び「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、共に2番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	13.5% (76)	51.3% (289)	11.4% (64)	23.8% (134)	100.0% (563)
H27(参考)	9.9% (69)	52.5% (367)	12.0% (84)	25.6% (179)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.3%、「もっと力を入れるべき」が13.5%でした。また、「力をいれなくてよい」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

質問

8 緑の保全等		あなたの回答					
…緑地を保全・創造するため、「緑の基本計画」の推進、緑地の質の充実、身近な緑の保全・創造などに取り組みます。		(それぞれ一つの番号に○をつけてください)					
■平成28年度の主な事業 ・近郊緑地特別保全地区(十二所地区)における緑地の買入れ ≪1億1,472万円≫ ・市民との連携による緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業 ≪358万円≫ ・保存樹木・樹林・生け垣、緑地保全契約に対する奨励金の交付 ≪2,503万円≫ ・古都保存法等により規制されている民有樹林の管理事業 ≪12,852万円≫		4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」項目は 「お金の使い方」項目へ					
◎参考 ・法律に基づく制度により保全されている緑地等…約1,325ha							
◆この施策にかかる経費 () は前年度データ 2億 4,297万円 ※全体予算に占める割合 (3億446万円) … 0.21% (0.27%)							
<table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>1,407円 (1,760円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>941円 (1,080円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>7.7人 (7.7人)</td> </tr> </table>				この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,407円 (1,760円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	941円 (1,080円)
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,407円 (1,760円)						
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	941円 (1,080円)						
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	7.7人 (7.7人)						
仕事の効果		1	必要以上の効果				
		2	ちょうどよい				
		3	効果不十分				
		4	取組を知らない・分からない				
お金の使い方		1	使いすぎ				
		2	ちょうどよい				
		3	足りない				
今後の進め方		1	もっと力を入れるべき				
		2	現状のままで満足				
		3	力をいれなくてよい				

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.6% (20)	49.4% (278)	28.4% (160)	15.6% (88)	3.0% (17)	100.0% (563)
H27(参考)	3.9% (27)	47.9% (335)	26.6% (186)	17.7% (124)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.4%と最も多く、続いて「効果不十分」が28.4%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	8.3% (47)	49.7% (280)	21.5% (121)	20.4% (115)	100.0% (563)
H27(参考)	11.9% (83)	45.9% (321)	19.0% (133)	23.2% (162)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.7%と最も多く、つづいて「足りない」が21.5%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 15.6%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	3.4%	41.7%	2.5%
	効果不十分	3.0%	6.4%	18.8%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 17.7%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.1%	0.4%
	ちょうどよい	3.9%	41.1%	1.1%
	効果不十分	5.4%	3.6%	17.3%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.7%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い割合となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	30.7% (173)	43.9% (247)	3.6% (20)	21.8% (123)	100.0% (563)
H27(参考)	28.0% (196)	44.3% (310)	4.1% (29)	23.5% (164)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が43.9%、「もっと力を入れるべき」が30.7%でした。

質問

9 都市公園等の整備・管理		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…地域特性や利用者ニーズに対応した都市公園等を整備・管理するため、さまざまな公園の整備、適正な管理、公園施設の老朽化への対応、緑地の適正な管理などに取り組みます。</p> <p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)山崎・台峯緑地、鎌倉広町緑地の用地取得 《12億1,461万円》 ・(仮称)扇湖山荘の防災工事 《1,969万円》 ・(仮称)山崎・台峯緑地、(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地の開園に向けた整備工事 《1億227万円》 ・市管理の公園の維持管理 《3億1,091万円》 <p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ 17億9,106万円 ※全体予算に占める割合 (18億2,456万円) …1.57%(1.64%)</p> <p>◎参考 ・公園の数(街区公園・児童遊園など)…285カ所(H28.4.1現在) ・笛田一丁目公園…H28.5開園</p>		<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	
<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>		<p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	
<p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 10,375円 (10,546円)</p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額 7,103円 (7,118円)</p> <p>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。) 9.8人 (9.3人)</p>		<p>4を選んだ方 「お金の進め方」項目は「」に答えずに「」の項目は「」</p>	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	6.4% (36)	45.6% (257)	30.2% (170)	14.7% (83)	3.0% (17)	100.0% (563)
H27(参考)	5.3% (37)	46.8% (327)	27.0% (189)	16.9% (118)	4.0% (28)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.6%と最も多く、続いて「効果不十分」が30.2%となっています。また、「効果不十分」の割合は、54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	23.6% (133)	43.7% (246)	13.7% (77)	19.0% (107)	100.0% (563)
H27(参考)	24.3% (170)	39.8% (278)	13.7% (96)	22.2% (155)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が39.8%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が24.3%でした。また、「使いすぎ」の割合は、54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 14.7%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	5.0%	1.4%	0.0%
	ちょうどよい	7.6%	35.7%	1.1%
	効果不十分	10.7%	6.6%	12.6%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 16.9%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.6%	1.4%	0.3%
	ちょうどよい	9.9%	34.9%	0.6%
	効果不十分	10.6%	3.3%	12.9%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番パランスがとれている回答の割合が35.7%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い割合になっています。「仕事の効果」が「必要以上」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」及び「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合は54の施策のうち、共に4番目に高い数値に、また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	26.5% (149)	45.5% (256)	8.9% (50)	19.2% (108)	100.0% (563)
H27(参考)	25.8% (180)	43.5% (304)	8.3% (58)	22.5% (157)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が45.5%、「もっと力を入れるべき」が26.5%でした。

質問

10 良好な都市景観形成事業の推進


…景観資源を保全・活用した豊かな景観形成を進めるため、良好な都市景観形成の誘導、都市景観形成事業の推進、市民・事業者・NPO等との協働、屋外広告物等の質の向上などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- 旧華頂宮邸管理運営事業 <1,443万円>
- 景観重要建築物等に対する助成 <275万円>
- 屋外広告物の適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発 <7万円>

◎参考

- 本市の景観重要建築物等…指定数32
- 平成28年度助成実績
鎌倉聖ミカエル教会聖堂等



旧華頂宮邸

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
「「今後の進め方」項目は「お金の使い方」へ

◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

9,150万円 ※全体予算に占める割合
(8,082万円) …**0.08%**(0.07%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	530円 (467円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	432円 (427円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	8.0人 (7.6人)

集計結果

(1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.0% (17)	50.8% (286)	19.5% (110)	23.4% (132)	3.2% (18)	100.0% (563)
H27(参考)	3.6% (25)	49.5% (346)	22.0% (154)	21.0% (147)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が50.8%と最も多く、続いて「取組を知らない」が23.4%となっています。

(2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	7.6% (43)	53.3% (300)	10.8% (61)	28.2% (159)	100.0% (563)
H27(参考)	10.2% (71)	49.5% (346)	13.3% (93)	27.0% (189)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.3%と最も多く、つづいて「足りない」が10.8%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 23.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.6%	0.0%
	ちょうどよい	2.8%	46.4%	0.7%
	効果不十分	3.4%	5.3%	10.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない 21.0%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.1%	0.3%
	ちょうどよい	2.0%	44.9%	0.6%
	効果不十分	5.9%	3.4%	12.4%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が46.4%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い割合になっています。

(4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	14.6% (82)	52.8% (297)	4.3% (24)	28.4% (160)	100.0% (563)
H27(参考)	17.6% (123)	46.5% (325)	8.4% (59)	27.5% (192)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が52.8%、「もっと力を入れるべき」が14.6%でした。

質問

11 3Rの推進・ごみの適正処理

…ゼロ・ウェイスト社会の実現に向けて、大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直し、ごみの発生を抑えた環境配慮型社会の形成、安定的なごみ処理体制の確立などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・新焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)の建設に向けた調査 <<2,816万円>>
- ・カン・ビン収集及びコンテナ配布の業務の委託 <<1億2,641万円>>
- ・燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務の委託 <<2億1,659万円>>
- ・焼却残さ溶融固化処理業務の委託 <<1億9,459万円>>
- ・紙類・布類収集運搬処理売却業務の委託 <<1億8,118万円>>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

35億4,532万円 ※全体予算に占める割合
(40億3,608万円) …**3.12%**(3.63%)

◎参考

- ・一般廃棄物処理施設：名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、畠田リサイクルセンター
- ・鎌倉市のリサイクル率(平成26年度)：48.2% <全国3位(人口10万人以上50万人以上の自治体)> ※環境省HPより

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	20,536円 (23,329円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	15,561円 (18,655円)
この施策に従事する職員数(職員給与等は経費に含む。)	123.2人 (126.2人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方の項目は」 回答せずに次の項目は 「」
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「「お金の使い方の項目は」 回答せずに次の項目は 「」
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「「お金の使い方の項目は」 回答せずに次の項目は 「」
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	8.7% (49)	55.1% (310)	24.0% (135)	8.3% (47)	3.9% (22)	100.0% (563)
H27(参考)	8.2% (57)	49.9% (349)	28.5% (199)	9.3% (65)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が55.1%と最も多く、続いて「効果不十分」が24.0%となっています。また、「必要以上の効果」の回答は54の施策のうち、最も高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	22.6% (127)	54.0% (304)	9.4% (53)	14.0% (79)	100.0% (563)
H27(参考)	25.3% (177)	46.8% (327)	13.0% (91)	14.9% (104)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.0%と最も多く、ついで「使いすぎ」が22.6%でした。「使いすぎ」の回答は54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 8.3%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.0%	5.5%	0.0%
	ちょうどよい	8.7%	44.0%	0.9%
	効果不十分	10.7%	4.3%	8.3%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 9.3%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.3%	4.1%	0.6%
	ちょうどよい	9.4%	37.6%	1.4%
	効果不十分	12.4%	4.6%	10.9%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が44.1%となっており、この組み合わせの回答の平均値(43.7%)より高い割合になっています。また「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、5番目に高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」の割合が54の施策のうち、3番目に高くなっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	29.7% (167)	52.6% (296)	3.7% (21)	14.0% (79)	100.0% (563)
H27(参考)	37.2% (260)	43.5% (304)	3.0% (21)	16.3% (114)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が52.6%、「もっと力を入れるべき」が29.7%でした。

質問

12 環境汚染の防止


…環境汚染のない、快適な生活環境が保全されたまちをめざし、調査・測定を通して、大気、水質、騒音等の環境を監視するとともに、法令に基づく事業所への指導などを行います。

■平成28年度の主な事業

- ・し尿収集運搬の業務の委託 <2,291万円>
- ・不快害虫が発生する排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等の駆除 <1,515万円>
- ・自動車排出ガス等環境調査の業務の委託 <257万円>
- ・深沢グリーンセンター(し尿及び浄化槽汚泥の下水道放流施設)の管理運営 <2,659万円>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

1億4,753万円 ※全体予算に占める割合
(1億6,486万円) …**0.13%**(0.15%)



快適な生活環境

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	855円 (953円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	771円 (871円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	9.2人 (11.3人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「お金の進め方」項目は

「今後の進め方」項目は

「お金の進め方」項目は

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	0.5% (3)	61.1% (344)	18.3% (103)	17.4% (98)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	1.4%	57.9%	16.0%	18.7%	5.9%	100.0%

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が61.1%と最も多く、続いて「効果不十分」が18.3%となっています。また、「ちょうどよい」の回答は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	3.7% (21)	60.7% (342)	13.5% (76)	22.0% (124)	100.0% (563)
H27(参考)	4.7%	59.8%	11.2%	24.3%	100.0%

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が59.8%と最も多く、つづいて「足りない」が11.2%でした。「ちょうどよい」の回答は54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 17.4%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.0%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	1.6%	56.5%	1.4%
効果不十分	2.1%	3.7%	12.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない 19.3%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.3%	0.9%	0.0%
ちょうどよい	1.4%	54.6%	1.6%
効果不十分	2.6%	4.1%	9.6%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が56.5%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い割合になっており、54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	20.2% (114)	56.0% (315)	2.0% (11)	21.8% (123)	100.0% (563)
H27(参考)	20.3%	53.8%	1.4%	24.5%	100.0%

今後の進め方については、「現状のままでよい」が56.0%、「もっと力を入れるべき」が20.2%でした。また「現状のままでよい」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

➤ 質問

13 まちの美化


…美しいまちをめざし、市民やNPOなどの協働により、ごみ散乱防止対策、落書き防止対策、路上喫煙防止対策などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・花火大会集積ごみの回収処理業務の委託 <<10万円>>
- ・まち美化清掃活動への奨励金 <<130万円>>
- ・公衆トイレの清掃業務の委託 <<3,281万円>>
- ・路上喫煙禁止啓発用路面シートの作成 <<45万円>>

◎参考

- ・公衆トイレ箇所数 …38カ所
- ・路上喫煙禁止区域 …鎌倉駅周辺と大船駅周辺の2区域を指定



路上喫煙マナーアップ看板

◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

1億607万円 ※全体予算に占める割合
(1億7万円) …**0.09%**(0.09%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	614円 (578円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	609円 (573円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	5.5人 (5.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
↓
「「今後の進め方」項目は「お金の使い方」へ
回答せずに

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.0% (28)	55.1% (310)	27.4% (154)	10.1% (57)	2.5% (14)	100.0% (563)
H27(参考)	3.1% (22)	55.8% (390)	26.3% (184)	10.6% (74)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が55.1%と最も多く、続いて「効果不十分」が27.4%となっています。

(2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	6.0% (39)	60.4% (340)	17.4% (98)	15.3% (86)	100.0% (563)
H27(参考)	8.7% (61)	58.8% (411)	16.5% (115)	16.0% (112)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.4%と最も多く、つづいて「足りない」が17.4%でした。また「ちょうどよい」の割合は、54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 10.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	3.2%	0.5%
	ちょうどよい	2.1%	50.1%	1.2%
	効果不十分	3.7%	7.1%	15.6%

平成28年度

取組を知らない・わからない 10.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	1.9%	0.4%
	ちょうどよい	3.1%	49.9%	1.6%
	効果不十分	4.7%	6.6%	14.4%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせると、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が50.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値になっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」が54の施策のうち、2番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	30.7% (173)	51.7% (291)	1.8% (10)	15.8% (89)	100.0% (563)
H27(参考)	32.2% (225)	47.9% (335)	3.6% (25)	16.3% (114)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.7%、「もっと力を入れるべき」が30.7%でした。

質問

14 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

…持続可能な循環型社会のシステムをめざし、省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の導入推進、効率的なエネルギー利用の促進、低炭素まちづくりの推進、環境教育の推進などに取り組みます。


■平成28年度の主な事業

- ・住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等の設置費補助 <<400万円>>
- ・市施設から排出する不要紙類のリサイクルの実施 <<256万円>>
- ・環境教育アドバイザー等講師の派遣 <<73万円>>

◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

4,712万円 ※全体予算に占める割合
(4,478万円) …**0.04%**(0.04%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	273円 (259円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	261円 (249円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	4.6人 (4.5人)



玉川行政センター
太陽光発電設備

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方 ↓

「「お金の進め方」項目は「」に答えずに次の項目は「」を答えてください

集計結果

(1) 仕事の効果（）内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	2.1% (12)	37.8% (213)	27.9% (157)	29.1% (164)	3.0% (17)	100.0% (563)
H27(参考)	2.0% (14)	31.0% (217)	29.0% (203)	33.6% (235)	4.3% (30)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が37.8%と最も多く、ついで「取組を知らない・わからない」の回答が29.1%となっています。

(2) お金の使い方（）内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	6.0% (34)	39.4% (222)	20.1% (113)	34.5% (194)	100.0% (563)
H27(参考)	6.6% (46)	33.3% (233)	21.0% (147)	39.1% (273)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が39.4%と最も多く、ついで「足りない」が20.1%でした。

(3) -1 仕事の効果×お金の使い方 (上段：回答率、下段：回答数)

取組を知らない・わからない 29.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	0.9%	0.2%
	ちょうどよい	1.4%	33.0%	1.8%
	効果不十分	3.6%	5.5%	18.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない 33.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.6%	0.4%	0.0%
	ちょうどよい	0.6%	28.0%	1.4%
	効果不十分	4.1%	4.7%	19.5%

平成27年度

「取組を知らない・わからない」の割合が29.1%となっており、回答の約3割がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせた、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が33.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値になっています。

(4) 今後の進め方（）内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	27.9% (157)	33.0% (186)	4.6% (26)	34.5% (194)	100.0% (563)
H27(参考)	28.8% (201)	26.5% (185)	5.4% (38)	39.3% (275)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が33.0%、「もっと力を入れるべき」が27.9%でした。


質問

15 野生鳥獣等への対応

…生態系を守り、野生鳥獣等の保護を推進するため、餌付け禁止などの啓発、生態系の攪乱が懸念される有害外来動物の防除と被害拡大に対する広域的な対応に取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・犬の登録事務、未登録犬の解消、狂犬病予防注射の実施 <146万円>
- ・飼い猫に対する不妊去勢手術への補助 <60万円>
- ・アライグマ・ハクビシン等有害鳥獣の捕獲・駆除 <573万円>
- ・飼育者のマナー向上のための犬・猫のフン防止プレートの配布 <10万円>



◆この施策にかかる経費（）は前年度データ

2,712万円 ※全体予算に占める割合
(3,474万円) …**0.02%**(0.03%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	157円 (201円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	112円 (163円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.0人 (3.0人)

タイワンリス

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・わからない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方」に回答せずに次の項目は」

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.4% (19)	51.3% (289)	27.7% (156)	14.7% (83)	2.8% (16)	100.0% (563)
H27(参考)	2.0% (14)	51.2% (358)	25.8% (180)	17.7% (124)	3.3% (23)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.3%と最も多く、続いて、「効果不十分」が27.7%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	2.5% (14)	57.2% (322)	20.2% (114)	20.1% (113)	100.0% (563)
H27(参考)	5.7% (40)	55.5% (388)	16.2% (113)	22.6% (158)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.2%と最も多く、つづいて「足りない」が20.1%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 14.7%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	2.3%	0.4%
ちょうどよい	1.1%	48.1%	0.9%
効果不十分	0.9%	6.7%	19.0%

平成28年度

取組を知らない・わからない 17.7%

	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.4%	1.0%	0.4%
ちょうどよい	1.4%	47.8%	1.4%
効果不十分	3.7%	6.7%	14.9%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が48.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値になっております。また、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」が54の施策のうち、4番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	29.8% (168)	48.5% (273)	2.0% (11)	19.7% (111)	100.0% (563)
H27	24.6% (172)	50.5% (353)	1.9% (13)	23.0% (161)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.5%、「もっと力を入れるべき」が29.8%でした。

質問

16 海浜の環境保全

…海浜の保全と活用を図るため、海浜の環境を樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークの中で捉え、関係機関等と連携して、その適切な保全に取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団による海岸の美化に係る海浜清掃事業
 ≪1,564万円≫



稲村が崎から望む富士山

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3,134万円 ※全体予算に占める割合
 (3,133万円) ……**0.03%** (0.03%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	182円 (181円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	122円 (113円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.0人 (2.0人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	2.1% (12)	57.7% (325)	19.9% (112)	17.6% (99)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	2.6% (18)	56.4% (394)	19.6% (137)	17.6% (123)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.7%と最も多く、続いて、「効果不十分」が19.9%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	4.1% (23)	60.0% (338)	13.7% (77)	22.2% (125)	100.0% (563)
H27(参考)	4.9% (34)	55.9% (391)	15.9% (111)	23.3% (163)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.0%と最も多く、つづいて「足りない」が13.7%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 17.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.4%	1.2%	0.4%
	ちょうどよい	2.0%	53.8%	0.2%
	効果不十分	1.6%	4.8%	13.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない 17.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	1.7%	0.1%
	ちょうどよい	1.7%	51.4%	1.6%
	効果不十分	2.3%	2.9%	14.0%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が53.8%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値になっております。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	21.3% (120)	54.5% (307)	1.6% (9)	22.6% (127)	100.0% (563)
H27(参考)	24.9% (174)	49.5% (346)	1.9% (13)	23.7% (166)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が54.5%、「もっと力を入れるべき」が21.3%でした。また、「力をいれなくてよい」が54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

質問

17 地域生活の支援サービス		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…だれもが健康で安心して生活を送ることができるまちをめざし、地域生活支援、人権の尊重に向けた啓発、介護保険サービスの充実、高齢者の生きがいづくりなどに取り組みます。</p> <p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者地域活動支援センター(11カ所)の運営事業の委託 ≪1億9,077万円≫ ・障害者の医療費助成 ≪7億1,166万円≫ ・障害者等の就労支援 ≪4億221万円≫ ・老人福祉センター等の管理運営 ≪1億8,121万円≫ ・腰越地域老人福祉センター建設・特別養護老人ホームの整備 ≪4億5,724万円≫ ・生活保護費の支給 ≪20億5,000万円≫ <p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ</p> <p>84億 1,804万円 ※全体予算に占める割合 (79億368万円) …7.40%(7.11%)</p> <p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の老人福祉センター(現在4カ所) 名越やすらぎセンター 教養センター(笛田) 今泉さわやかセンター 玉縄すこやかセンター 		<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	<p>4を選んだ方</p> <p>「お金の使い方は」</p> <p>「今後の進め方は」</p>
<p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額 48,761円 (45,684円)</p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額 25,021円 (20,314円)</p> <p>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。) 66.7人 (64.2人)</p>		<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>	
		<p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	7.8% (44)	49.9% (281)	24.2% (136)	15.5% (87)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	5.3% (37)	49.2% (344)	23.6% (165)	17.6% (123)	4.3% (30)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が49.9%と最も多く、つづいて、「効果不十分」が24.2%となっています。また、「必要以上の効果」の回答は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	20.8% (117)	44.2% (249)	14.9% (84)	20.1% (113)	100.0% (563)
H27(参考)	19.6% (137)	42.2% (295)	14.9% (104)	23.3% (163)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.2%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が20.8%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 15.5%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	6.0%	1.8%	0.0%
	ちょうどよい	8.5%	38.0%	1.8%
	効果不十分	6.2%	4.4%	13.0%

平成28年度

取組を知らない・わからない 17.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.6%	1.0%	0.4%
	ちょうどよい	8.3%	38.5%	1.1%
	効果不十分	7.4%	2.7%	13.2%

平成27年度


「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が38.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値になっております。また、「仕事の効果」が「必要以上の効果」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、もっとも高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	27.5% (155)	44.0% (248)	7.8% (44)	20.6% (116)	100.0% (563)
H27(参考)	24.7% (173)	44.6% (312)	6.7% (47)	23.9% (167)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が44.0%、「もっと力を入れるべき」が27.5%でした。

➤ 質問

18 市民の健康と安心づくりの推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)							
<p>…市民が主体的に健康づくりに取り組める環境を整備するため、健康づくりの支援、健診事業や健康教育の充実、保健・医療・福祉サービスの利便性の向上、救急医療サービスの充実、国民健康保険制度の推進などに取り組みます。</p> <p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会立産科診療所(ティアラかまくら)の運営費補助 <9,395万円> ・休日・夜間等の急患診療の実施(GW・年末年始の内科・小児科の二科体制含む) <1億5,089万円> ・予防接種(BCG・インフルエンザ他)の実施 <4億7,475万円> ・がん検診(肺がん、胃がん他)の実施 <3億8,251万円> ・国民健康保険事業 <226億400万円> ・介護保険事業 <166億9,930万円> ・後期高齢者医療保険事業 <52億3,790万円> <p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ 527億8,657万円 ※全体予算に占める割合 (501億5,314万円) …46.42% (45.11%)</p> <table border="1"> <tr> <td>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</td> <td>305,765円 (289,889円)</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</td> <td>106,178円 (108,634円)</td> </tr> <tr> <td>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</td> <td>70.4人 (66.9人)</td> </tr> </table>		この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	305,765円 (289,889円)	鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	106,178円 (108,634円)	この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	70.4人 (66.9人)	<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p> <p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p> <p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	
この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	305,765円 (289,889円)								
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	106,178円 (108,634円)								
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	70.4人 (66.9人)								
<p>ティアラかまくら</p> 		<p>4を選んだ方 「お金の進め方」は「お金の進め方」に答えずに「今後の進め方」は「」</p>							

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	7.1% (40)	61.3% (345)	19.0% (107)	10.3% (58)	2.3% (13)	100.0% (563)
H27(参考)	5.6% (39)	57.9% (405)	21.0% (147)	11.3% (79)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が61.3%と最も多く、続いて、「効果不十分」が19.0%となっています。また、「必要以上の効果」の割合は54の施策のうち5番目、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	21.0% (118)	54.5% (307)	9.2% (52)	15.3% (86)	100.0% (563)
H27(参考)	19.2% (134)	51.9% (363)	11.3% (79)	17.6% (123)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.5%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が21.0%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 10.3%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.1%	2.5%	0.5%
ちょうどよい	8.9%	49.0%	1.2%
効果不十分	8.0%	3.0%	7.5%

平成28年度

取組を知らない・わからない 11.30%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.9%	2.0%	0.4%
ちょうどよい	8.4%	46.2%	1.4%
効果不十分	7.7%	3.6%	9.3%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が49.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値になっております。また、「仕事の効果」が「必要以上の効果」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、5番目、「仕事の効果」が「ちょうどよい」かつ「お金の使い方」が「使いすぎ」が54の施策のうち、4番目高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	24.3% (137)	53.6% (302)	6.7% (38)	15.3% (86)	100.0% (563)
H27(参考)	23.9% (167)	53.6% (375)	5.3% (37)	17.2% (120)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が53.6%、「もっと力を入れるべき」が23.9%でした。

質問

19 すべての子育てで家庭への支援

…子育てしやすい環境の充実を図るため、子育て支援サービスの充実、待機児童対策の推進、子育て支援情報の提供、協働による子育て支援ネットワークの整備などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・子育て支援センター等の管理運営 ≪3,234万円≫
- ・子ども会館(15カ所)・子どもの家(16カ所)の管理運営 ≪4億3,033万円≫
- ・私立保育所(20カ所)への補助金等を含む助成 ≪5億2,505万円≫
- ・公立保育所(6カ所)の管理運営 ≪4億1,561万円≫
- ・ひとり親家庭等生活支援(医療費助成を含む。) ≪4億2,072万円≫
- ・あおぞら園の管理運営 ≪5,690万円≫

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

88億4,394万円 ※全体予算に占める割合
(86億3,169万円) …**7.78%**(7.76%)

◎参考

- ・小児医療費の対象者…
0歳～小学校6年生の入・通院者、
中学生の入院者
- ・子育て支援センター…
鎌倉、大船、深沢、玉縄

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	51,228円 (49,892円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	23,587円 (22,668円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。)	136.2人 (125.1人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.0% (28)	43.0% (242)	28.4% (160)	21.1% (119)	2.5% (14)	100.0% (563)
H27(参考)	4.1% (29)	42.8% (299)	28.9% (202)	20.5% (143)	3.7% (26)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.0%と最も多く、続いて、「効果不十分」が28.4%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	8.9% (50)	43.2% (243)	22.4% (126)	25.6% (144)	100.0% (563)
H27(参考)	8.7% (61)	42.3% (296)	23.3% (163)	25.6% (179)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.2%と最も多く、つづいて「足りない」が22.4%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 21.1%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	2.8%	0.4%
	ちょうどよい	4.8%	36.8%	0.5%
	効果不十分	2.3%	3.6%	21.5%

平成28年度

取組を知らない・わからない 20.5%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.9%	1.7%	0.3%
	ちょうどよい	3.6%	37.1%	0.9%
	効果不十分	3.0%	3.6%	22.2%

平成27年度

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	32.9% (185)	38.2% (215)	3.6% (20)	25.4% (143)	100.0% (563)
H27(参考)	33.8% (236)	37.6% (263)	2.7% (19)	25.9% (181)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が38.2%、「もっと力を入れるべき」が32.9%でした。

質問

20 子育て支援施設の整備

…子育て環境の充実を図るため、子ども会館、子育て支援センター、待機児童対策施設、子どもの家(学童保育)の施設整備などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・(仮称)由比ガ浜こどもセンターの建設工事 <<9億6,727万円>>
- ・フラワーセンター大船植物園苗ほ跡地土地賃借料(民間園建設用地) <<902万円>>
- ・私立保育所の建替え工事補助金 <<2億3,206万円>>
- ・西鎌倉子どもの家、岩瀬子どもの家の施設整備ほか<<5,262万円>>



深沢子育て支援センター内の様子

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

13億6,388万円 ※全体予算に占める割合
(3億9,218万円) …1.20%(0.35%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	7,900円 (2,267円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	6,595円 (2,267円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	7.0人 (5.4人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 項目は ↑
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.7% (21)	44.6% (251)	25.4% (143)	23.4% (132)	2.8% (16)	100.0% (563)
H27(参考)	3.0% (21)	42.2% (295)	25.8% (180)	24.9% (174)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.6%と最も多く、続いて、「効果不十分」が25.4%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	9.1% (51)	44.2% (249)	18.7% (105)	28.1% (158)	100.0% (563)
H27(参考)	5.9% (41)	40.8% (285)	23.6% (165)	29.8% (208)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.2%と最も多く、つづいて「足りない」が18.7%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方 (上段：回答率、下段：回答数)

		取組を知らない・わからない 23.4%		
		お金の使い方		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	2.0%	1.2%	0.5%
	効果不十分	3.7%	39.3%	0.7%
		取組を知らない・わからない 24.9%		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.0%	1.4%	0.3%
	効果不十分	3.0%	35.9%	2.4%
		取組を知らない・わからない 20.9%		
仕事の効果	必要以上の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	ちょうどよい	1.6%	3.3%	20.9%
	効果不十分	1.6%	3.3%	20.9%

平成28年度

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	27.2% (153)	40.5% (228)	4.3% (24)	28.1% (158)	100.0% (563)
H27(参考)	30.9% (216)	36.6% (256)	2.3% (16)	30.2% (211)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が40.5%、「もっと力を入れるべき」が27.2%でした。

質問

21 安全・安心で開かれた学校づくり

…児童生徒が安心して学び生活ができる、安全で開かれた学校づくりを進めるため、9年間を見通した小中学校が連携した教育の推進、家庭・地域との連携・協力体制の充実、防犯・防災・安全教育の推進・充実などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・学校技能員・学校給食調理員・学校給食栄養士等非常勤嘱託員報酬 <<7,803万円>>
- ・小学校(16校)への学校警備員配置、機械警備 <<3,924万円>>
- ・児童生徒の健康確保のための各種検診・保健指導 <<6,354万円>>



小学校における警備員の配置

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3億9,394万円 ※全体予算に占める割合
(3億1,262万円) …**0.35%** (0.28%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	2,282円 (1,807円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	2,280円 (1,806円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。)	9.2人 (9.1人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「「お金の使い方」に「今後の進め方」は

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	4.6% (26)	57.7% (325)	14.0% (79)	21.0% (118)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	2.4% (17)	57.1% (399)	12.0% (84)	24.6% (172)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.1%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が21.0%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	4.3% (24)	57.7% (325)	12.4% (70)	25.6% (144)	100.0% (563)
H27(参考)	4.3% (30)	55.7% (389)	10.3% (72)	29.8% (208)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.7%と最も多く、つづいて「足りない」が12.4%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	3.0%	0.5%
	ちょうどよい	1.8%	52.2%	2.3%
	効果不十分	1.4%	2.5%	9.6%

平成28年度

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	1.1%	0.1%
	ちょうどよい	2.0%	52.1%	1.9%
	効果不十分	1.4%	2.3%	8.3%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が52.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	18.7% (105)	53.8% (303)	1.8% (10)	25.8% (145)	100.0% (563)
H27(参考)	18.6% (130)	49.6% (347)	1.7% (12)	30.0% (210)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が53.8%、「もっと力を入れるべき」が18.7%でした。

➤ 質問

22 教育内容・教育環境の充実

…豊かな人間性や健やかな心と体を育むため、教育内容の充実、就学援助の実施、児童・生徒指導の充実、学校における食育の推進、特別支援学級の充実などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・小中学校の授業・行事等に必要教材や物品の調達等による学校の運営 <<1億9,263万円>>
- ・小中学校光熱水費、施設・設備の各種点検・修繕 <<4億291万円>>
- ・小中学校における要保護・準要保護児童生徒に対する扶助、特別支援学級等に就学する児童生徒に対する扶助 <<1億3,004万円>>
- ・小学校における完全給食の実施 <<2億128万円>>

◆この施策にかかる経費 ()は前年度データ
19億5,895万円 ※全体予算に占める割合 (18億4,572万円) …**1.72%** (1.66%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	11,347円 (10,668円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	11,174円 (10,581円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費を含む。)	85.2人 (82.6人)

◎参考

- ・市立小学校の数…16校
- ・市立中学校の数…9校

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
↓
「「今後の進め方」の項目は」へ

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	4.3% (24)	53.8% (303)	16.2% (91)	23.4% (132)	2.3% (13)	100.0% (563)
H27(参考)	2.6% (18)	54.1% (378)	15.2% (106)	23.7% (166)	4.4% (31)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.8%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が23.4%となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	5.2% (29)	53.3% (300)	13.3% (75)	28.2% (159)	100.0% (563)
H27(参考)	5.0% (35)	51.9% (363)	13.6% (95)	29.5% (206)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.3%と最も多く、つづいて「足りない」が13.3%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 23.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.2%	2.3%	0.7%
	ちょうどよい	2.3%	48.3%	1.1%
	効果不十分	1.6%	2.7%	11.5%

平成28年度

取組を知らない・わからない 23.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	1.0%	0.1%
	ちょうどよい	2.4%	48.4%	2.0%
	効果不十分	1.3%	2.6%	11.2%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が48.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	21.1% (119)	48.0% (270)	2.3% (13)	28.6% (161)	100.0% (563)
H27(参考)	20.0% (140)	47.9% (335)	2.6% (18)	29.5% (206)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が48.0%、「もっと力を入れるべき」が21.1%でした。

質問

23 学校施設の整備

…児童生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう、大規模改修による延命化や、非構造部材の耐震対策など学校施設の整備に取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・大船中学校改築工事(H28.6完成) ≪4億3,499万円≫
- ・植木小特別支援学級教室改修工事 ≪4,418万円≫
- ・中学校冷房設備設置に向けた工事(6校分) ≪4億5,091万円≫
- ・小・中学校冷房設備設置工事設計(小学校4校、中学校2校) ≪3,103万円≫
- ・中学校給食受入室改修工事(8校) ≪1億8,386万円≫



西鎌倉小学校
トイレ改修

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

16億4,960万円 ※全体予算に占める割合
(42億2,218万円) …1.45%(3.80%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	9,555円 (24,405円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	8,902円 (22,108円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費を含む。)	2.2人 (2.2人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	6.4% (36)	56.7% (319)	13.3% (75)	21.3% (120)	2.3% (13)	100.0% (563)
H27(参考)	3.1% (22)	54.1% (378)	13.4% (94)	25.3% (177)	4.0% (28)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.7%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が21.3%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	6.2% (35)	53.8% (303)	13.7% (77)	26.3% (148)	100.0% (563)
H27(参考)	8.3% (58)	50.4% (352)	10.9% (76)	30.5% (213)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.8%と最も多く、つづいて「足りない」が13.7%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 21.3%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	3.4%	0.5%
ちょうどよい	3.0%	49.4%	1.8%
効果不十分	0.7%	1.1%	11.2%

平成28年度

取組を知らない・わからない 25.3%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.7%	1.3%	0.0%
ちょうどよい	4.4%	47.2%	1.0%
効果不十分	1.9%	1.9%	9.7%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が49.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	20.1% (113)	51.2% (288)	2.1% (12)	26.6% (150)	100.0% (563)
H27(参考)	20.3% (142)	45.9% (321)	2.7% (19)	31.0% (217)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.2%、「もっと力を入れるべき」が20.1%でした。

質問

24 青少年の育成・支援

…地域の担い手となる青少年を育成するため、青少年活動の推進、青少年の居場所づくりの推進、相談・支援体制の充実、社会参画の推進などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・青少年の健全な育成を図るために委嘱した青少年指導員報酬 ≪203万円≫
- ・子ども・若者に対する非行を防止するために活動する街頭指導員報酬 ≪32万円≫
- ・成人のつどい(成人式)開催 ≪311万円≫
- ・子ども会への補助 ≪71万円≫
- ・鎌倉及び玉縄青少年会館の管理運営 ≪3,673万円≫

◎参考

- ・青少年指導員の数 …75人
- ・街頭指導員の数 …12人
- ・子ども会の数 (補助金交付団体) …68団体



成人のつどい

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

7,397万円 ※全体予算に占める割合
(7,281万円) …**0.07%**(0.07%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	428円 (421円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	417円 (408円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	3.6人 (3.6人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「お金の使い方は」 「今後の進め方は」 回答せず に 次 の 項 目 は へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方は」 回答せず に 次 の 項 目 は へ
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方は」 回答せず に 次 の 項 目 は へ
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.7% (21)	53.1% (299)	16.9% (95)	24.2% (136)	2.1% (12)	100.0% (563)
H27(参考)	2.6% (18)	48.4% (338)	16.7% (117)	28.6% (200)	3.7% (26)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.1%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が24.2%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	8.9% (50)	53.1% (299)	9.8% (55)	28.2% (159)	100.0% (563)
H27(参考)	7.6% (53)	46.4% (324)	12.7% (89)	33.3% (233)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.1%と最も多く、ついで「足りない」が9.8%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 24.2%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	0.9%	0.2%
ちょうどよい	2.0%	48.7%	1.1%
効果不十分	4.3%	3.6%	8.5%

平成28年度

取組を知らない・わからない 28.6%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	0.6%	0.4%
ちょうどよい	2.0%	43.5%	1.6%
効果不十分	3.9%	2.3%	10.6%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が48.7%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	14.6% (82)	50.1% (282)	6.7% (38)	28.6% (161)	100.0% (563)
H27(参考)	17.2% (120)	44.5% (311)	5.2% (36)	33.2% (232)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が50.1%、「もっと力を入れるべき」が14.6%でした。

質問

25 多様な学習機会の提供と学習成果の活用

…多様で充実した学習機会の提供と学習成果を生かすことのできる環境を整備するため、多様で質の高い学習プログラムの提供と成果の活用、学習支援体制の整備・充実、地域における学習交流機会の提供などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・稲村ヶ崎小学校及び今泉小学校における放課後子ども教室の実施 <<162万円>>
- ・生涯学習講座・イベント等の実施委託 <<1,036万円>>



生涯学習
フェスティバル

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

4,732万円 ※全体予算に占める割合
(5,005万円) …**0.04%** (0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	274円 (289円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	241円 (241円)
この施策に従事する職員数 (職員給与費は経費に含む。)	2.8人 (2.8人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方」は 「今後の進め方」の 項目は ↑ 回答せずに 「今後の進め方」 の項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・ 分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「「お金の使い方」は 「今後の進め方」の 項目は ↑
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「「お金の使い方」は 「今後の進め方」の 項目は ↑
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	4.8% (27)	44.0% (248)	14.2% (80)	34.3% (193)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	3.0% (21)	42.2% (295)	25.8% (180)	24.9% (174)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.0%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が34.3%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	7.6% (43)	44.0% (248)	9.6% (54)	38.7% (218)	100.0% (563)
H27(参考)	8.3% (58)	42.6% (298)	9.9% (69)	39.2% (274)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が44.0%と最も多く、つづいて「足りない」が9.6%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 34.3%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	3.0%	1.4%	0.2%
	ちょうどよい	1.4%	40.0%	1.2%
	効果不十分	3.2%	2.7%	8.2%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 24.9%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.0%	0.0%
	ちょうどよい	2.4%	37.1%	1.3%
	効果不十分	4.3%	4.4%	8.3%

平成27年度

「取組を知らない・わからない」の割合が34.3%となっており、回答の約3.5割がこの施策について知らない、分からないという結果であることから、まずは、市民への周知がより必要な施策であると考えられます。

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が40.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値になっております。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	13.9% (78)	40.3% (227)	6.9% (39)	38.9% (219)	100.0% (563)
H27(参考)	14.9% (104)	37.9% (265)	7.9% (55)	39.3% (275)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が40.3%、「もっと力を入れるべき」が13.9%でした。

質問

26 学習環境の整備・充実

…市民が主体的に学習できる場づくりを進めるため、生涯学習施設の連携・活用、生涯学習センターや図書館の整備・充実などに取り組みます。


■平成28年度の主な事業

- ・図書館における貸出業務、インターネット予約受付、施設の維持管理、資料の収集 <<1億3,636万円>>
- ・鎌倉生涯学習センター及び腰越・深沢・大船・玉縄の各学習センターの運営、各所修繕等の施設の維持管理 <<1億5,927万円>>
- ・吉屋信子記念館(長谷)の維持管理、一般公開、施設貸出 <<278万円>>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

5億3,965万円 ※全体予算に占める割合
(5億2,387万円) …**0.47%**(0.47%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,126円 (3,028円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	2,812円 (2,714円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	30.9人 (29.4人)



鎌倉中央図書館の様子

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の使い方」は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.9% (22)	59.9% (337)	19.2% (108)	14.6% (82)	2.5% (14)	100.0% (563)
H27(参考)	3.9% (27)	55.2% (386)	19.6% (137)	17.5% (122)	3.9% (27)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が59.9%と最も多く、続いて、「効果不十分」が19.2%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	11.7% (66)	56.1% (316)	12.8% (72)	19.4% (109)	100.0% (563)
H27(参考)	13.0% (91)	52.6% (368)	11.4% (80)	22.9% (160)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が56.1%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が11.7%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 14.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	1.6%	0.2%
	ちょうどよい	5.2%	51.7%	1.2%
	効果不十分	4.8%	2.8%	11.4%

平成28年度

取組を知らない・わからない 17.5%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.7%	0.0%
	ちょうどよい	5.3%	47.5%	1.1%
	効果不十分	5.4%	3.4%	10.3%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が51.7%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	21.3% (120)	52.0% (29)	6.7% (38)	19.9% (112)	100.0% (563)
H27(参考)	20.7% (145)	50.8% (355)	5.2% (36)	23.3% (163)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が52.0%、「もっと力を入れるべき」が21.3%でした。

質問

27 市民スポーツ・レクリエーションの推進		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…市民のスポーツ実施率の向上を図るため、市民スポーツ・レクリエーションの推進、市民のライフステージに応じたスポーツ環境の整備、競技スポーツの活性化などに取り組みます。</p> <p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鎌倉ジュニアスポーツ栄誉表彰」の実施(171件受賞) <29万円> ・「2016かまくらスポーツ・レクリエーションフェア」(11月開催)など、市民向けスポーツ行事の開催及びスポーツ指導者の育成 <688万円> ・身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境にするための学校体育施設(体育館・校庭・プール)開放事業 <2,445万円> ・鎌倉・大船体育館、プール等スポーツ施設の管理運営 <2億2,224万円> <p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ 3億1,021万円 ※全体予算に占める割合 (3億5,372万円) …0.27%(0.32%)</p>		<p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・わからない</p>	
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉ジュニアスポーツ栄誉表彰…スポーツ活動で優秀な成績を修めた中学生以下を対象とした表彰(平成28年は個人127名、44団体の合計171件を表彰) 		<p>4を選んだ方 「お金の使い方の項目は」</p>	
<p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</p> <p>1,797円 (2,045円)</p> <p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</p> <p>1,765円 (2,013円)</p> <p>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</p> <p>6.0人 (6.9人)</p>		<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p> <p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	4.6% (26)	54.4% (306)	18.5% (104)	20.1% (113)	2.5% (14)	100.0% (563)
H27(参考)	4.1% (29)	49.1% (343)	20.6% (144)	21.5% (150)	4.7% (33)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が54.4%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が20.1%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	9.9% (56)	53.3% (300)	11.9% (67)	24.9% (140)	100.0% (563)
H27(参考)	12.9% (90)	48.6% (340)	11.4% (80)	27.0% (189)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が53.3%と最も多く、つづいて「使いすぎ」が11.9%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	20.1%
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	1.4%	0.4%	21.5%
	ちょうどよい	3.7%	48.0%	1.2%	
	効果不十分	3.6%	3.9%	10.3%	

平成28年度

		お金の使い方			取組を知らない・わからない
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	21.5%
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.6%	0.1%	21.5%
	ちょうどよい	4.6%	42.8%	0.9%	
	効果不十分	5.6%	4.1%	10.4%	

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせると、「仕事の効果が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が48.0%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	19.9% (112)	50.1% (282)	5.0% (28)	25.0% (141)	100.0% (563)
H27(参考)	20.3% (142)	44.8% (313)	7.4% (52)	27.5% (192)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が50.1%、「もっと力を入れるべき」が19.9%でした。

質問

28 スポーツ施設の整備

…競技スポーツのための施設の整備、既存のスポーツ施設の機能の充実、市民スポーツのための施設整備に取り組みます。


■平成28年度の主な事業

- ・スポーツ施設整備の推進に向けた関係団体等との協議調整
- ・スポーツ施設建設のための基金の運用 <202万円>
- ・山崎浄化センター西側上部スポーツ施設整備の検討 <2,221万円>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3,203万円 ※全体予算に占める割合
(2,336万円) …**0.03%**(0.02%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	186円 (135円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	174円 (133円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	1.0人 (0.1人)



鎌倉体育館

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「お金の進め方」は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.6% (20)	48.5% (273)	23.4% (132)	21.8% (123)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	3.0% (21)	43.2% (302)	24.3% (170)	25.3% (177)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が48.5%と最も多く、続いて、「効果不十分」が21.8%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	5.9% (33)	45.6% (257)	21.7% (122)	26.8% (151)	100.0% (563)
H27(参考)	5.7% (40)	43.5% (304)	20.2% (141)	30.6% (214)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.6%と最も多く、ついで「足りない」が21.7%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 21.8%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.3%	0.4%	0.7%
	ちょうどよい	1.2%	43.2%	2.3%
	効果不十分	2.3%	2.1%	18.7%

平成28年度

取組を知らない・わからない 25.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%
	ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%
	効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が43.2%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	26.1% (147)	42.8% (241)	3.9% (22)	27.2% (153)	100.0% (563)
H27(参考)	25.5% (178)	38.9% (272)	4.9% (34)	30.8% (215)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が42.8%、「もっと力を入れるべき」が26.1%でした。

➤ 質問

29 地震対策・風水害対策の充実

…安心して暮らせるまちをめざし、総合的な防災体制の強化、地域の防災意識の醸成、地震・津波の避難対策、情報伝達体制の充実、災害時要援護者対策、がけ・急傾斜地対策などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・災害情報伝達体制の充実、防災行政用無線の維持管理及びデジタル化基本計画・実施計画の策定、公衆無線LANシステム構築<5,585万円>
- ・災害発生時における市民及び帰宅困難者用対応備蓄品等の災害対応備品の備蓄<2,862万円>
- ・急傾斜地防災工事(県実施工事)への負担及び既成宅地等の防災工事費等の助成<8,830万円>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3億2,584万円 ※全体予算に占める割合
(2億9,730万円) …**0.29%**(0.27%)

◎参考

- ・急傾斜地崩壊危険区域…94カ所
- ・防災行政用無線の数…151カ所
- ・屋外備蓄倉庫の設置箇所数…16カ所

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
↓
「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	1,887円 (1,718円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	1,618円 (1,716円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	9.7人 (9.7人)

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.7% (21)	39.6% (223)	41.2% (232)	12.4% (70)	3.0% (17)	100.0% (563)
H27(参考)	2.3% (16)	41.1% (287)	39.2% (274)	13.3% (93)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「効果不十分」の回答が41.2%と最も多く、続いて、「ちょうどよい」が39.6%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	2.3% (13)	39.3% (221)	40.3% (227)	18.1% (102)	100.0% (563)
H27(参考)	4.1% (29)	40.6% (284)	35.8% (250)	19.5% (136)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が39.3%と最も多く、つづいて「足りない」が35.8%でした。また、「足りない」の割合は54の施策のうち、もっとも高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 12.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.5%	2.0%	1.1%
	ちょうどよい	0.7%	34.1%	3.2%
	効果不十分	0.9%	3.0%	36.1%

平成28年度

取組を知らない・わからない 13.3%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.3%	1.0%	0.7%
	ちょうどよい	1.4%	35.9%	2.6%
	効果不十分	2.4%	3.7%	32.0%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が34.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値となっています。一方で、「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の割合は36.1%となっており、54の施策のうちもっとも高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	51.3% (289)	30.4% (171)	0.5% (3)	17.8% (100)	100.0% (563)
H27(参考)	48.1% (336)	31.2% (218)	1.4% (10)	19.3% (135)	100.0% (699)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が51.3%、「現状のままでよい」が30.4%でした。また「もっと力を入れるべき」の割合が54の施策のうち、最も高い数値となっています。

質問

30 危機管理対策

…安心して暮らせるまちをめざし、国・県などとの連携体制を整える他、自然災害をはじめ、あらゆる危機事象に対応するための資機材等の確保や危機を想定した訓練、危機管理に関する知識・技術を習得するための研修の企画・立案などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・自然災害をはじめ、あらゆる危機事象に対応するための危機管理体制の強化に向けた研修の実施及び緊急事態対策消耗品の備蓄 ≪202万円≫
- ・小学校・保育園等の給食食材等の放射性物質測定業務 ≪439万円≫



訓練の様子

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3,510万円 ※全体予算に占める割合
(3,595万円) …**0.03%** (0.03%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	203円 (208円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	203円 (208円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	3.5人 (3.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「今後の進め方」は「お金の使い方の項目」は
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	「今後の進め方」は
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	「今後の進め方」は
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	2.7% (15)	43.2% (243)	28.4% (160)	22.7% (128)	3.0% (17)	100.0% (563)
H27(参考)	1.4%	43.1%	30.0%	21.5%	4.0%	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.2%と最も多く、続いて、「効果不十分」が28.4%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	2.0% (11)	43.9% (247)	26.5% (149)	27.7% (156)	100.0% (563)
H27(参考)	4.7%	43.3%	24.7%	27.2%	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.9%と最も多く、つづいて「足りない」が26.5%でした。また、「足りない」の割合は54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 22.7%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.2%	1.8%	0.4%
ちょうどよい	0.7%	39.4%	2.0%
効果不十分	0.9%	2.5%	24.2%

平成28年度

取組を知らない・わからない 21.5%

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.9%	0.4%	0.1%
ちょうどよい	1.3%	38.9%	1.4%
効果不十分	2.4%	3.9%	23.0%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が39.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.7%)より低い数値となっています。また、「仕事の効果」が「効果不十分」、「お金の使い方」が「足りない」の割合は、54の施策のうち4番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	33.2% (187)	37.8% (213)	1.4% (8)	27.5% (155)	100.0% (563)
H27(参考)	34.2%	35.9%	3.0%	26.9%	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が37.8%、「もっと力を入れるべき」が33.2%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は54の施策のうち、5番目に高い数値となっています。

➤ 質問

31 消防機能の整備・充実

…安心して暮らせるまちをめざし、消防施設の整備・機能充実、情報通信機能の高度化、救急・救助体制の充実強化、火災予防対策の推進などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・腰越出張所の改築工事 <<2億316万円>>
- ・市内、消防署所の光熱水費、職員被服の貸与等、消防に係る一般事務 <<5,480万円>>
- ・はしが付消防自動車、高規格救急自動車など各種緊急自動車の更新<<1億7,932万円>>
- ・消防団の運営 <<9,993万円>>
- ・公共施設等への自動体外式除細動器(AED)の配置 <<278万円>>

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

25億7,490万円 ※全体予算に占める割合
(24億2,487万円) …**2.26%**(2.18%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	14,915円 (14,016円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	14,723円 (13,939円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	226.5人 (227.0人)

◎参考

- ・救急車出動回数…10,368回(H28年)
- ・市内で発生した火災…26件(H28年)
- ・消防車両…38台

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「「お金の使い方の進め方」は回答せずに次の項目はへ

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.3% (30)	66.4% (374)	10.8% (61)	14.7% (83)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	3.1% (22)	66.1% (462)	10.0% (70)	16.7% (117)	4.0% (28)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が66.4%と最も多く、続いて、「取組を知らない・わからない」が14.7%となっています。また、「ちょうどよい」の割合は、54の施策のうち、もっとも高い数値になっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	7.1% (40)	64.8% (365)	8.9% (50)	19.2% (108)	100.0% (563)
H27(参考)	9.3% (65)	60.2% (421)	8.2% (57)	22.3% (156)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が64.8%と最も多く、ついで「使いすぎ」が8.9%でした。また、「ちょうどよい」の割合は54の施策のうち、もっとも高い数値になっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 14.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.8%	2.7%	0.7%
	ちょうどよい	3.7%	59.7%	1.6%
	効果不十分	1.6%	2.5%	6.6%

平成28年度

取組を知らない・わからない 16.7%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	1.3%	0.6%
	ちょうどよい	5.3%	57.4%	1.9%
	効果不十分	2.7%	1.4%	5.7%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせた場合は、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が9.7%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっており、54の施策のうちもっとも高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	17.2% (97)	61.8% (348)	1.8% (10)	19.2% (108)	100.0% (563)
H27(参考)	15.5% (108)	59.9% (419)	2.1% (15)	22.5% (157)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が61.8%、「もっと力を入れるべき」が17.2%でした。また「現状のままでよい」の割合は、54の施策のうち、もっとも高い数値となっています。

質問

32 防犯活動の充実・強化		あなたの回答 (それぞれ一つの番号に○をつけてください)	
<p>…犯罪のない安全で安心なまちをめざし、地域防犯力の向上、防犯に適したまちづくりの推進、自主防犯活動の体制整備などに取り組みます。</p>			
<p>■平成28年度の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治・町内会が所有する防犯灯の設置費・改造費・維持費への補助 <<532万円>> ・ESCO事業による防犯灯のLED化 <<7,456万円>> ・防犯訓練、講話の実施等 <<771万円>> 			
<p>◎参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESCO事業(エスコ事業)とは 市と契約する事業者が、防犯灯のLED化工事やその後の管理を実施し、市は防犯灯LED化による電気料金等の削減分、事業者に委託費を支払う事業。 これにより現状の財政負担を削減することができます。 		<p>4を選んだ方</p> <p>「お金の使い方の項目は」</p>	
<p>◆この施策にかかる経費()は前年度データ</p> <p>1億1,108万円 ※全体予算に占める割合 (1億6,638万円) …0.10%(0.15%)</p>			
<p>この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額</p> <p>643円 (962円)</p>			
<p>鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額</p>			
<p>この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)</p> <p>2.5人 (3.5人)</p>			
		<p>仕事の効果</p> <p>1 必要以上の効果</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 効果不十分</p> <p>4 取組を知らない・分からない</p>	
		<p>お金の使い方</p> <p>1 使いすぎ</p> <p>2 ちょうどよい</p> <p>3 足りない</p>	
		<p>今後の進め方</p> <p>1 もっと力を入れるべき</p> <p>2 現状のままで満足</p> <p>3 力をいれなくてよい</p>	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	5.9% (33)	60.4% (340)	18.1% (102)	13.0% (73)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	4.0% (28)	61.5% (430)	17.9% (125)	12.0% (84)	4.6% (32)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.4%と最も多く、続いて、「効果不十分」が18.1%となっています。また、「ちょうどよい」は、54の施策のうち、5番目に高い数値になっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	3.7% (21)	63.2% (356)	15.8% (89)	17.2% (97)	100.0% (563)
H27(参考)	5.2% (36)	63.8% (446)	13.2% (92)	17.9% (125)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が63.2%と最も多く、つづいて「足りない」が15.8%でした。また、「ちょうどよい」の割合は、54の施策のうち2番目に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 13.0%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	4.1%	0.4%
	ちょうどよい	1.4%	56.3%	1.8%
	効果不十分	1.2%	2.8%	13.5%

		取組を知らない・わからない 12.0%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.9%	2.9%	0.1%
	ちょうどよい	2.3%	57.2%	0.9%
	効果不十分	1.9%	3.6%	11.9%

平成28年度

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が56.3%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっており、54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	25.6% (144)	54.4% (306)	2.1% (12)	17.9% (101)	100.0% (563)
H27(参考)	23.9% (167)	56.1% (392)	2.0% (14)	18.0% (126)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が56.1%、「もっと力を入れるべき」が23.9%でした。また


質問

33 市街地整備の推進

…生活しやすい市街地を形成するため、鎌倉駅周辺地区・大船駅周辺地区・深沢地域国鉄跡地周辺の都市整備のほか、市民・事業者・NPO等との協働によるまちづくりの推進などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・深沢地域国鉄跡地周辺の都市整備事業 <2,815万円>
- ・大船駅東口再開発事業 <1,055万円>
- ・建築基準法に基づく許認可等に関する業務 <1,141万円>



大船駅東口
交通広場

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

5億9,960万円 ※全体予算に占める割合
(5億6,224万円) …**0.53%**(0.51%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	3,473円 (3,250円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	3,226円 (2,983円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	59.1人 (61.0人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

↓

「お金の進め方」は「今後の進め方」の項目は

集計結果

(1) 仕事の効果 ()内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.9% (22)	43.7% (246)	30.2% (170)	19.4% (109)	2.8% (16)	100.0% (563)
H27(参考)	3.1% (22)	41.8% (292)	28.0% (196)	22.5% (157)	4.6% (32)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が43.7%と最も多く、続いて、「効果不十分」が30.2%となっています。また、「効果不十分」の割合は54の施策のうち、4番目に高い数値となっています。

(2) お金の使い方 ()内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	10.8% (61)	47.1% (265)	17.8% (100)	24.3% (137)	100.0% (563)
H27(参考)	12.3% (86)	42.8% (299)	16.3% (114)	28.6% (200)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が47.1%と最も多く、つづいて「足りない」が17.8%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方 (上段：回答率、下段：回答数)

取組を知らない・わからない 19.4%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.3%	1.2%	0.2%
	ちょうどよい	2.3%	40.1%	0.4%
	効果不十分	6.2%	5.7%	17.2%

平成28年度

取組を知らない・わからない 22.5%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.7%	1.0%	0.3%
	ちょうどよい	3.7%	36.2%	0.7%
	効果不十分	6.7%	5.4%	15.3%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせると、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が40.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値となっています。

(4) 今後の進め方 ()内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	29.8% (168)	40.3% (227)	5.3% (30)	24.5% (138)	100.0% (563)
H27(参考)	28.2% (197)	38.1% (266)	5.4% (38)	28.3% (198)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が40.3%、「もっと力を入れるべき」が29.8%でした。

質問

34 道路・交通体系の検討

…快適で安全な交通環境に改善するため、自動車利用を抑制するなどの交通需要マネジメント施策の推進、交通環境の改善、歩行者を優先した交通体系の検討などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- 休日等の鎌倉地域で発生している交通渋滞の解消に向けた、自動車利用の抑制等を含む交通需要マネジメント施策の検討 <1,414万円>
- 鎌倉地域交通量調査の実施 <1,587万円>
- 鎌倉駅東口駅前広場の舗装改修のための歩行者等の交通量調査及び検討 <1,079万円>

◎参考

- パークアンドライド…
自宅から自家用車で最寄りの駐車場へ行き、車を駐車させた後、そこからバスや鉄道などの公共交通機関を利用して目的地に向かうシステム。

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

9,763万円 ※全体予算に占める割合
(5,178万円) …**0.09%**(0.05%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	566円 (299円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	565円 (299円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	4.5人 (4.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
↓
「お金の使い方」は「今後の進め方」の項目は

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.6% (20)	31.3% (176)	43.3% (244)	19.2% (108)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	1.6% (11)	29.0% (203)	45.9% (321)	19.0% (133)	4.4% (31)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「効果不十分」の回答が43.3%と最も多く、続いて、「ちょうどよい」が31.3%となっています。また「効果不十分」は54の施策のうち、最も高い数値となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	10.5% (59)	38.7% (218)	26.3% (148)	24.5% (138)	100.0% (563)
H27(参考)	8.3% (58)	37.3% (261)	28.9% (202)	25.5% (178)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が38.7%と最も多く、つづいて「足りない」が26.3%でした。また、「足りない」の割合は54の政策のうち、4番に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 19.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.2%	1.2%	0.9%
	ちょうどよい	2.3%	27.9%	0.2%
	効果不十分	6.9%	9.6%	25.2%

平成28年度

取組を知らない・わからない 19.0%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	0.6%	0.3%
	ちょうどよい	1.3%	26.3%	0.4%
	効果不十分	6.0%	10.2%	28.2%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が27.9%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値となっています。また「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の割合が54の施策のうち、もっとも高く、「仕事の効果」が「効果不十分」かつ「お金の使い方」が「足りない」は54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	39.6% (223)	31.4% (177)	4.6% (26)	24.3% (137)	100.0% (563)
H27(参考)	42.2% (295)	27.0% (189)	5.6% (39)	25.2% (176)	100.0% (699)

今後の進め方については、「もっと力を入れるべき」が39.6%、「現状のままでよい」が31.4%でした。また、「もっと力を入れるべき」の割合は、54の施策のうち、2番目に高い数値となっています。


質問

35 交通安全意識の高揚

…交通安全意識を高め、交通事故を減らすため、交通安全意識の普及徹底、交通事故防止運動、自転車のマナーアップなどに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- ・スクールゾーン交通安全対策としての道路のカラー舗装等 ≪450万円≫
- ・小学生自転車教室など交通安全教育の実施 ≪558万円≫
- ・湘南モノレール富士見町駅下の交通誘導業務 ≪79万円≫



小学生対象の
自転車教室

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

3,718万円 ※全体予算に占める割合
(3,716万円) …**0.03%**(0.03%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	215円 (215円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.5人 (2.5人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方

「お金の進め方」は

「今後の進め方」の項目は

回答せず

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	4.3% (24)	55.2% (311)	21.7% (122)	16.2% (91)	2.7% (15)	100.0% (563)
H27(参考)	1.7% (12)	51.5% (360)	24.9% (174)	17.6% (123)	4.3% (30)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が55.2%と最も多く、続いて、「効果不十分」が21.7%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	3.0% (17)	60.4% (340)	15.5% (87)	21.1% (119)	100.0% (563)
H27(参考)	5.9% (41)	54.5% (381)	15.9% (111)	23.7% (166)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が60.4%と最も多く、つづいて「足りない」が15.5%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 16.2%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.2%	2.3%	0.5%
	ちょうどよい	0.7%	53.1%	0.0%
	効果不十分	1.1%	5.0%	14.7%

平成28年度

取組を知らない・わからない 17.6%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.9%	0.7%	0.0%
	ちょうどよい	1.6%	48.1%	0.7%
	効果不十分	3.4%	5.6%	15.0%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が53.1%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	24.5% (138)	51.2% (288)	3.2% (18)	21.1% (119)	100.0% (563)
H27(参考)	23.5% (164)	48.5% (339)	4.1% (29)	23.9% (167)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.2%、「もっと力を入れるべき」が24.5%でした。

質問

36 駐輪対策の推進

…駐輪場の整備、放置防止対策の実施、店舗等利用者の歩道等への一時駐輪対策などに取り組みます。

■平成28年度の主な事業

- 鎌倉駅、大船駅周辺等における放置自転車等への警告・移動等 <<4,093万円>>
- 鎌倉駅西口等の自転車等駐車場土地賃借料 <<237万円>>
- 鎌倉駅西口暫定自転車駐車場の整備<<494万円>>



放置自転車クリーン対策キャンペーン

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

6,404万円 ※全体予算に占める割合
(6,195万円) …**0.06%**(0.06%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	371円 (358円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	269円 (259円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	2.0人 (2.0人)

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果	4を選んだ方 ↓ 「「お金の使い方の項目」は「今後の進め方」へ
	2	ちょうどよい	
	3	効果不十分	
	4	取組を知らない・分からない	
お金の使い方	1	使いすぎ	
	2	ちょうどよい	
	3	足りない	
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき	
	2	現状のままで満足	
	3	力をいれなくてよい	

集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	6.0% (34)	51.5% (290)	26.8% (151)	13.1% (74)	2.5% (14)	100.0% (563)
H27(参考)	3.9% (27)	50.8% (355)	27.5% (192)	13.7% (96)	4.1% (29)	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が51.5%と最も多く、続いて、「効果不十分」が26.8%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	8.2% (46)	57.5% (324)	16.5% (93)	17.8% (100)	100.0% (563)
H27(参考)	8.9% (62)	55.2% (386)	16.3% (114)	19.6% (137)	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が57.5%と最も多く、つづいて「足りない」が16.5%でした。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

		取組を知らない・わからない 13.1%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.0%	3.7%	0.2%
	ちょうどよい	2.7%	47.4%	0.4%
	効果不十分	3.6%	6.4%	16.0%

平成28年度

		取組を知らない・わからない 13.7%		
		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.1%	2.4%	0.3%
	ちょうどよい	2.7%	46.5%	0.1%
	効果不十分	5.0%	6.2%	15.5%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が47.4%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より高い数値となっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	26.5% (149)	51.3% (289)	4.4% (25)	17.8% (100)	100.0% (563)
H27(参考)	27.8% (194)	48.5% (339)	3.9% (27)	19.9% (139)	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が51.3%、「もっと力を入れるべき」が26.5%でした。

➤ 質問

37 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進

…公共交通機関の利便性向上による快適な交通環境の確保をめざし、公共交通機関利用への転換の促進、交通不便地域の解消、駅等のバリアフリー化の推進などに取り組みます。


■平成28年度の主な事業

- ・湘南モノレール富士見町駅のエレベーター設置に対する助成《1,666万円》
- ・交通渋滞の緩和のため、公共交通機関利用への転換の促進に向けた関係機関との連携
- ・交通不便地域(二階堂・大町など)の利便性向上の検討

◆この施策にかかる経費()は前年度データ

2,062万円 ※全体予算に占める割合
(382万円) …**0.018%**(0.003%)

この施策にかかる経費を市民一人あたりに換算した額	119円 (22円)
鎌倉市の負担を市民一人あたりに換算した額	71円 (22円)
この施策に従事する職員数(職員給与費は経費に含む。)	0.5人 (0.5人)



七里ヶ浜駅前のバスベイ

あなたの回答

(それぞれ一つの番号に○をつけてください)

仕事の効果	1	必要以上の効果
	2	ちょうどよい
	3	効果不十分
	4	取組を知らない・分からない
お金の使い方	1	使いすぎ
	2	ちょうどよい
	3	足りない
今後の進め方	1	もっと力を入れるべき
	2	現状のままで満足
	3	力をいれなくてよい

4を選んだ方
↓
「お金の進め方」は「今後の進め方」の項目は

➤ 集計結果

(1) 仕事の効果 () 内は回答数

	必要以上の効果	ちょうどよい	効果不十分	取組を知らない・わからない	無回答	全体
H28	3.4% (19)	45.6% (257)	29.7% (167)	17.8% (100)	3.6% (20)	100.0% (563)
H27(参考)	1.3%	41.5%	31.6%	21.9%	3.7%	100.0% (699)

「仕事の効果」のうち、「ちょうどよい」の回答が45.6%と最も多く、続いて、「効果不十分」が29.7%となっています。

(2) お金の使い方 () 内は回答数

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない	無回答	全体
H28	3.6% (20)	47.1% (265)	26.5% (149)	22.9% (129)	100.0% (563)
H27(参考)	0.9%	43.5%	27.9%	27.8%	100.0% (699)

「お金の使い方」のうち、「ちょうどよい」の回答が47.1%と最も多く、つづいて「足りない」が26.5%でした。また、「足りない」の割合は、54の施策のうち2番目に高い数値となっています。

(3) 仕事の効果×お金の使い方

取組を知らない・わからない 17.8%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	1.8%	0.7%
	ちょうどよい	1.2%	41.6%	1.6%
	効果不十分	1.4%	3.6%	24.2%

平成28年度

取組を知らない・わからない 21.9%

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.0%	1.0%	0.1%
	ちょうどよい	0.1%	38.1%	2.0%
	効果不十分	0.7%	4.1%	25.6%

平成27年度

「仕事の効果」と「お金の使い方」を組み合わせでは、「仕事の効果」が「ちょうどよい」、かつ「お金の使い方」が「ちょうどよい」の一番バランスがとれている回答の割合が41.6%で、この組み合わせの回答の平均値(43.6%)より低い数値となっています。また「仕事の効果」が「効果不十分」、かつ「お金の使い方」が「足りない」の割合が54の施策のうち、3番目に高い数値になっています。

(4) 今後の進め方 () 内は回答数

	もっと力を入れるべき	現状のままでよい	力をいれなくてよい	無回答	全体
H28	35.5% (200)	39.6% (223)	2.0% (11)	22.9% (129)	100.0% (563)
H27(参考)	35.2%	35.8%	1.4%	27.6%	100.0% (699)

今後の進め方については、「現状のままでよい」が39.6%、「もっと力を入れるべき」が35.5%でした。また「もっと力を入れるべき」の割合は、54の施策のうち3番目に高い数値となっています。